LIXIL

ジャンボスライドN-AL型 Eタイプ 取付説明書

●このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
●この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
●この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号	記号の意味
⚠警 告	●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
⚠注 意	●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号	
🔑ポイント	●取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。 ●守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。
※	●取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。 ●取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。
補 足	●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

＜施工の前に＞

⚠警 告

●門扉は人や車が出入りするためのものです。使用用途、目的を踏まえた上で必ず安全な場所に設置してください。特に開閉時、扉が公道（道路面）に飛び出さないようにしてください。重大な事故につながるおそれがあります。

⚠注 意

●製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。

🔑ポイント

●正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
●製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
●施工終了後、取付説明書は施主様にお渡しください。
●台車は重量物です。必ず2人以上で施工をお願いします。
●控え柱の取付けにラチェットレンチ、ソケット（呼び10）が必要ですので、準備してください。
●ハンドルの取付けに六角レンチ（呼び2.5）が必要ですので、準備してください。
●ブレーキ戸車のワイヤー取付けにペンチが必要ですので、準備してください。

＜施工上のご注意 つづき＞

注 意

●扉走行床面は水平に仕上げてください。
●電装商品の場合は配線工事を有資格者の専門業者にご依頼ください。
●施工終了後は扉の開閉チェックを行ない、不具合がないか確認してください。
●製品破損による人への被害、物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。
・ボルト・ネジは弊社純正品の規定本数を使い、下記締付けトルク以上で固定した後に、緩みがない事を確認してください。
・ボルト・ネジは締付けすぎない（被結合部材の破損、ねじが塑性伸びを起こさない状態）ようにしてください。

ネジ種類	タップ側材質		
	鋼材	アルミ	樹脂
φ4ネジ	1.5 N·m	1 N·m	0.75 N·m
M4ネジ			
φ5ネジ	3 N·m	1.5 N·m	−
M6ボルト	5 N·m	2.5 N·m	−
M8ボルト	25 N·m	12.5 N·m	−

ポイント

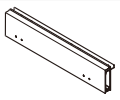
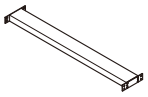
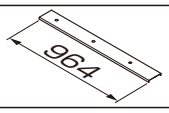
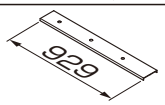
●施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
・作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
●取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
●施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。

INDEX

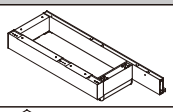
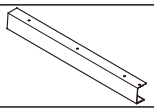
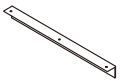
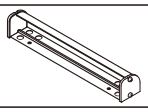
1　梱包明細表…… 4
2　基本寸法…… 12
　1. E1・E3 タイプ…… 12
　2. E2 タイプ…… 14
　3. E4・E6 タイプ…… 16
　4. E5 タイプ…… 18
　5. 本体連結仕様…… 20
3　本体の施工…… 21
　1. 台車の組立て…… 21
　2. 台車の設置…… 25
　3. 台車の連結…… 26
　4. フレームの組立て…… 27
　5. 框の取付け…… 33
　6. ブレーキの接続…… 37
4　パネルの施工…… 39
　1. E1・E2・E3パネルの場合…… 39
　2. E4パネルの場合…… 41
　3. E5パネルの場合…… 42
　4. E6パネルの場合…… 44
　5. 笠木の取付け…… 49
5　部品の取付けと調整…… 50

1　梱包明細表

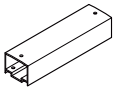
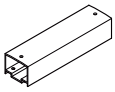
【1】パネルフレーム

名　　称	略　　図	員　　数					
		単　独	先　頭	中　間	後　部		
					L10	L20	L30
上桟		1	1	1	1	1	1
中桟		2	2	3	1	2	3
桟溝カバー端部		4	2	−	2	2	2
桟溝カバー中間部		2	4	6	−	2	4

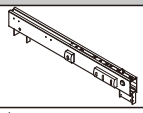
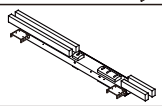
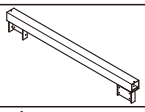
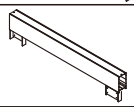
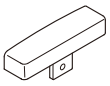
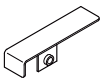
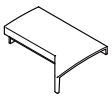
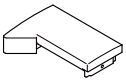
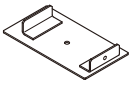
【2】台車

名　　称	略　　図	員　　数			
		単　独	先　頭	中　間	後　部
台車		1	1	1	1
ブレーキワイヤーカバー		1	1	−	−
ブレーキワイヤーカバー取付材		1	1	−	−
側桁前カバー		1	1	−	−

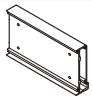
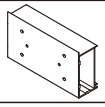
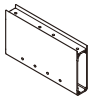
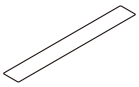
【3】控え柱

名　　称	略　　図	員　　数	
		H12-18	H20-25（特注）
控え柱（横）		1	1
控え柱（縦）		1	1
控え柱（中帯）		−	1
控え柱ブラケット（上）		1	2
控え柱ブラケット（中間）		1	1
控え柱ブラケット（下）		1	1
控え柱ブラケット（後）		−	1
【3-1】M6×16六角ボルト（PW+SW）		12	16
【3-2】M6×12トラス小ネジ		4	6
【3-3】M6×20六角ボルト（PW+SW）		2	4
【3-4】M6×35六角ボルト		2	4
【3-5】M6平座金		2	4
【3-6】M6バネ座金		2	4

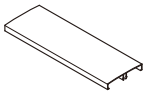
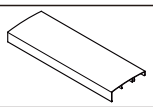
【4】框

名　　称	略　　図	員　　数		
		E1,3,4,6	E2	E5
戸当り框		1	−	1
E2戸当り框		−	1	−
後框		1	1	−
E5後框		−	−	1
笠木端部キャップ		2	1	−
E2笠木端部キャップ		−	1	−
E5框キャップ右		−	−	1
E5框キャップ左		−	−	1
戸当り框下キャップ		1	1	2
後框下キャップ		1	1	−
ブレーキワイヤーキャップ		1	1	1
φ10プッシュボタン		2	2	−
【4-1】M4×10トラス小ネジ		4	4	4

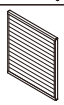
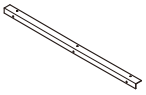
【5】組立部品

名　　称	略　　図	員数					
		単　独	先　頭	中間	後部		
					L10	L20	L30
下桟連結スリーブ		−	−	1	1	1	1
後桁連結スリーブ		−	−	1	1	1	1
ブレーキ戸車		1	1	−	−	−	−
戸車		3	1	2	4	4	4
転倒防止金具		4	2	2	4	4	4
前後ストッパー		1	1	−	−	−	−
上桟連結スリーブ		−	−	1	1	1	1
連結部シール		−	−	1	1	1	1
【5-1】M8×16六角ボルト（PW緩み止め付）		6	3	8	12	11	11
【5-2】φ4×10トラスタッピンネジ3種		21	21	18	6	12	18
【5-3】φ5×10サラタッピンネジ3種		16	16	24	8	16	24
【5-4】φ4×13ナベドリルネジ		3	3	−	−	−	−
【5-5】M8×20六角ボルト（PW緩み止め付）		6	4	−	2	2	2
【5-6】M6×16六角ボルト（PW+SW）		22	16	4	10	10	10
【5-7】M6×12極低頭六角穴付ボルト		2	−	−	2	2	2
【5-8】M6×20ナベ小ネジ（PW+SW）		−	−	4	4	4	4
【5-9】M6×20六角ボルト（PW+SW）		−	−	10	10	10	10
【5-10】M6×16ナベ小ネジ（PW+SW）		4	2	−	2	2	2

【6】上桟笠木

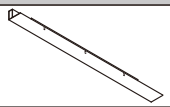
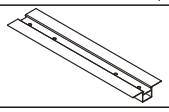
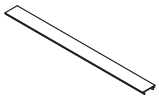
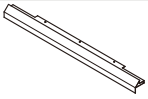
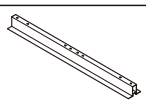
名　　称	略　　図	員数	
		E1,2,3,4,6	E5
上桟笠木		1	—
E5上桟笠木		—	1

【7】パネル

名　　称	略　　図	員　　数				
		E1	E2	E3	E4	E5
E1パネル		1	−	−	−	−
E2パネル		−	1	−	−	−
E3パネル		−	−	1	−	−
E4パネル		−	−	−	1	−
E5パネル		−	−	−	−	1
Lアングル（※）		1	1	1	−	−
【7-1】φ4×10トラスタッピンネジ1種		4	4	4	2	4
【7-1】φ4×10トラスタッピンネジ1種（※）		12	12	12	−	−
【7-2】φ5×30ナベドリルネジ		1	1	1	−	−

（※）H25、H30の場合のみ

【8】パネル押え

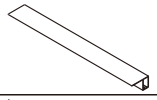
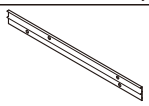
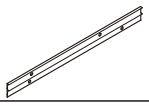
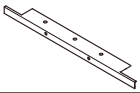
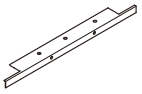
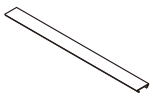
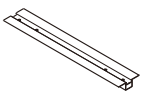
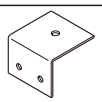
名　　称	略　　図	員　　数			
		E4		E5	
		端　部	中　間	端　部	中　間
E4パネル押え端部		2	−	−	−
E4パネル押え中間		−	1	−	−
パネル押えカバー		−	1	−	1
E5パネル押え端部（※2）		−	−	2	−
E5パネル押え中間		−	−	−	1
【8-1】φ4×10トラスタッピンネジ3種		6 8（※1）	−	6 12（※1）	−
【8-2】φ5×35ナベドリルネジ		−	4 5（※1）	−	−
【8-3】φ5×50ナベドリルネジ		−	−	−	4 5（※1）

（※1）H20、H25の場合のみ
（※2）H20、H25の場合は左右があります。

【9】E6意匠板部材

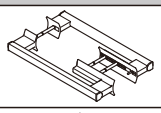
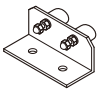
名　　称	略　　図	員　　数
E6意匠板		1

【10】E6取付部材

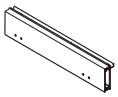
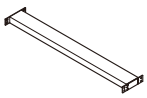
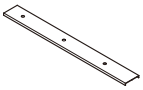
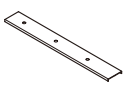
名　　称	略　　図	員　　数																	
		端　　部						中　　間						連接用					
		H12	H14	H16	H18	H20	H25	H12	H14	H16	H18	H20	H25	H12	H14	H16	H18	H20	H25
E6板張り端部枠		2	2	2	2	4	4	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
E6板張り端部 取付材右		1	1	1	1	2	2	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
E6板張り端部 取付材左		1	1	1	1	2	2	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
E6板張り中間 取付材右		−	−	−	−	−	−	1	1	1	1	2	2	1	1	1	1	2	2
E6板張り中間 取付材左		−	−	−	−	−	−	1	1	1	1	2	2	1	1	1	1	2	2
パネル押えカバー		−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	1	1	1	1	1	1
パネル押え中間		−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	1	1	1	1	1	1
上金具		3	3	3	3	3	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
下金具		3	3	3	3	3	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
【10-1】φ4×13 ナベドリルネジ		15	15	15	15	15	15	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
【10-2】φ4×12 トラスタッピンネジ3種		31	35	37	41	55	67	21	25	27	31	39	47	21	25	27	31	39	47
【10-3】φ5×35 ナベドリルネジ		−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	4	4	4	4	5	5

（※）H20、H25は特注を示します。

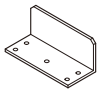
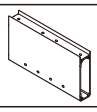
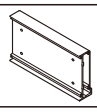
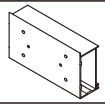
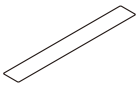
【11】部品セット

名　　称	略　　図	員　数	
		片 引 き	両 引 き
ハンドルセット		1	2
落し棒		1	2
落し棒受け		2	4
後部ストッパー		1	2
前ストッパー		1	2
スペーサー		2	4
【11-1】M10×60後施工アンカーおねじ		2	4
【11-2】M10×40後施工アンカーめねじ		2	4
【11-3】M10バネ座金		2	4
【11-4】M10×25六角ボルト		2	4
【11-5】M10平座金		2	4
【11-6】M6×30ナベ小ネジ（SW）		2	4
【11-7】M4×16六角穴付ボルト		1	2
【11-8】M4バネ座金		1	2
取付説明書〈D626〉	−	1	1
取扱説明書〈UD129〉	−	1	1

【12】パネルフレーム（特注）

名　称	略　　図	員　数											
		単　独		先　頭		中　間		後　部					
		上	下	上	下	上	下	上			下		
								L10	L20	L30	L10	L20	L30
上桟		1	−	1	−	1	−	1	1	1	−	−	−
中桟		2	2	2	2	3	3	1	2	3	1	2	3
中帯		−	1	−	1	−	1	−	−	−	1	1	1
桟溝カバー端部		4	4	2	2	−	−	2	2	2	2	2	2
桟溝カバー中間		2	2	4	4	6	6	−	2	4	−	2	4

【13】組立部品（特注）

名　　称	略　　図	員数					
		単独	先頭	中間	後部		
					L10	L20	L30
ブレーキ戸車		1	1	–	–	–	–
戸車		3	1	2	4	4	4
転倒防止金具		4	2	2	4	4	4
前後ストッパー		1	1	–	–	–	–
上桟連結スリーブ		–	–	1	1	1	1
下桟連結スリーブ		–	–	1	1	1	1
中帯連結スリーブ		–	–	1	1	1	1
後桁連結スリーブ		–	–	1	1	1	1
連結部シール		–	–	1	1	1	1
【13-1】M8×16六角ボルト（PW緩み止め付き）		6	3	8	12	11	11
【13-2】φ4×10トラスタッピンネジ3種		21	21	18	6	12	18
【13-3】φ5×10サラタッピンネジ3種		16	16	24	8	16	24
【13-4】φ4×13ナベドリルネジ		3	3	–	–	–	–
【13-5】M8×20六角ボルト（PW緩み止め付き）		6	4	–	2	2	2
【13-6】M6×16六角ボルト（PW+SW）		24	18	4	12	12	12
【13-7】M6×16ナベ小ネジ（PW+SW）		4	2	–	2	2	2
【13-8】M6×20ナベ小ネジ（PW+SW）		–	–	4	4	4	4
【13-9】M6×20六角ボルト（PW+SW）		–	–	12	12	12	12
【13-10】M6×12極低頭六角穴付ボルト		6	2	–	6	6	6

2　基本寸法

1. E1・E3タイプ

1-1　片開き　※本図はE1タイプを示します。

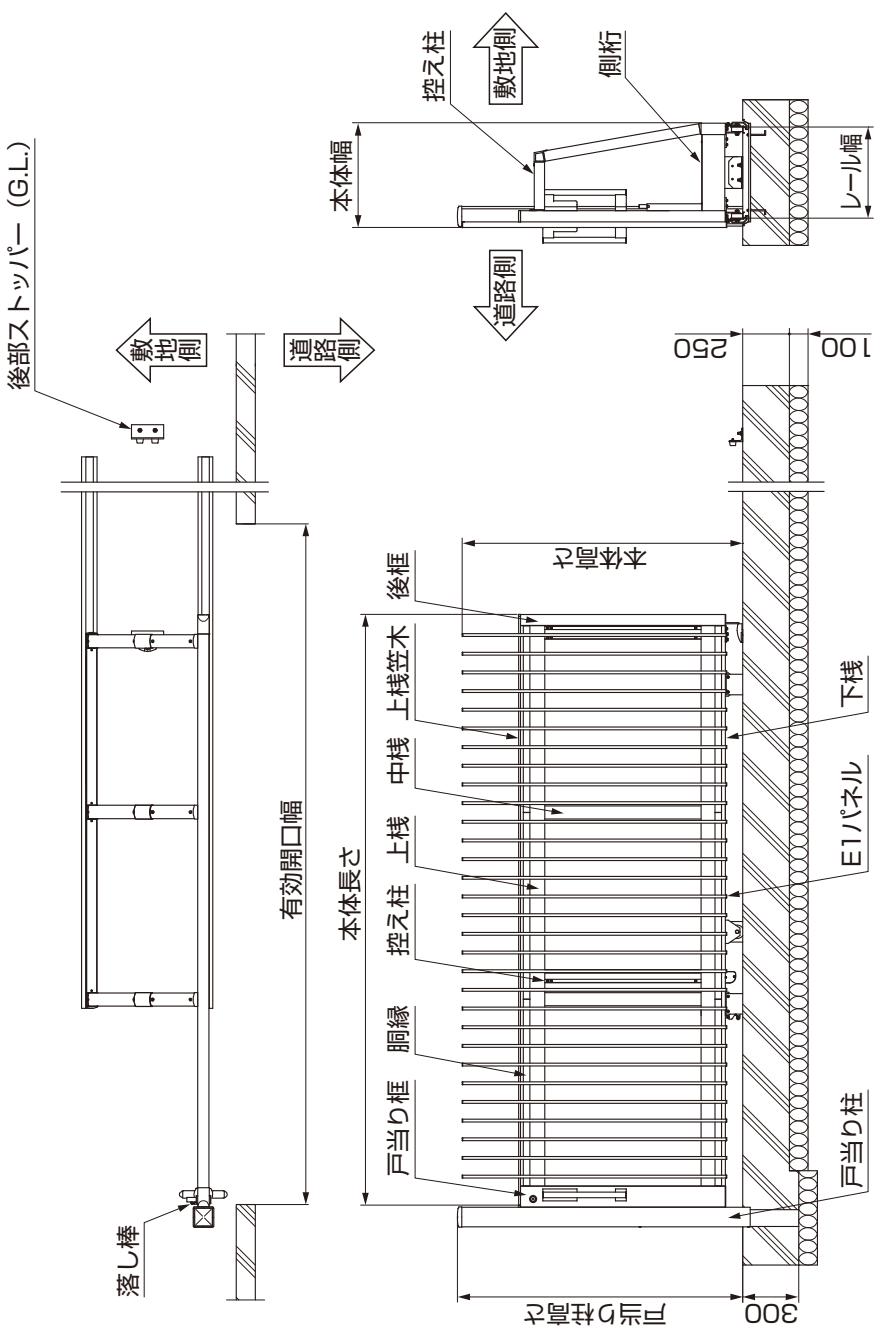


表1-1

	有効開口幅	本体長さ
W30	3000	3173
W40	4000	4173
W50	5000	5173
W60	6000	6173
W70	7000	7173
W80	8000	8173
W90	9000	9173
W100	10000	10173
W110	11000	11173
W120	12000	12173

表1-2

	本体高さ	戸当り柱高さ	本体幅	レール幅
H15	1500	1528	557.5	488
H18	1800	1828	719.5	650
H20	2000	2028		
H25	2500	2528	1069.5	1000
H30	3000	3028		

※ H25・H30（特注）の場合、中帯（サイズ:135×36）が追加になります。

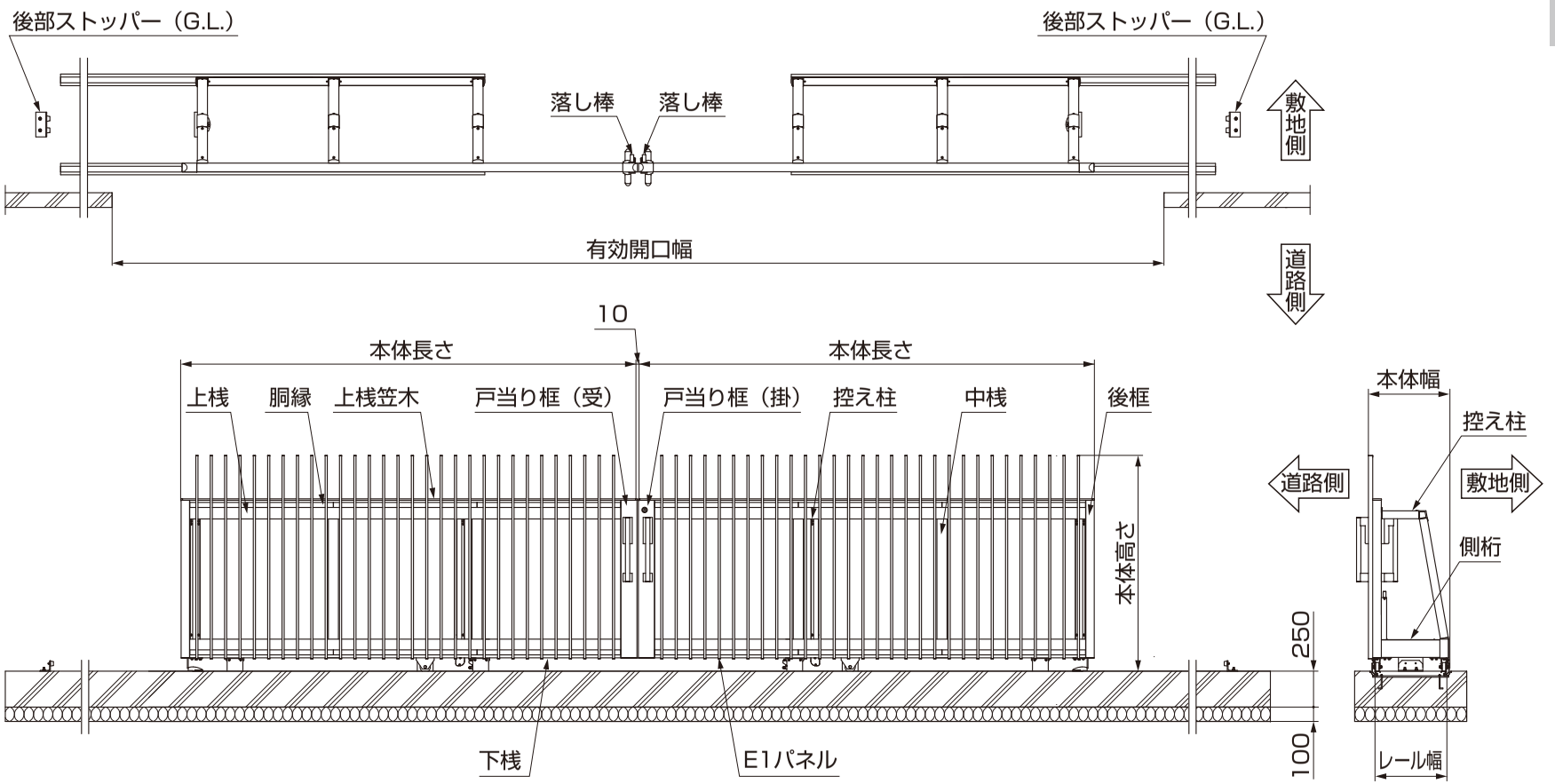


表1-3

	有効開口幅	本体長さ
W30-30	6018	3173
W40-40	8018	4173
W50-50	10018	5173
W60-60	12018	6173
W70-70	14018	7173
W80-80	16018	8173
W90-90	18018	9173
W100-100	20018	10173
W110-110	22018	11173
W120-120	24018	12173

表1-4

	本体高さ	本体幅	レール幅
H15	1500	557.5	488
H18	1800	719.5	650
H20	2000		
H25	2500	1069.5	1000
H30	3000		

※ H25･H30（特注）の場合、中帯（サイズ:135×36）が追加になります。

2. E2タイプ

2-1 片開き

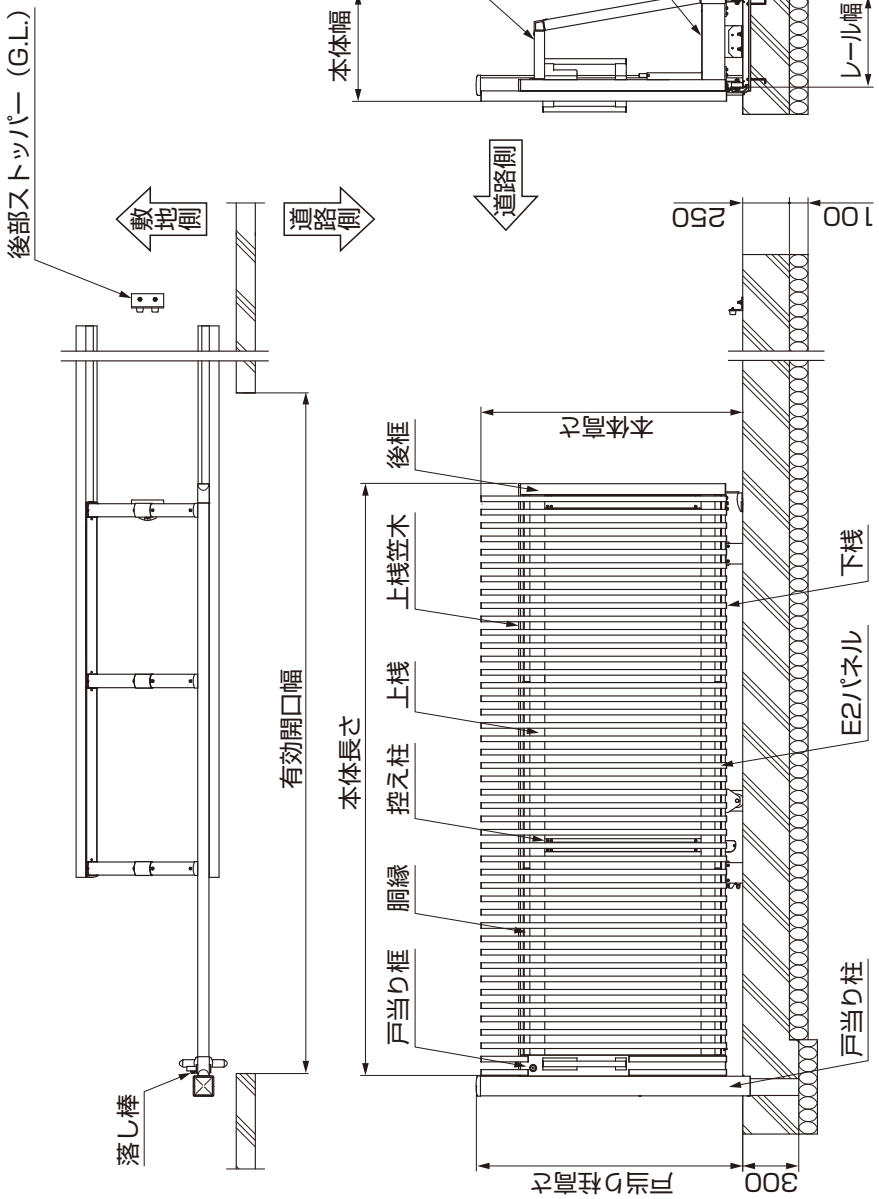


表2-1

	有効開口幅	本体長さ
W30	3000	3173
W40	4000	4173
W50	5000	5173
W60	6000	6173
W70	7000	7173
W80	8000	8173
W90	9000	9173

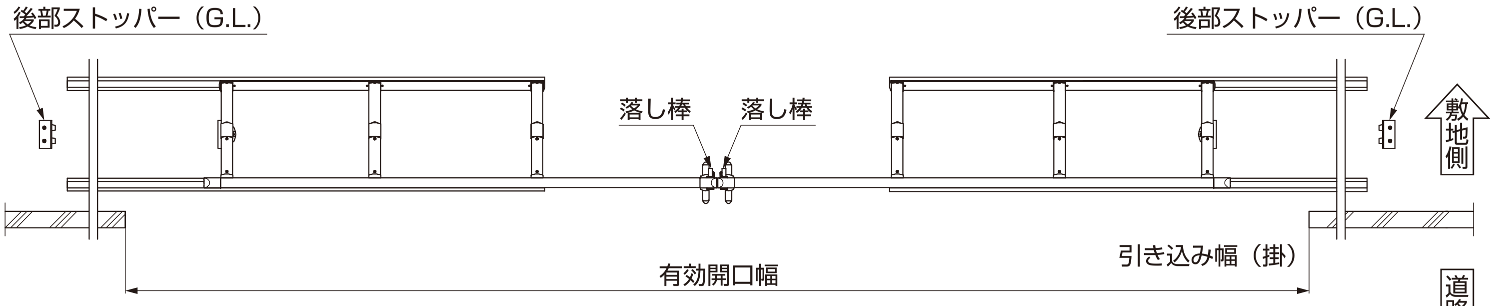
表2-2

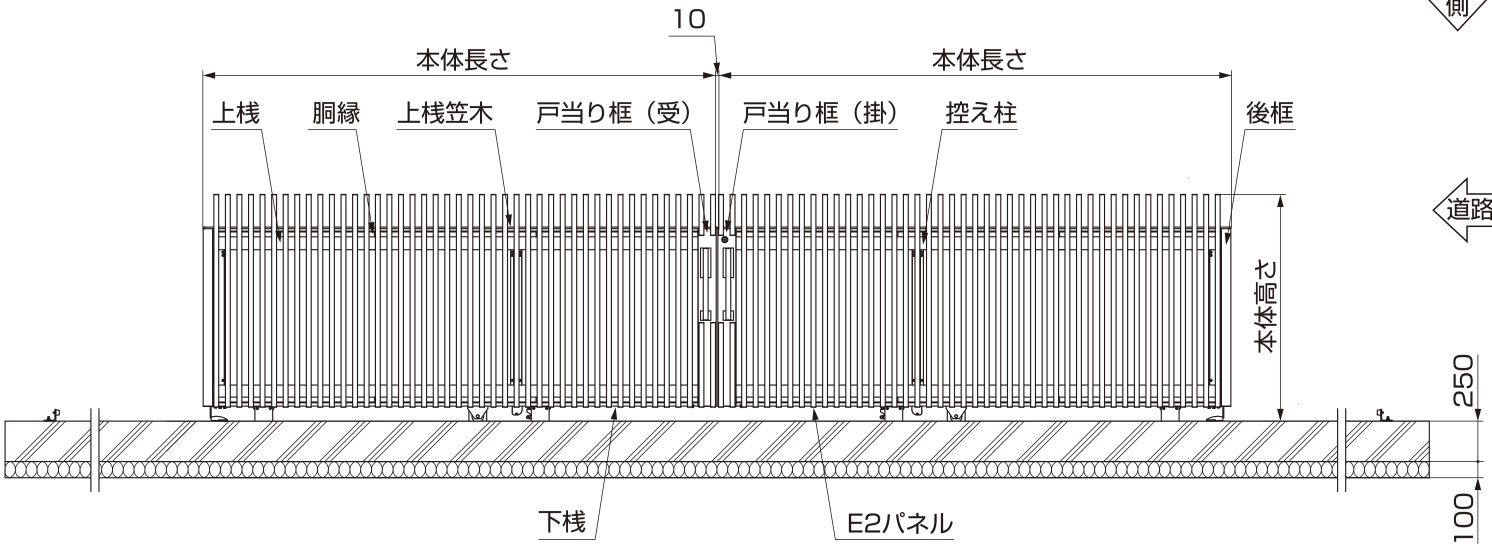
	本体高さ	戸当り柱高さ	本体幅	レール幅
H14	1400	1428	582.5	488
H16	1600	1628		
H18	1800	1828	744.5	650
H20	2000	2028		
H25	2500	2528	1094.5	1000

※ H25（特注）の場合、中帯（サイズ:135×36）が追加になります。

D626_201805C

2-2 両開き





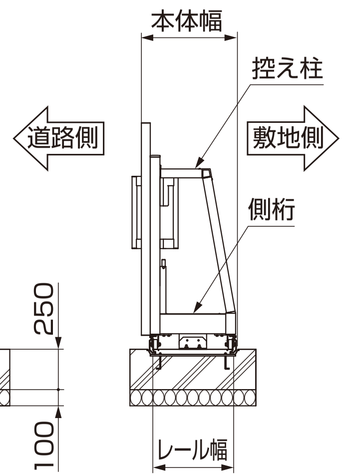


表2-3

	有効開口幅	本体長さ
W30-30	6018	3173
W40-40	8018	4173
W50-50	10018	5173
W60-60	12018	6173
W70-70	14018	7173
W80-80	16018	8173
W90-90	18018	9173

表2-4

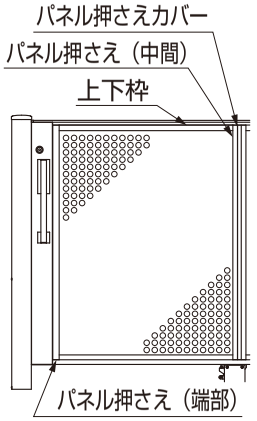
	本体高さ	本体幅	レール幅
H14	1400	582.5	488
H16	1600		
H18	1800	744.5	650
H20	2000		
H25	2500	1094.5	1000

※ H25(特注)の場合、中帯(サイズ:135×36)が追加になります。

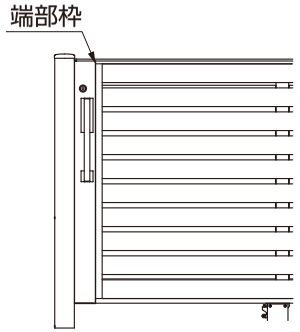
3. E4・E6タイプ

3-1 片開き

【パネル部】



E4パネル



E6パネル

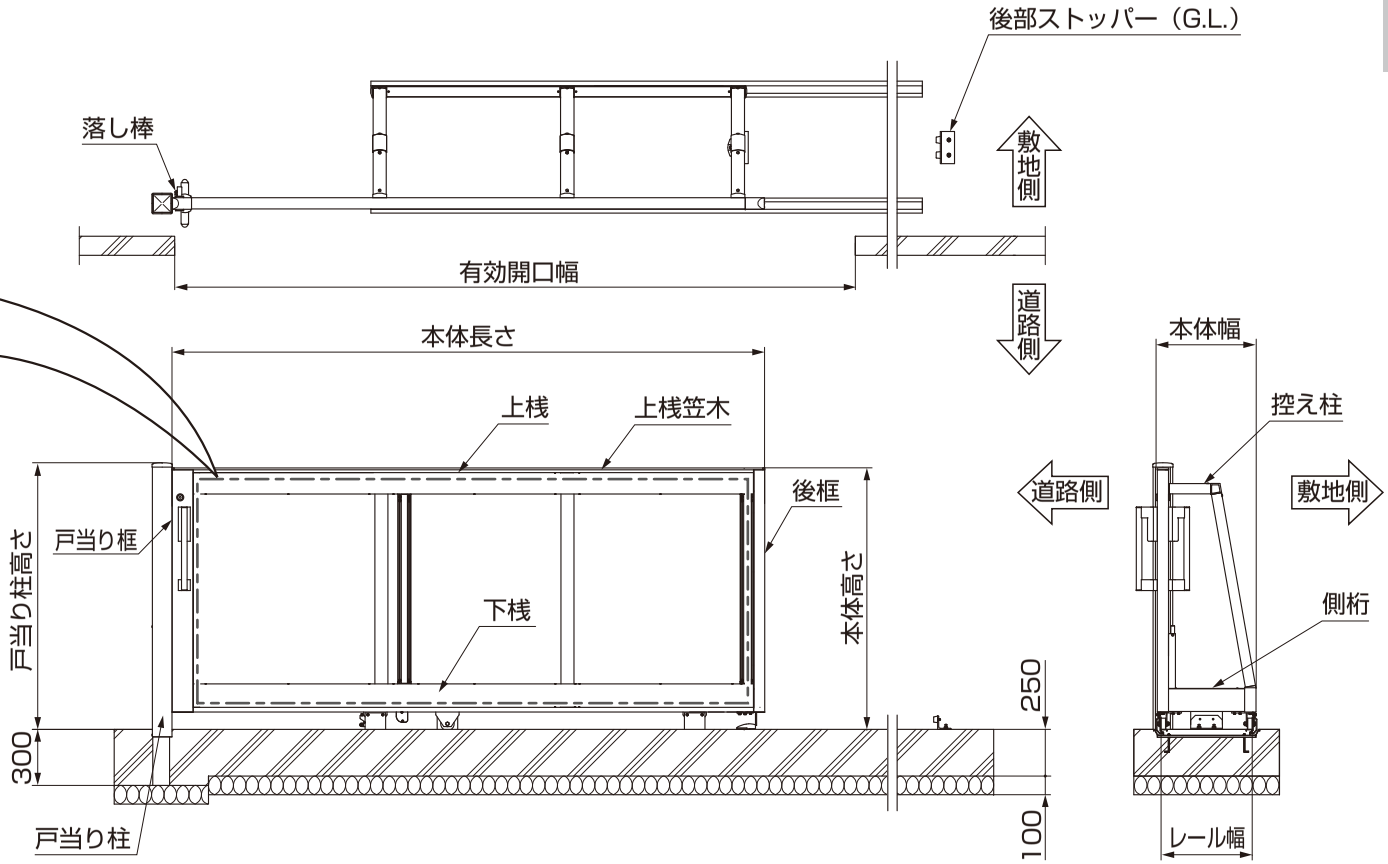


表3-1

	有効開口幅	本体長さ
W30	3000	3173
W40	4000	4173
W50	5000	5173
W60	6000	6173
W70	7000	7173
W80	8000	8173
W90	9000	9173
W100	10000	10173
W110	11000	11173
W120	12000	12173

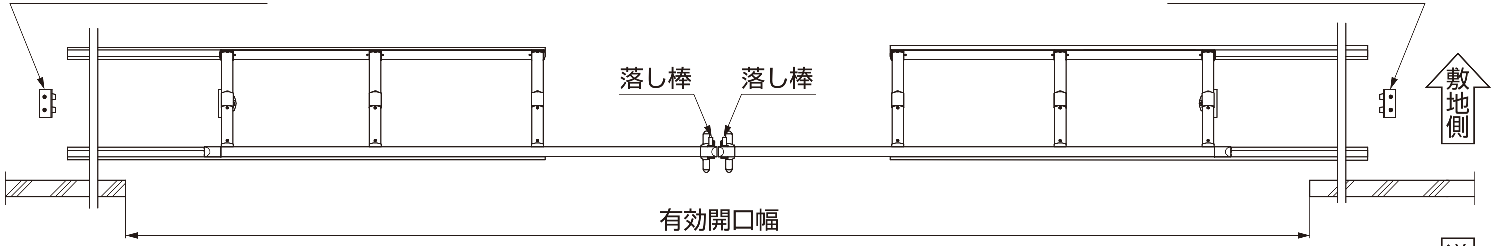
表3-2

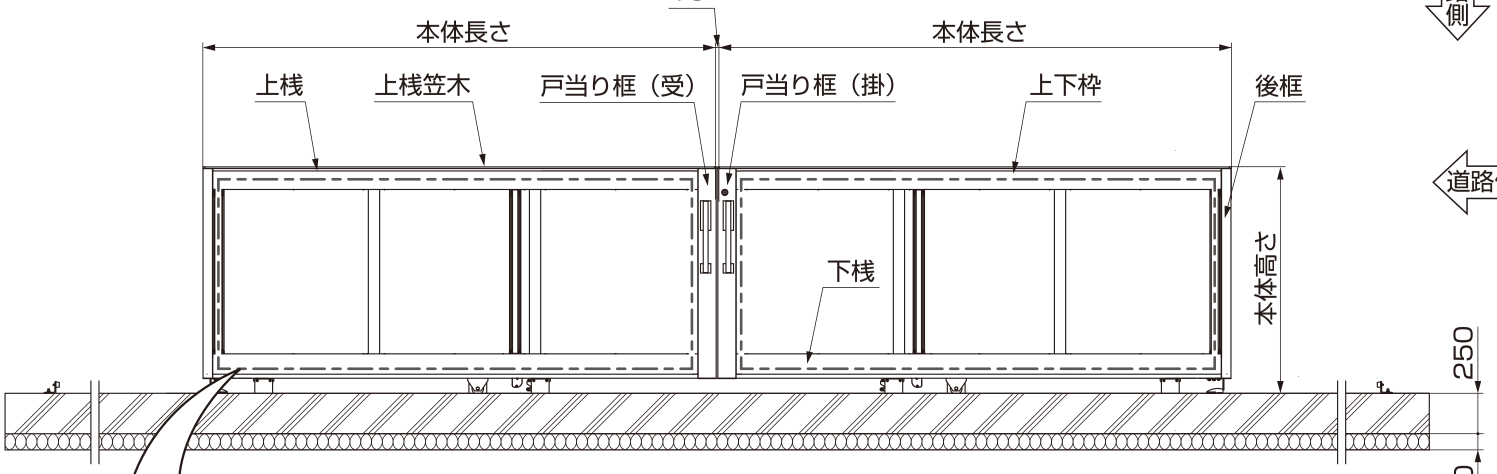
	本体高さ	戸当り柱高さ	本体幅	レール幅
H12	1200	1228	527.5	488
H14	1400	1428		
H16	1600	1628	689.5	650
H18	1800	1828		
H20	2000	2028	1039.5	1000
H25	2500	2528		

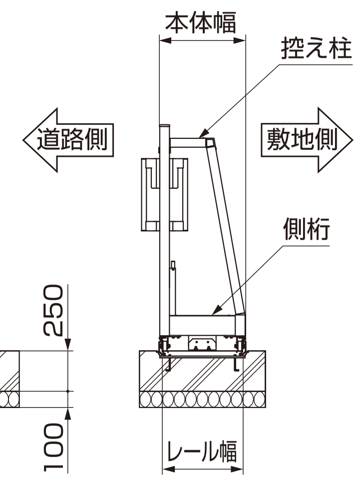
※ H25はE6タイプのみとなります。

D626_20180SC

3-2 両開き







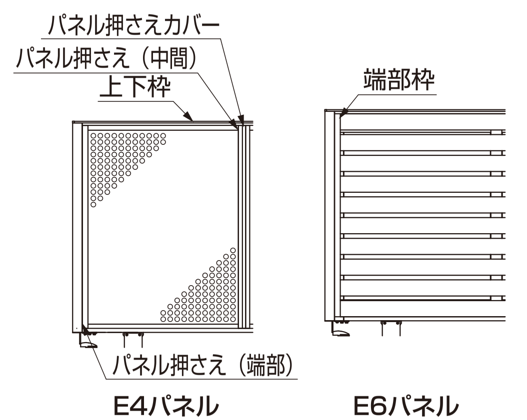


表3-3

	有効開口幅	本体長さ
W30-30	6018	3173
W40-40	8018	4173
W50-50	10018	5173
W60-60	12018	6173
W70-70	14018	7173
W80-80	16018	8173
W90-90	18018	9173
W100-100	20018	10173
W110-110	22018	11173
W120-120	24018	12173

表3-4

	本体高さ	本体幅	レール幅
H12	1200	527.5	488
H14	1400		
H16	1600	689.5	650
H18	1800		
H20	2000	1039.5	1000
H25	2500		

※ H25はE6タイプのみとなります。
※ H20･H25（特注）の場合、中帯（サイズ:135×36）が追加になります。

4. E5タイプ

4-1 片開き

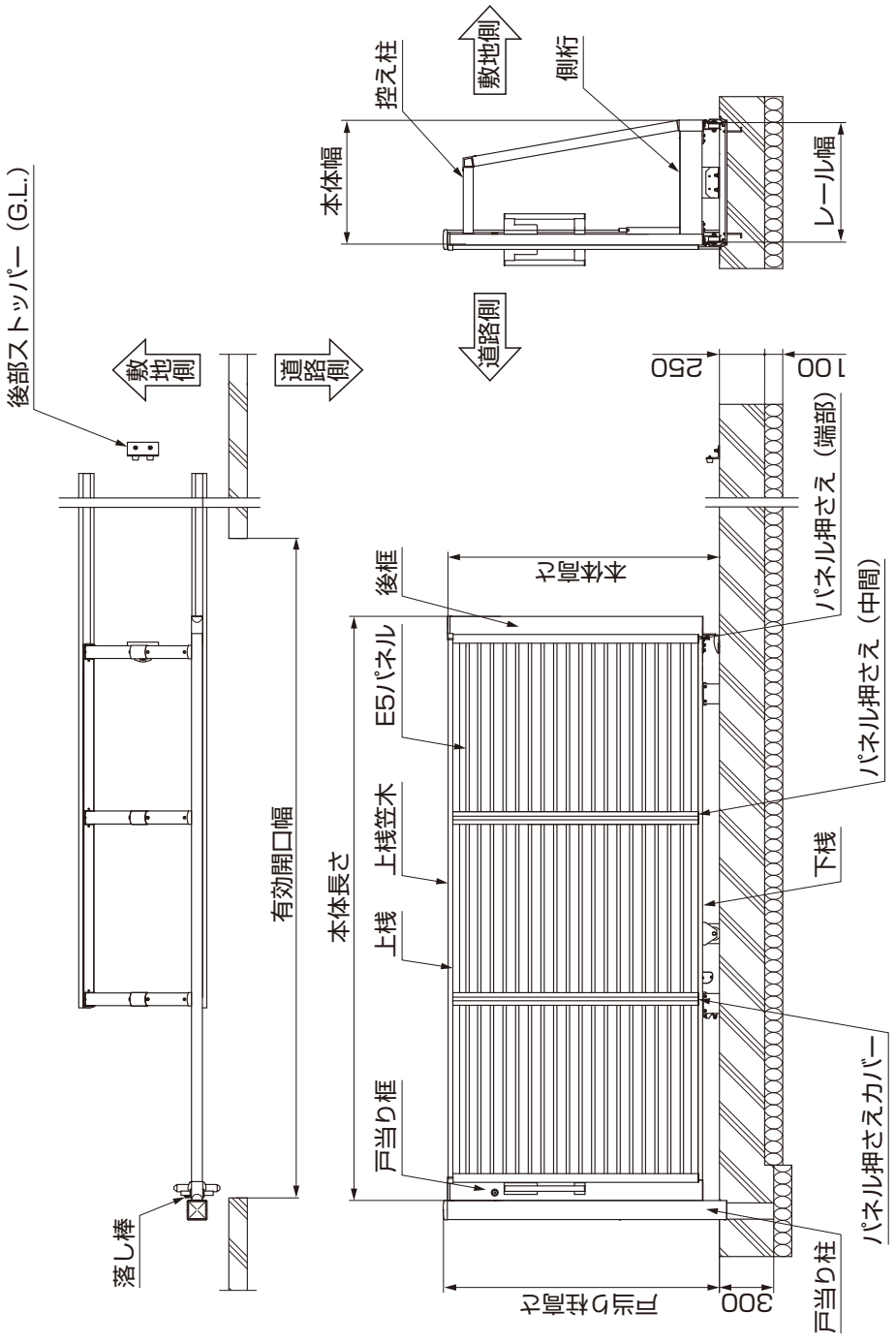


表4-1

	有効開口幅	本体長さ
W30	3000	3226
W40	4000	4226
W50	5000	5226
W60	6000	6226
W70	7000	7226
W80	8000	8226
W90	9000	9226

表4-2

	本体高さ	戸当り柱高さ	本体幅	レール幅
H12	1200	1228	552.5	488
H15	1500	1528	714.5	650
H18	1800	1828		
H20	2000	2028	1064.5	1000
H25	2500	2528		

※ H20･H25(特注)の場合、中帯(サイズ:135×36)が追加になります。

D626_201805C

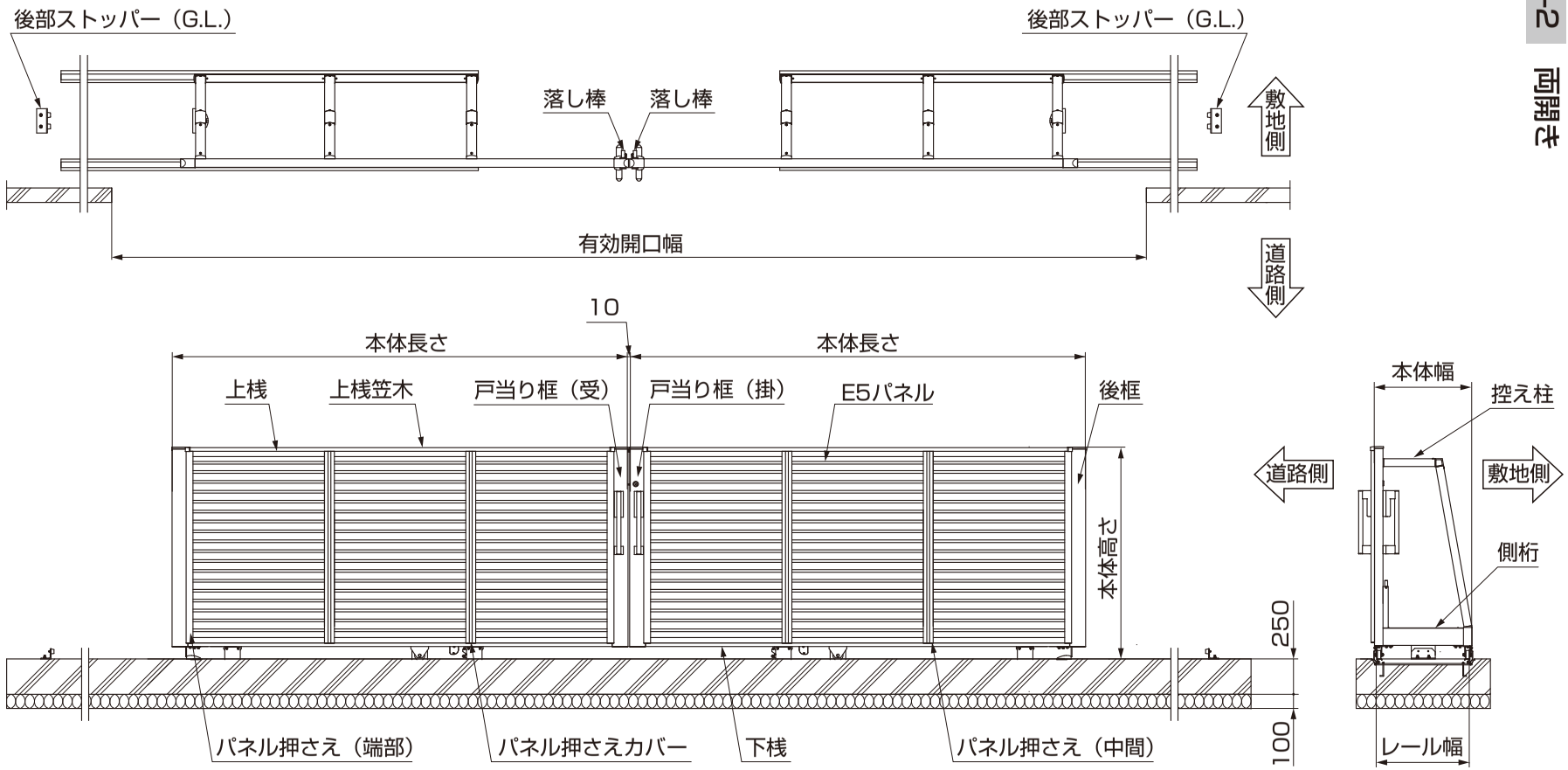


表4-3

	有効開口幅	本体長さ
W30	6018	3226
W40	8018	4226
W50	10018	5226
W60	12018	6226
W70	14018	7226
W80	16018	8226
W90	18018	9226

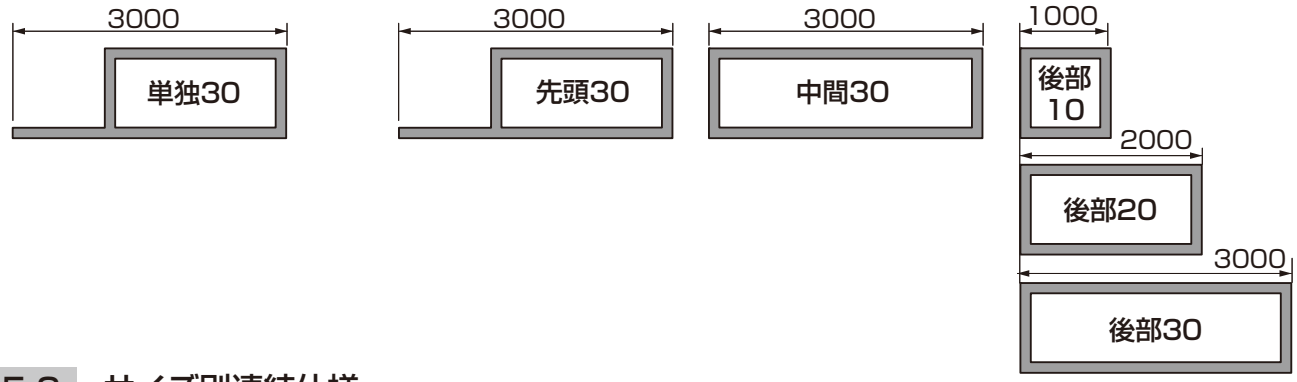
表4-4

	本体高さ	本体幅	レール幅
H12	1200	552.5	488
H15	1500	714.5	650
H18	1800		
H20	2000	1064.5	1000
H25	2500		

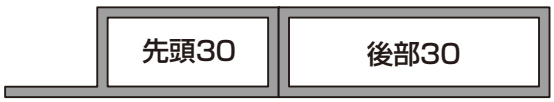
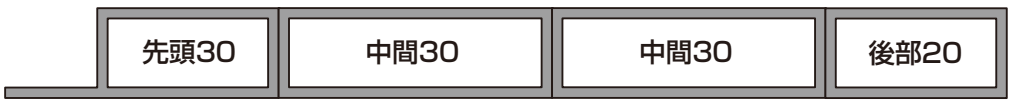
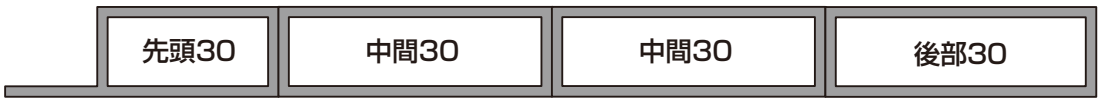
※ H20･H25（特注）の場合、中帯（サイズ:135×36）が追加になります。

5.本体連結仕様

5-1 本体ユニット



5-2 サイズ別連結仕様

W30 (単独30)	
W40 (先頭30+後部10)	
W50 (先頭30+後部20)	
W60 (先頭30+後部30)	
W70 (先頭30+中間30+後部10)	
W80 (先頭30+中間30 +後部20)	
W90 (先頭30+中間30 +後部30)	
W100 (先頭30+中間30 +中間30+後部10)	
W110 (先頭30+中間30 +中間30+後部20)	
W120 (先頭30+中間30 +中間30+後部30)	

D626_201507B

3　本体の施工

1. 台車の組立て　※台車の組立ては梱包材の上で作業を行ってください。

1-1　戸車の取付け

（1）取付け位置の確認

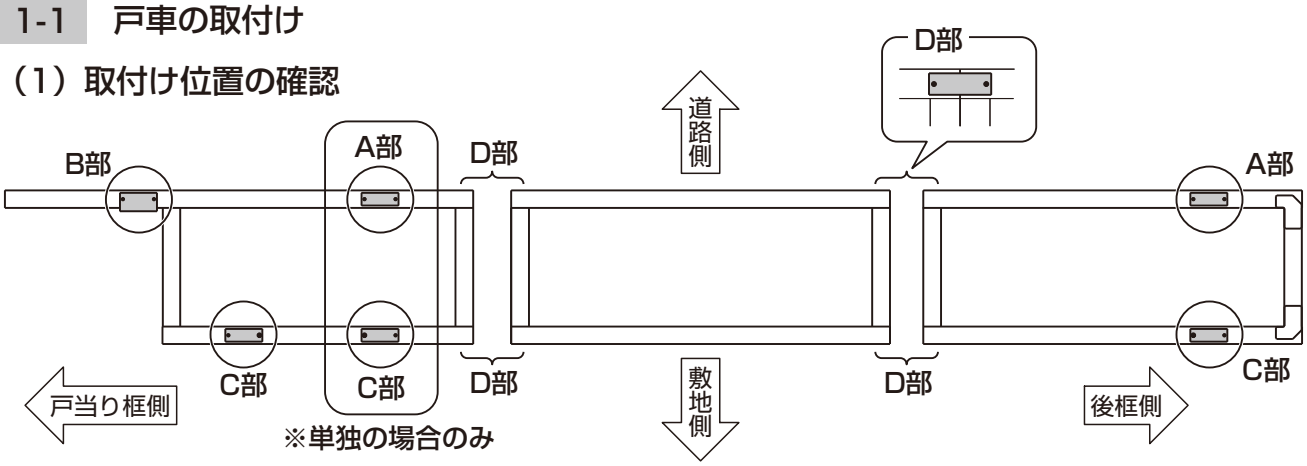


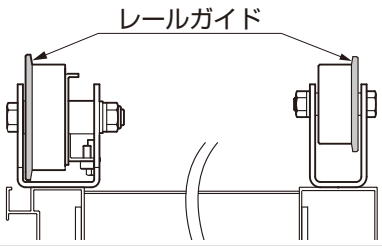
図1-1　先頭台車　戸車取付け位置
単独台車　戸車取付け位置

図1-2　中間台車　戸車取付け位置

図1-3　後部台車　戸車取付け位置

ポイント

●戸車はレールガイドが外側になるように取付けてください。



①戸車の取付け位置を確認してください。

（2）A部、B部の取付け

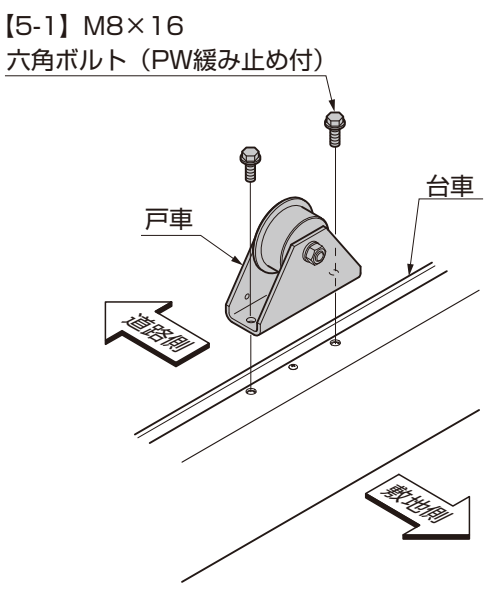


図1-4　A部の場合

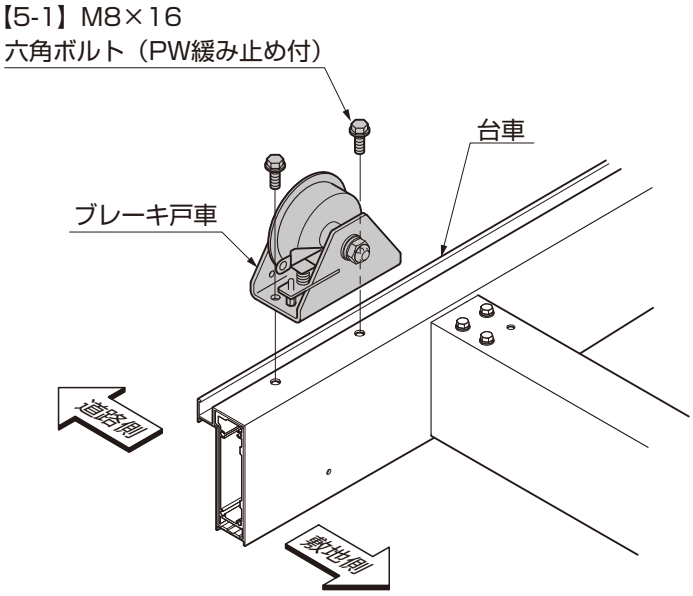


図1-5　B部の場合

①台車の下桟に戸車を【5-1】で取付けてください。

1.（つづき）

1-1　つづき

（3）C部の取付け

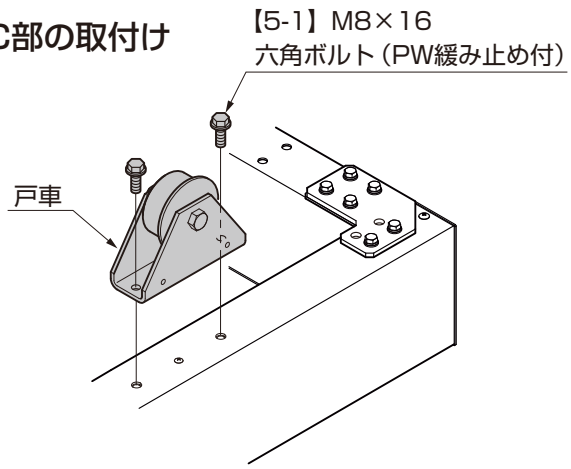


図1-6　C部　後部L10の場合

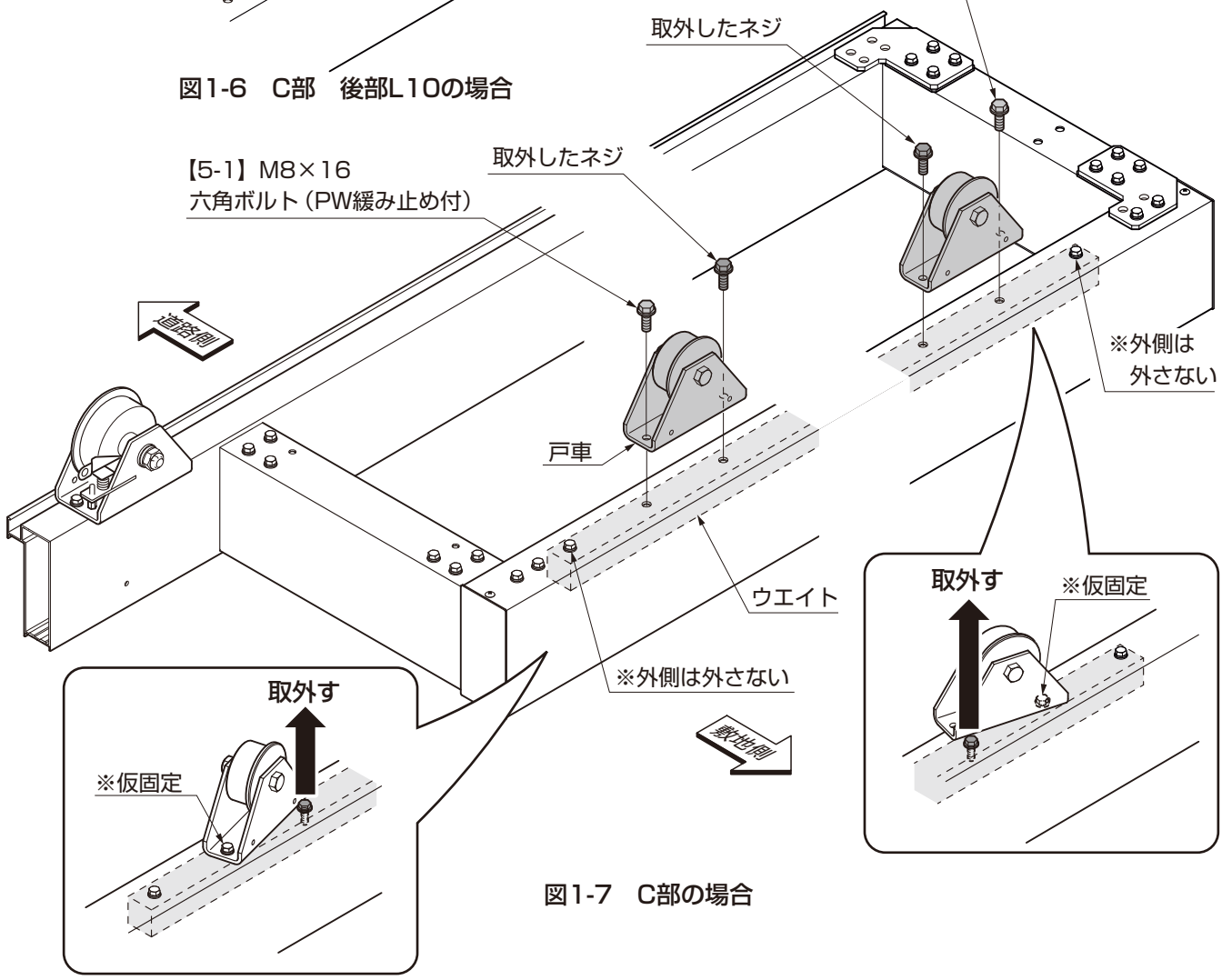


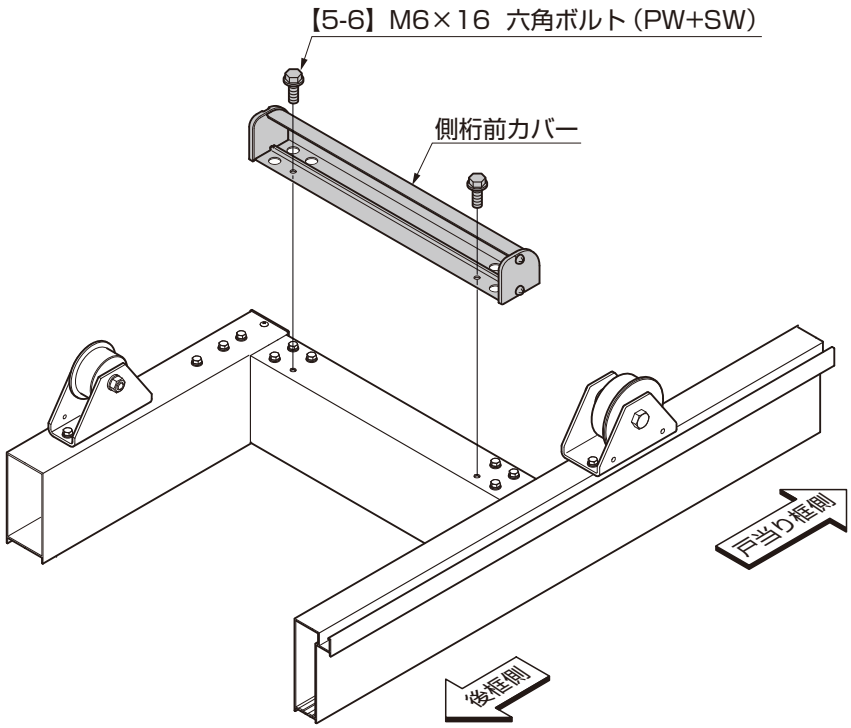
図1-7　C部の場合

①戸車を【5-1】で仮固定してください。
②台車のウエイトを取付けているボルトを1本取り外してください。
③②で取り外したボルトと【5-1】で戸車を取付けてください。

ポイント

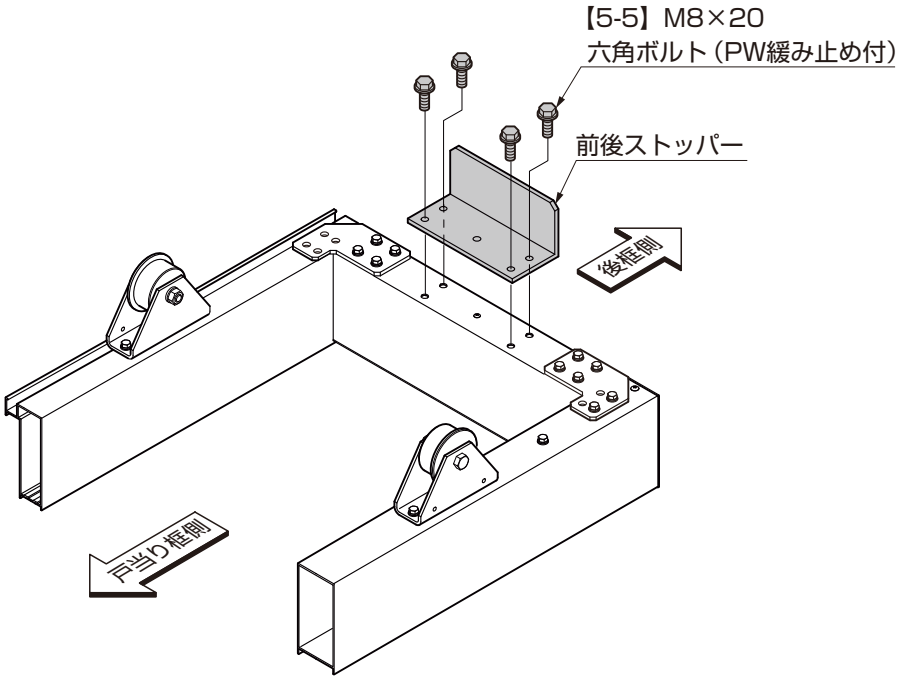
●ウエイトは六角ボルト2本で取付いています。戸車を取付けるために取外すボルトは1本だけです。2本とも取外してしまうとウエイトが外れて、戸車が取付けられなくなります。

1-2　側桁前カバーの取付け　※先頭・単独の場合の作業です。



①側桁前カバーを【5-6】で取付けてください。

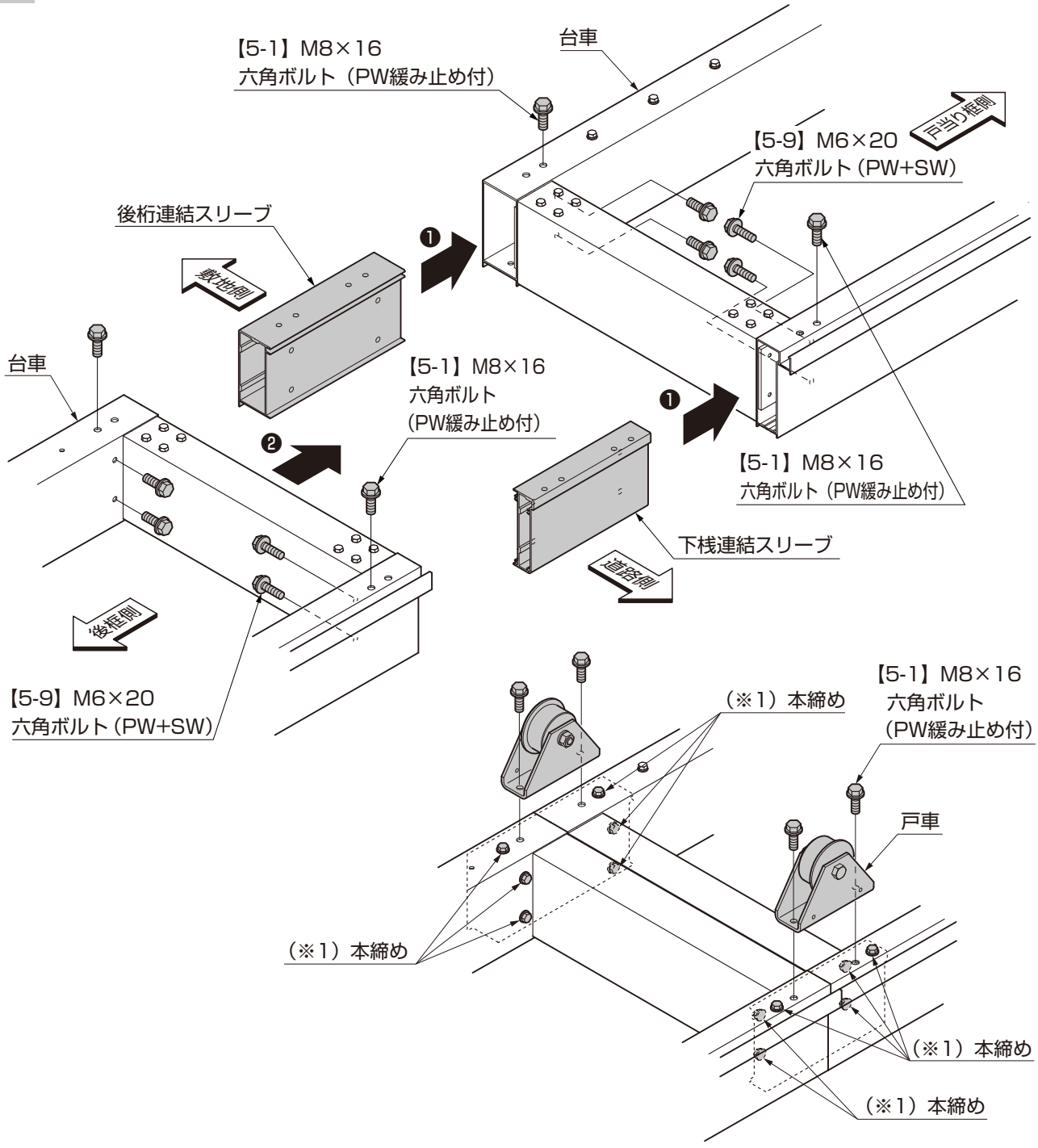
1-3　前後ストッパーの取付け　※後部・単独の場合の作業です。



①前後ストッパーを【5-5】で取付けてください。

1.（つづき）

1-4　連結部（D部）の取付け　※連結の場合の作業です。



①下桟連結スリーブ、後桁連結スリーブを戸当り框側の台車に差込み、【5-1】、【5-9】で仮固定してください。
②①に後框側の台車を差込み、【5-1】、【5-9】で仮固定してください。
③戸車を【5-1】で取付けてください。
④①および②の仮固定した【5-1】、【5-9】を本締めしてください。（※1）

ポイント

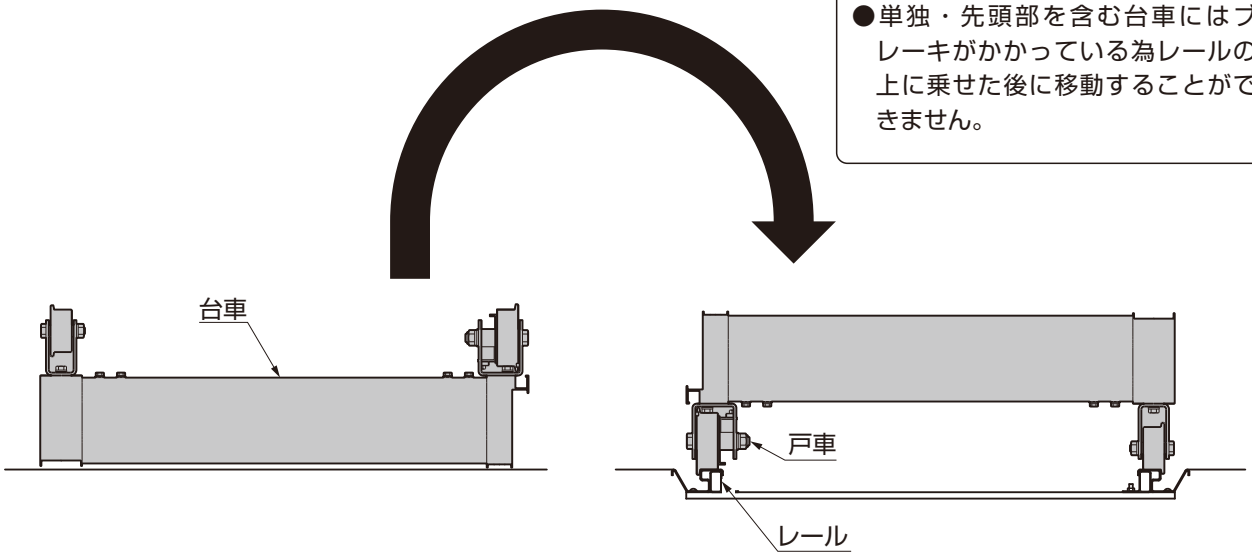
●台車の連結は2台毎までとしてください。2台以上の場合はレールに設置してから連結してください。3台以上連結すると重量が重くなり、レールに設置することができなくなる場合があります。

2. 台車の設置

2-1 レールへの設置

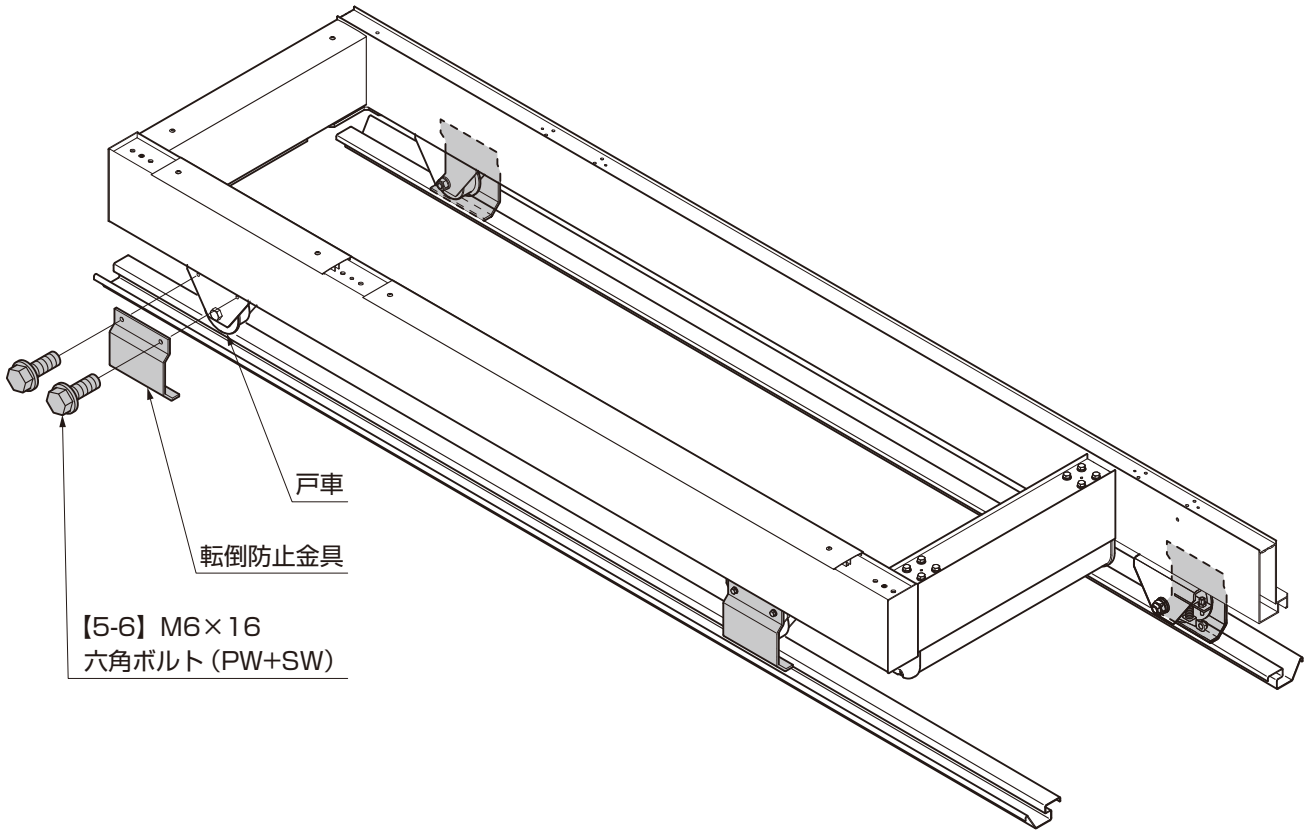
ポイント

●単独・先頭部を含む台車にはブレーキがかかっている為レールの上に乗せた後に移動することができません。



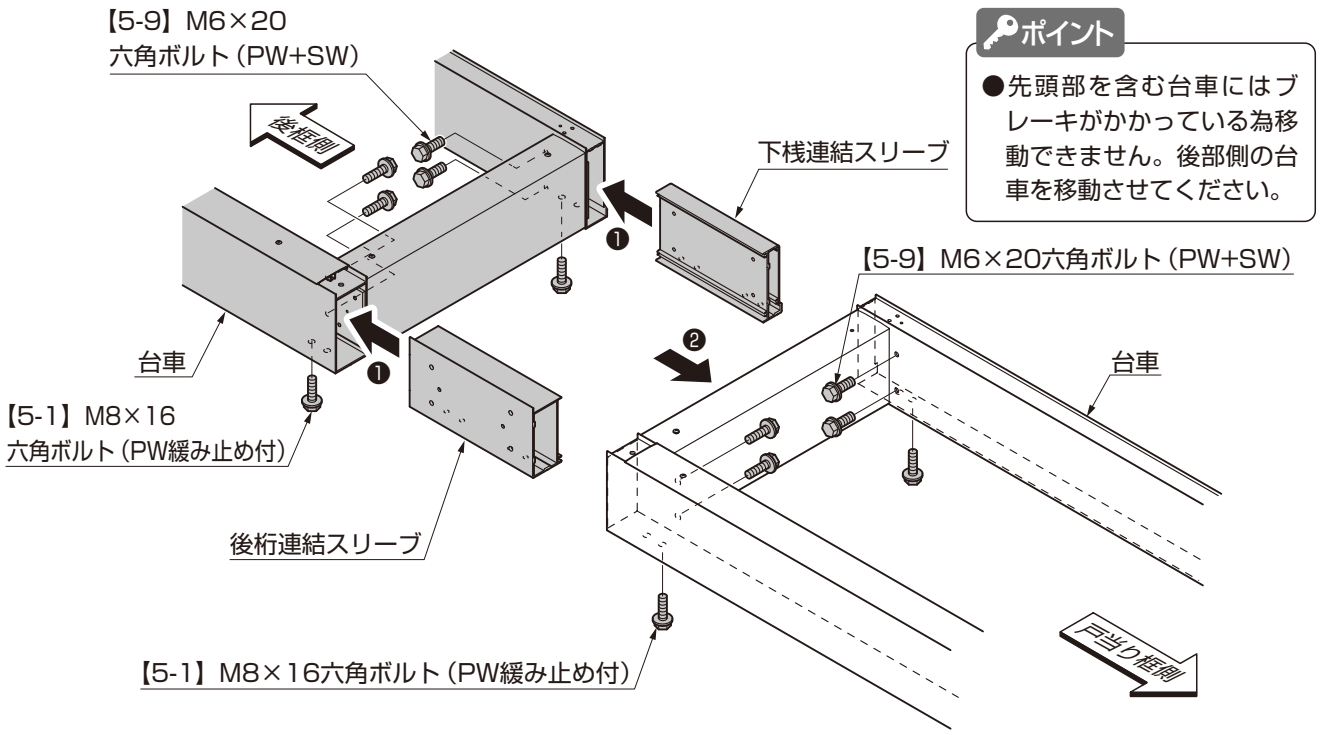
①台車を回転させて、レールの上に台車をのせてください。

2-2 転倒防止金具の取付け



①転倒防止金具を戸車に【5-6】で取付けてください。

3. 台車の連結　※3台以上の台車を連結する場合のみの作業です。



ポイント

●先頭部を含む台車にはブレーキがかかっている為移動できません。後部側の台車を移動させてください。

図3-1　台車の連結

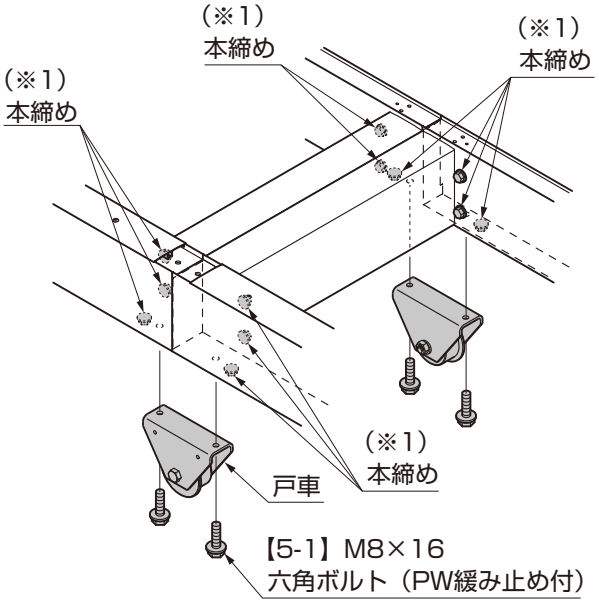


図3-2　戸車の取付け

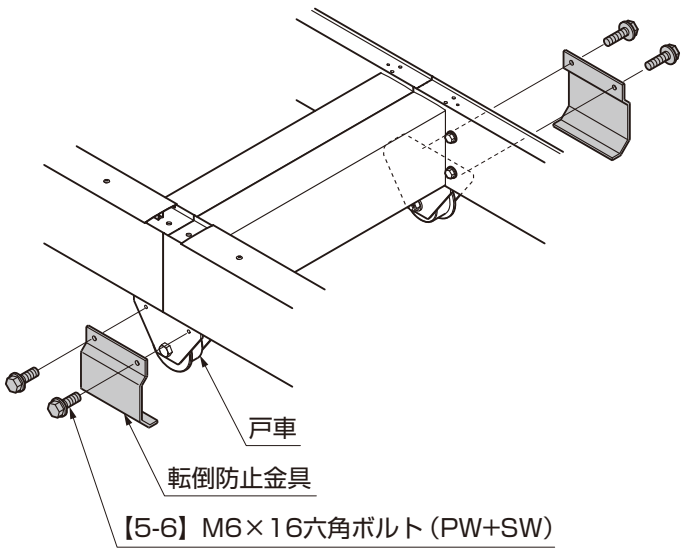
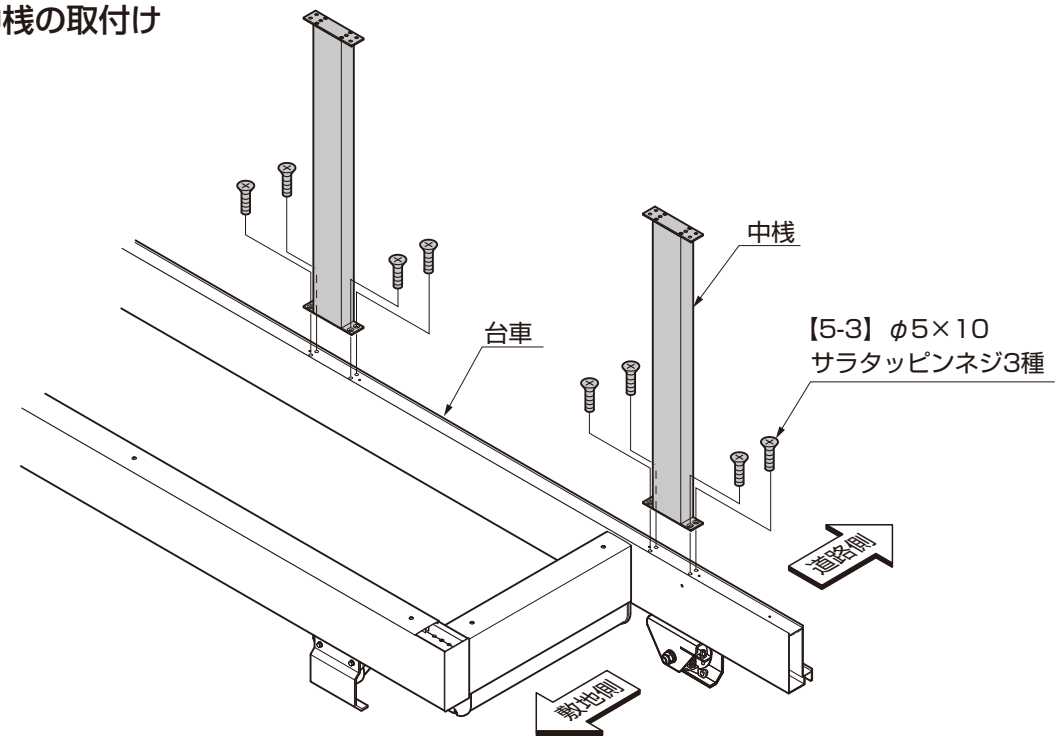


図3-3　転倒防止金具の取付け

①後框側の台車に下桟連結スリーブ、後桁連結スリーブを差込み、【5-1】、【5-9】で仮固定してください。
②①を戸当り框側の台車に差込み、【5-1】、【5-9】で仮固定してください。
③戸車を【5-1】で取付けてください。
④①および②の仮固定した【5-1】、【5-9】を本締めしてください。（※1）
⑤転倒防止金具を戸車に【5-6】で取付けてください。

4. フレームの組立て

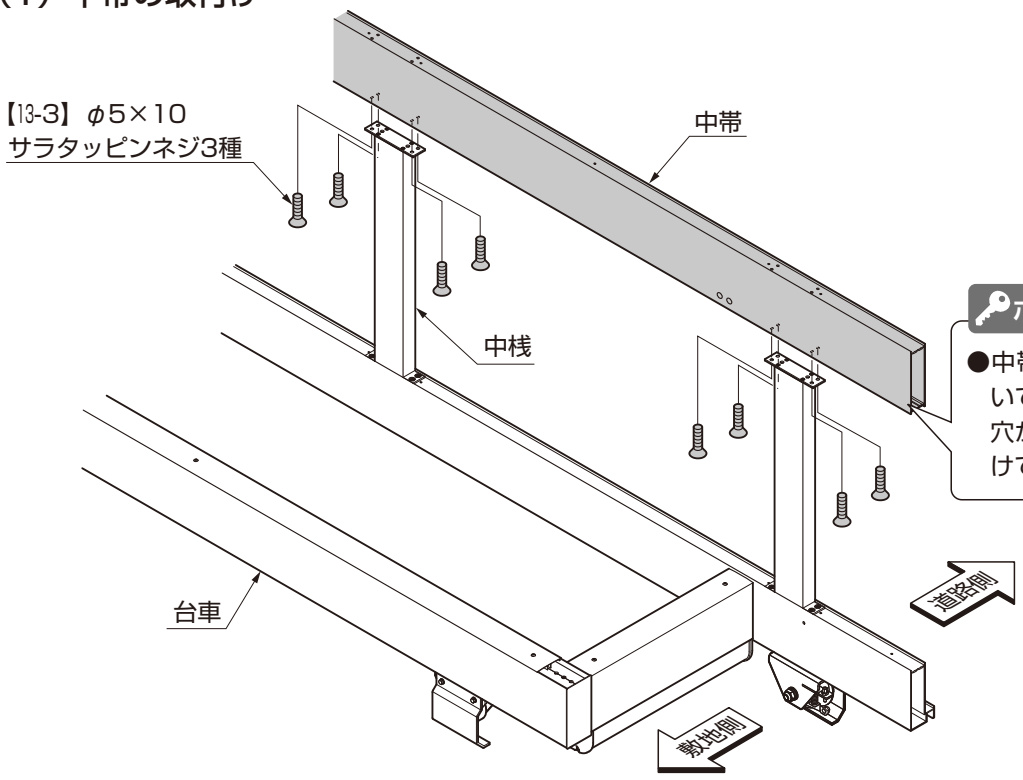
4-1　中桟の取付け



①中桟を台車に【5-3】で取付けてください。

4-2　中帯の取付け　※レール幅1000の場合の作業です。

（1）中帯の取付け



ポイント

●中帯は側面にφ7の穴があいているほうが敷地側で、穴が下側になるように取付けてください。

①台車に取付けた中桟の上に中帯を【13-3】で取付けてください。

4.（つづき）

4-2 つづき

（2）中帯の連結 ※連結の場合の作業です。

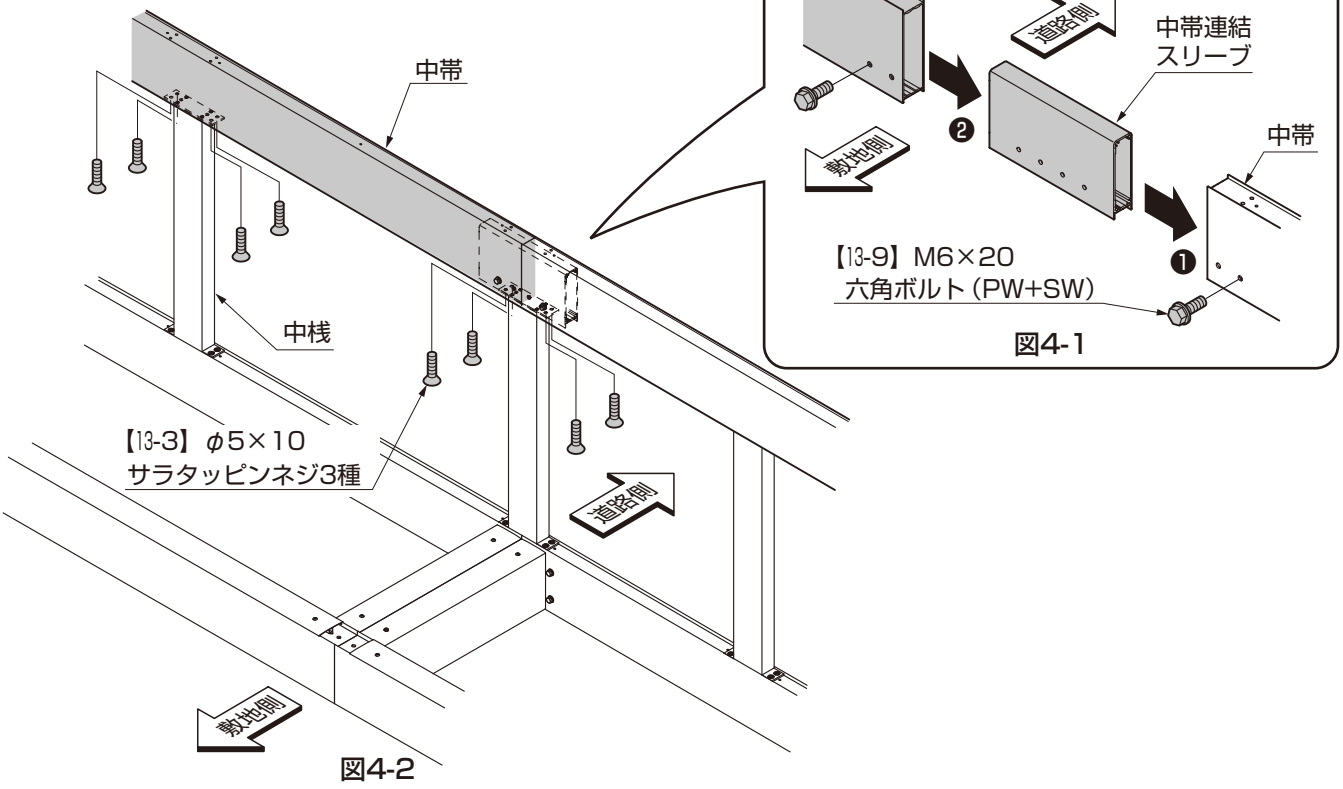
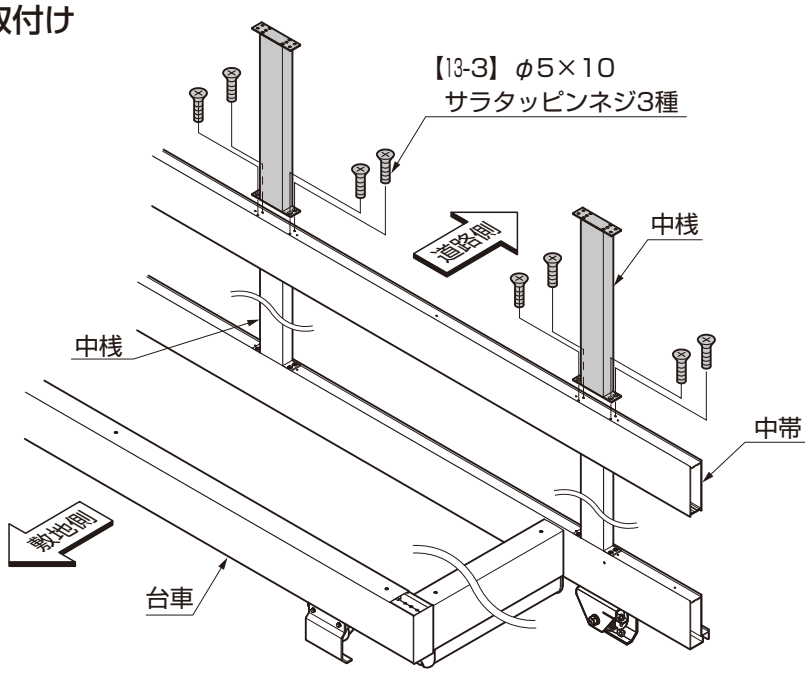


図4-1

図4-2

①中桟に取付けた中帯に中帯連結スリーブ差込み、【13-9】で仮固定してください。（図4-1参照）
②もう片方の中帯を仮固定した中帯連結スリーブに差込み、【13-9】で取付けてください。（図4-1参照）
③①で仮固定した【13-9】を本締めしてください。（図4-1参照）
④取付けた中帯に中桟を【13-3】で取付けてください。（図4-2参照）

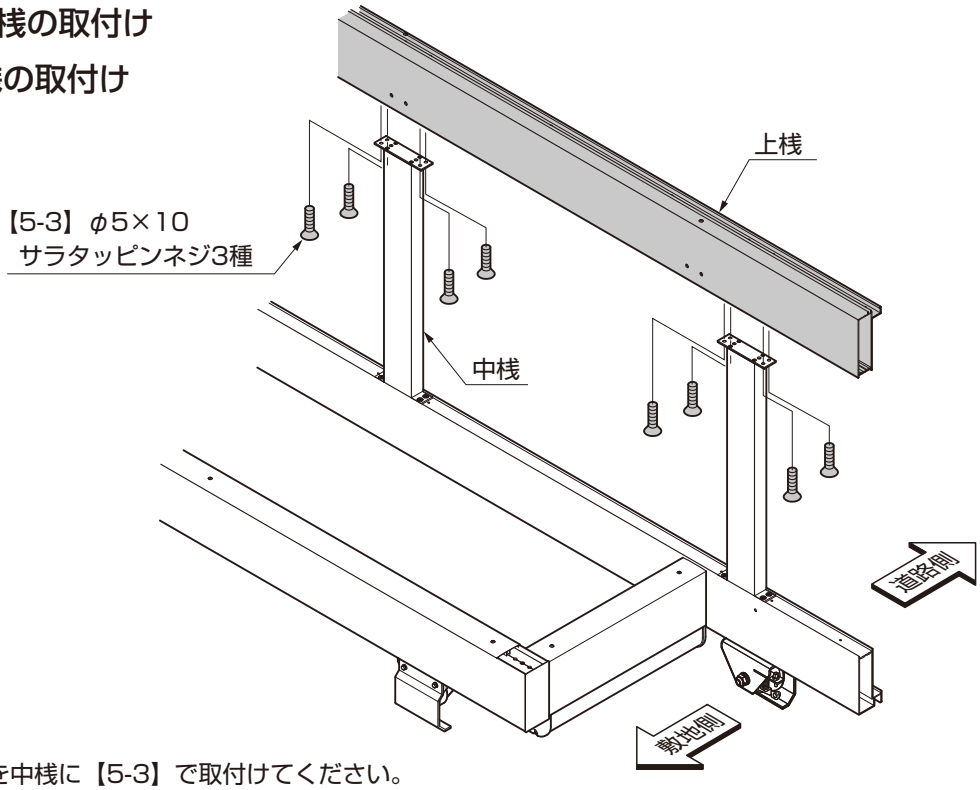
（3）中桟の取付け



①中帯の上に中桟を【13-3】で取付けてください。

4-3　上桟の取付け

（1）上桟の取付け



①上桟を中桟に【5-3】で取付けてください。

（2）上桟の連結　※連結の場合の作業です。

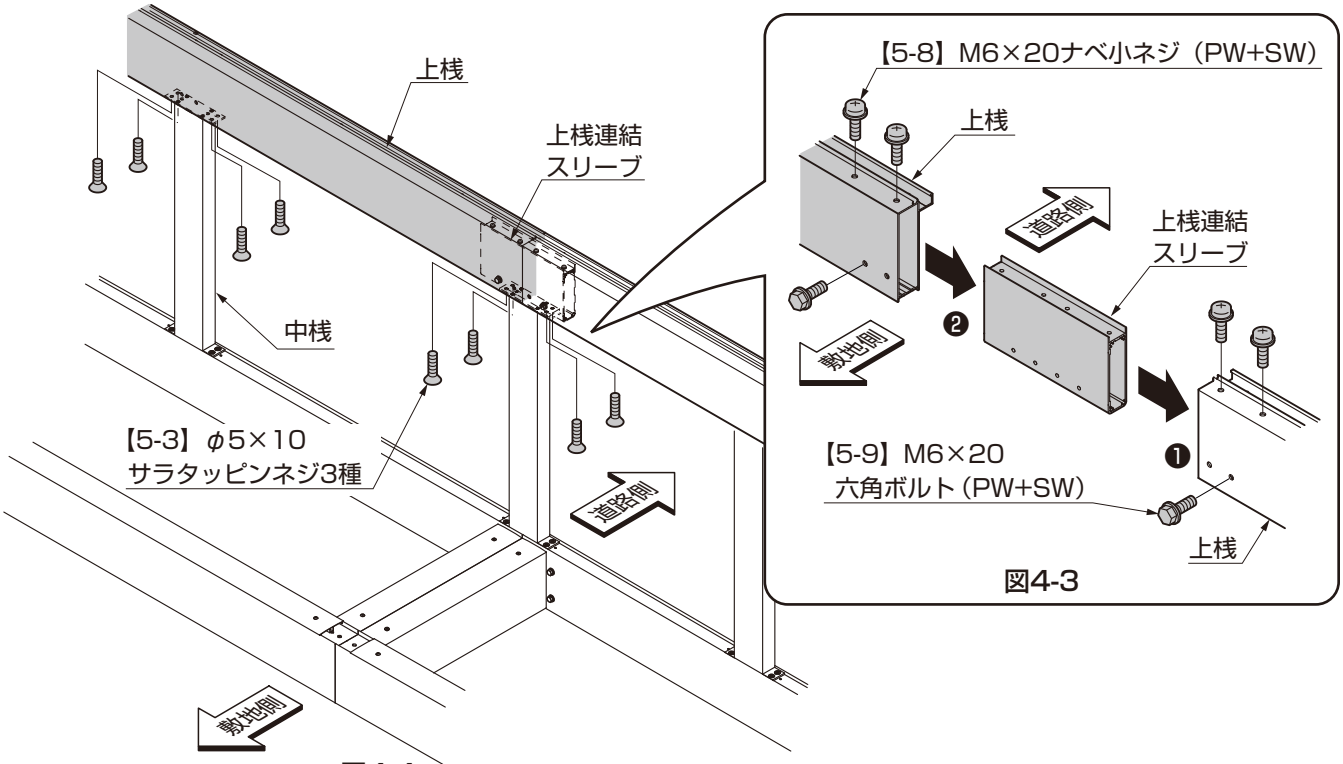


図4-3

図4-4

①中桟に取付けた上桟に上桟連結スリーブを差込み、【5-8】、【5-9】で仮固定してください。（図4-3参照）
②もう片方の上桟を仮固定した上桟連結スリーブに差込み、【5-8】、【5-9】で取付けてください。（図4-3参照）
③①で仮固定した【5-8】、【5-9】を本締めしてください。（図4-3参照）
④取付けた上桟に中桟を【5-3】で取付けてください。（図4-4参照）

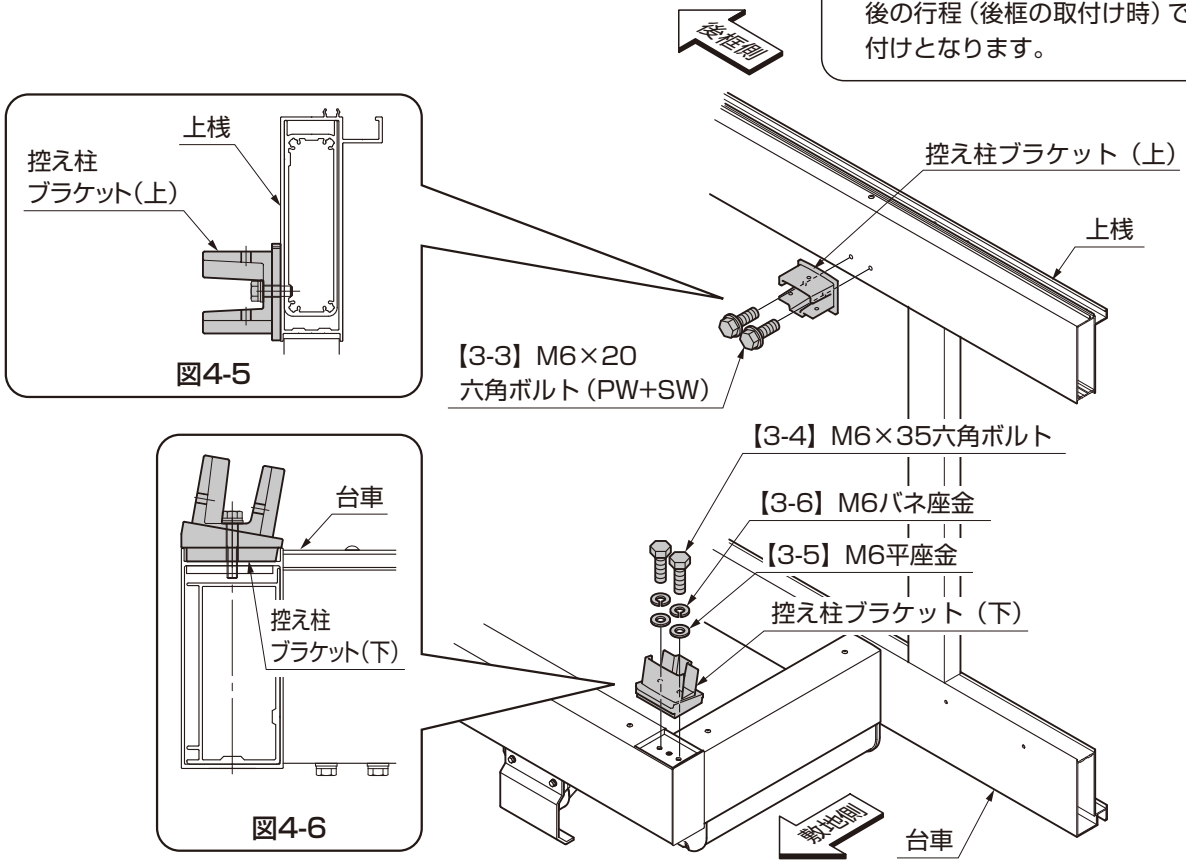
4.（つづき）

4-4　控え柱ブラケットの取付け

（1）上桟、台車への取付け

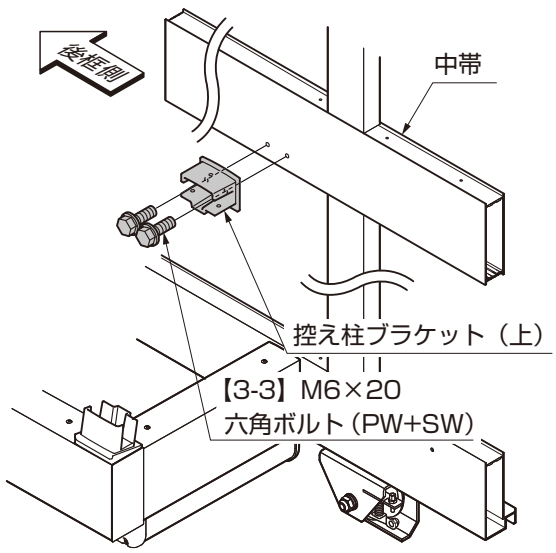
ポイント

●単独・後部の控え柱ブラケットは、後の行程（後框の取付け時）での取付けとなります。



①控え柱ブラケット（上）を上桟に【3-3】で取付けてください。（図4-5参照）
②控え柱ブラケット（下）を台車に【3-4】、【3-5】、【3-6】で取付けてください。（図4-6参照）

（2）中帯への取付け　※レール幅1000の場合の作業です。



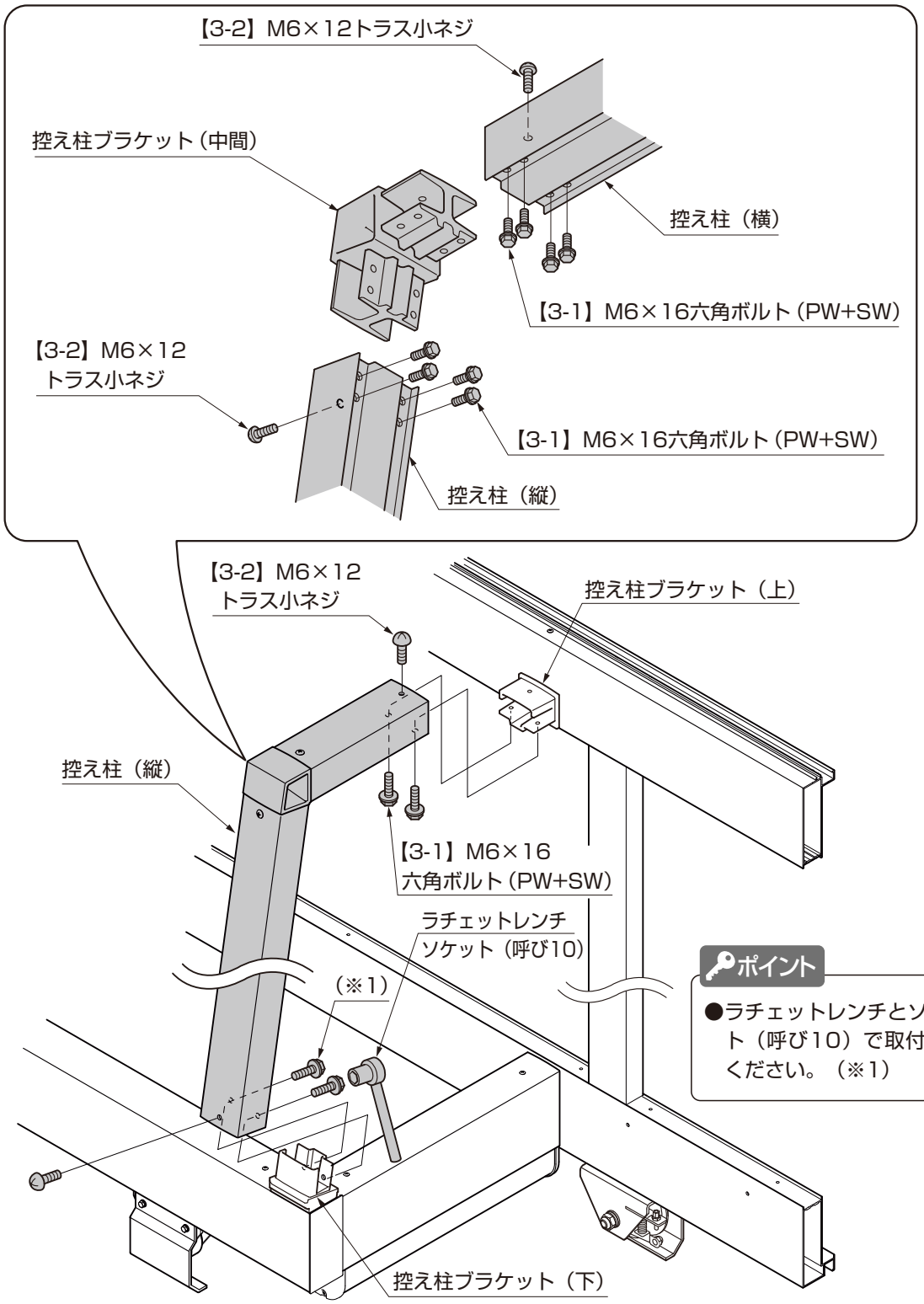
ポイント

●単独・後部の控え柱ブラケットは、後の行程（後框の取付け時）での取付けとなります。

①控え柱ブラケット（上）を中帯に【3-3】で取付けてください。

4-5　控え柱の取付け

（1）中帯がない仕様



ポイント

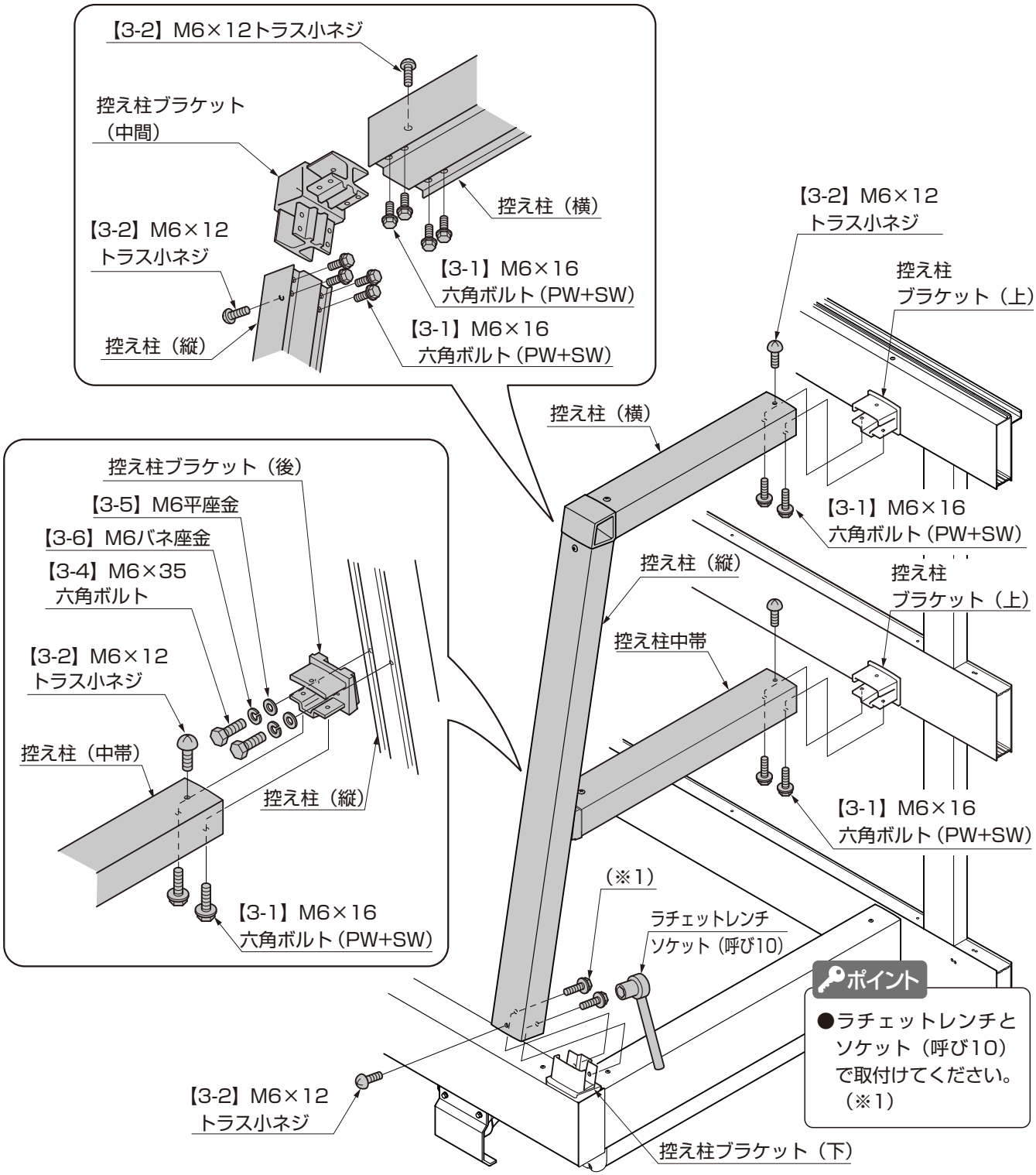
●ラチェットレンチとソケット（呼び10）で取付けてください。（※1）

①控え柱ブラケット（中間）に控え柱（横）、控え柱（縦）を差込み、【3-1】、【3-2】で仮固定してください。
②①を控え柱ブラケット（下）に挿入してから、控え柱ブラケット（上）に挿入し、【3-1】、【3-2】で取付けてください。
③①を本締めしてください。

4.（つづき）

4-5 つづき

（2）中帯がある仕様 ※レール幅1000の場合の作業です。



①控え柱（縦）に控え柱ブラケット（後）を【3-4】、【3-5】、【3-6】で取付け、それと控え柱（横）を控え柱ブラケット（中間）に差込み、【3-1】、【3-2】で仮固定してください。
②①を控え柱ブラケット（下）に挿入してから、控え柱ブラケット（上）に挿入し【3-1】、【3-2】で取付けてください。
③①を本締めしてください。

D626_201805C

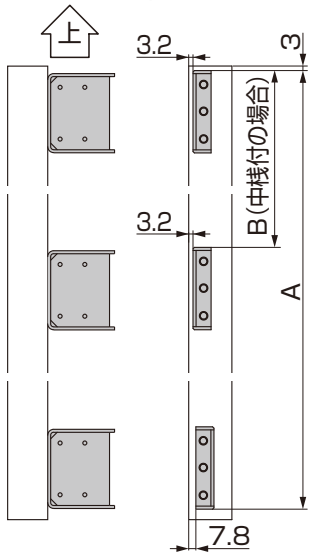
5. 框の取付け

5-1　後框の取付け　※単独・後部の場合の作業です。

ポイント

●取付け前に、上下桟用框ブラケットの位置が下図になるように調整してください。

●後框には上下があります。



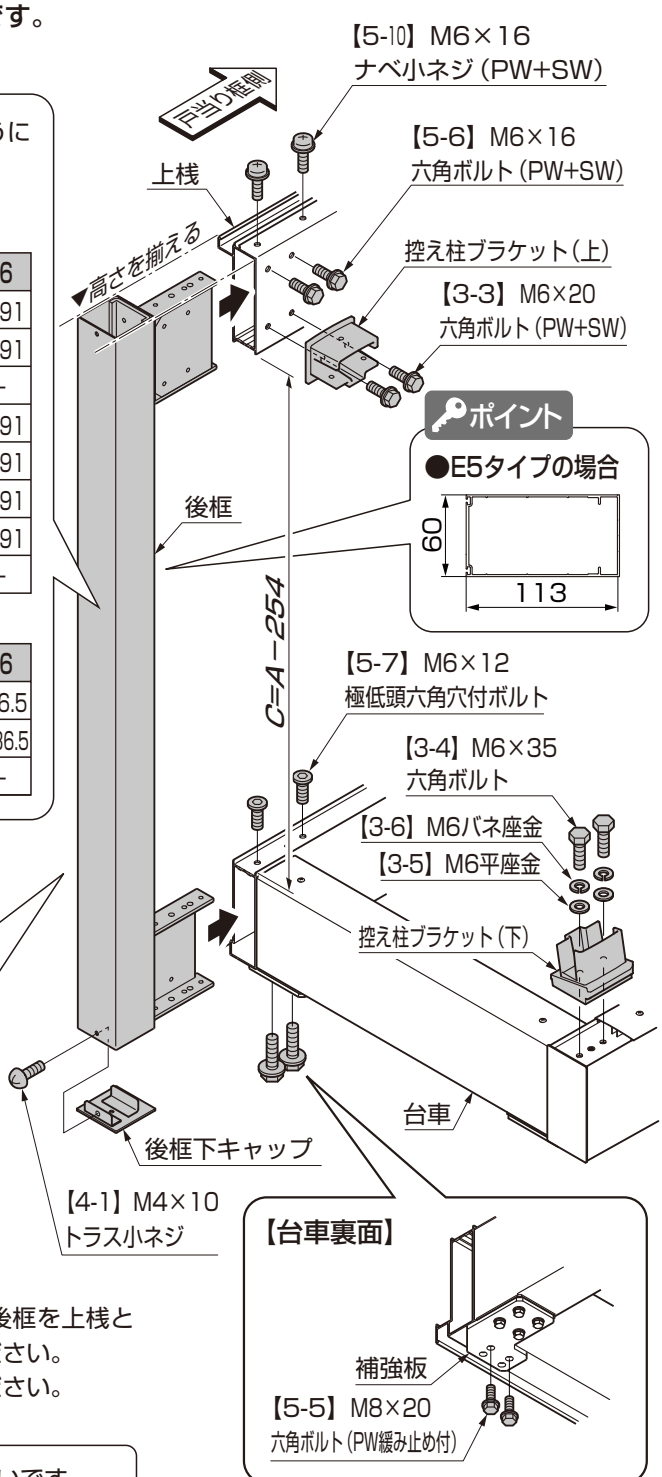
※図は右引き用を示します。

表5-1　A寸法

高さ	E1,E3	E2	E4	E5	E6
H12	–	–	1091	1091	1091
H14	–	1091	1291	–	1291
H15	1091	–	–	1391	–
H16	–	1291	1491	–	1491
H18	1391	1491	1691	1691	1691
H20	1591	1691	1891	1891	1891
H25	2091	2091	–	2391	2391
H30	2591	–	–	–	–

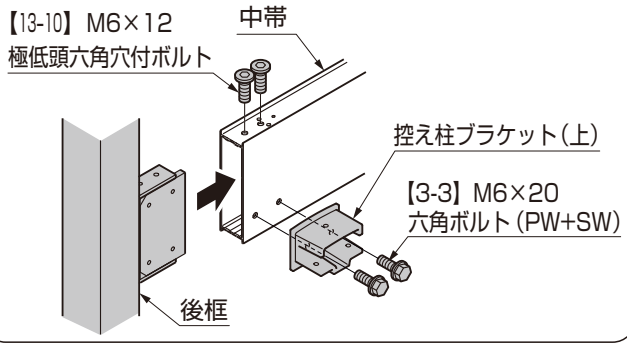
表5-2　B寸法

高さ	E1,E3	E2	E4	E5	E6
H20	–	–	886.5	886.5	886.5
H25	986.5	986.5	–	1136.5	1136.5
H30	1236.5	–	–	–	–



ポイント

【中帯がある場合】



①上桟と後框の高さを揃えて、C寸法を確認しながら、後框を上桟と台車に【5-5】、【5-6】、【5-7】、【5-10】で取付けてください。

※中帯付きの場合、後框を中帯に【13-10】で取付けてください。

補足

●上桟側は側面のボルトから固定すると位置が出しやすいです。

②後框下キャップを後框に【4-1】で取付けてください。

③控え柱ブラケット（上）を上桟に【3-3】で取付けてください。

※中帯付きの場合、控え柱ブラケット（上）を中帯に【3-3】で取付けてください。

④控え柱ブラケット（下）を台車に【3-4】、【3-5】、【3-6】で取付けてください。

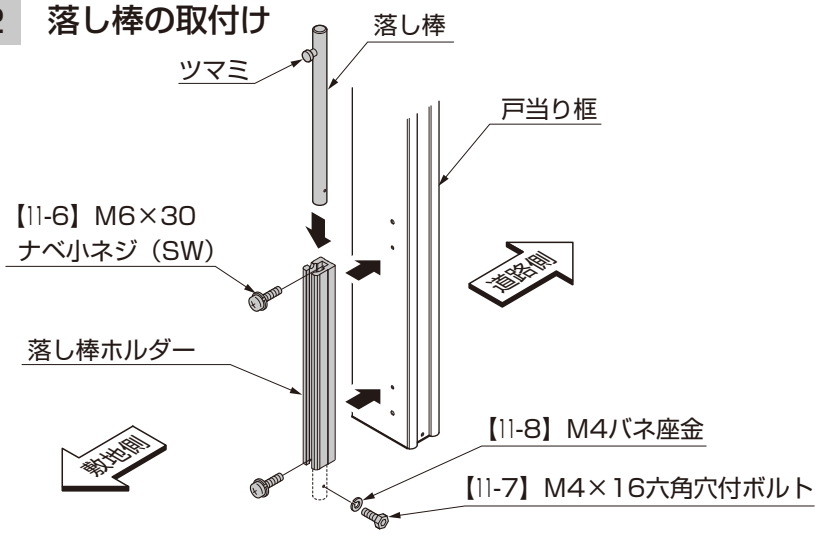
⑤控え柱を取付けてください。

ポイント

●控え柱の取付けは「4-5 控え柱の取付け」を参照してください。

5.（つづき）

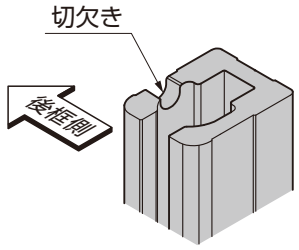
5-2 落し棒の取付け



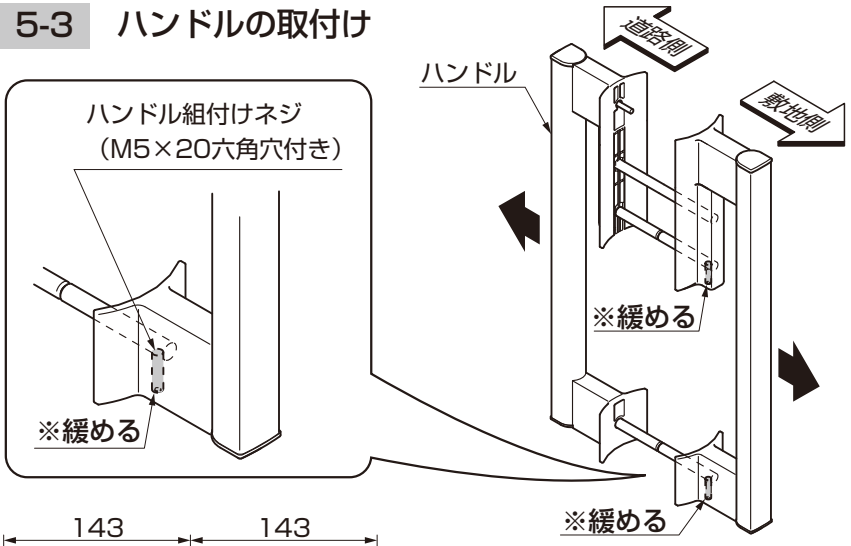
①落し棒ホルダーを戸当り框に【11-6】で取付けてください。
②落し棒を落し棒ホルダーに通してから【11-7】、【11-8】を取付けてください。

ポイント

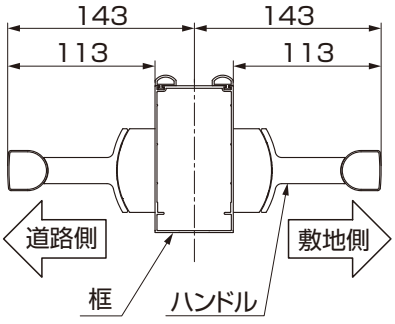
●落し棒ホルダーは切欠き部が後框側になるように取付けてください。

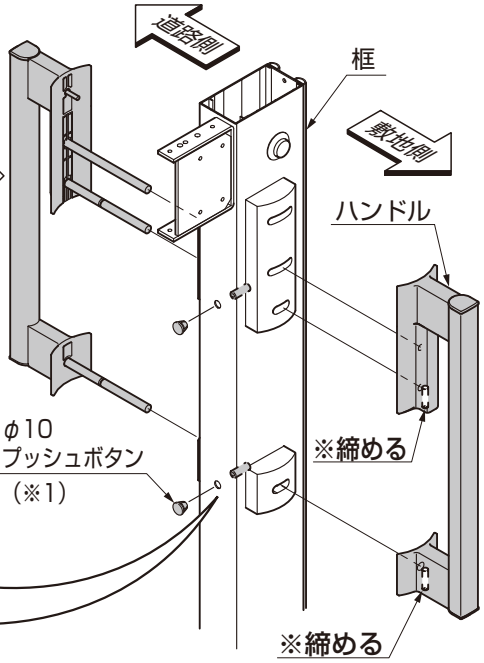


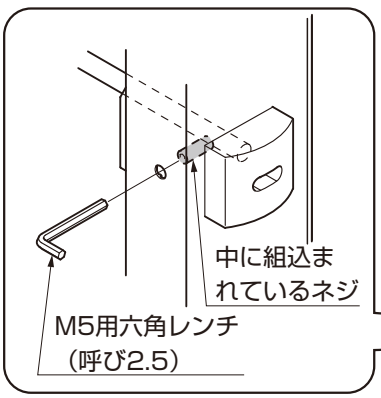
5-3 ハンドルの取付け



①ハンドル組付けネジ（M5×20六角穴付き）を緩めて、ハンドルを敷地側と道路側にわけてください。







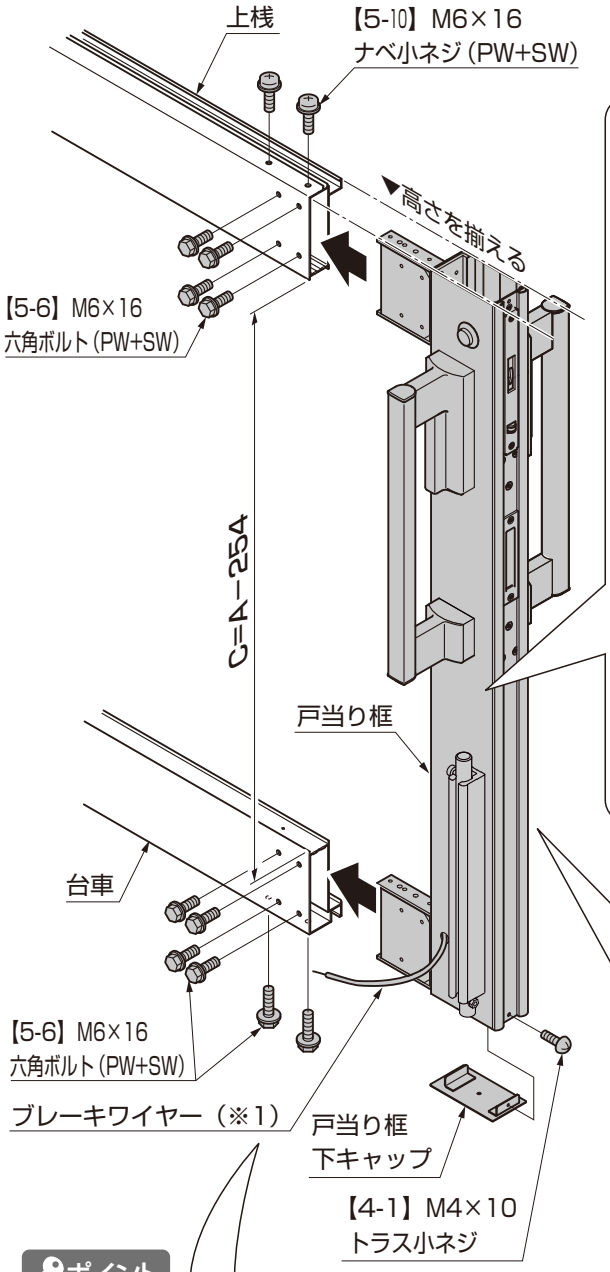
②框にハンドルを差込んでください。
③ハンドルが道路側と敷地側で対称となっているのを確認してから框に開いている側面の穴にM5用六角レンチを差込み、中のネジを締め付けてください。
④①で緩めたネジを締め付けてください。
⑤φ10プッシュボタンを框に取付けてください。

ポイント

●E4、E5、E6はプッシュボタン（※1）を使用しません。

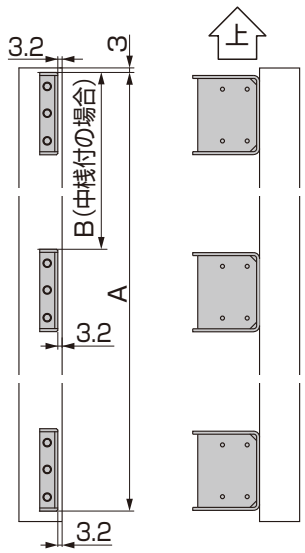
D626_201805C

5-4 戸当り框の取付け ※単独・先頭の場合の作業です。
受け框の取付け ※両引きの場合の作業です。



ポイント

●取付け前に、上下桟用框ブラケットの位置が下図になるように調整してください。



※図は右引き用を示します。

表5-3 A寸法

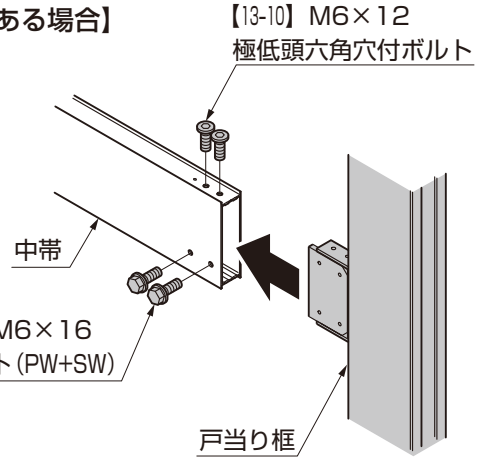
高さ	E1,E3	E2	E4	E5	E6
H12	−	−	1091	1091	1091
H14	−	1091	1291	−	1291
H15	1091	−	−	1391	−
H16	−	1291	1491	−	1491
H18	1391	1491	1691	1691	1691
H20	1591	1691	1891	1891	1891
H25	2091	2091	−	2391	2391
H30	2591	−	−	−	−

表5-4 B寸法

高さ	E1,E3	E2	E4	E5	E6
H20	−	−	886.5	886.5	886.5
H25	986.5	986.5	−	1136.5	1136.5
H30	1236.5	−	−	−	−

ポイント

【中帯がある場合】



ポイント

●框を取付ける際、ブレーキワイヤーを引っ張らないようにしてください。中のカシメ部がはずれ、ブレーキ操作ができなくなります。（※1）

①上桟と戸当り框の高さを揃えて、C寸法を確認しながら、戸当り框を上桟と台車に【5-6】、【5-7】、【5-10】で取付けてください。

※中帯付きの場合、戸当り框を中帯に【13-10】で取付けてください。

補足

●框は側面のボルトから固定すると位置が出しやすいです。

②戸当り框下キャップを戸当り框に【4-1】で取付けてください。

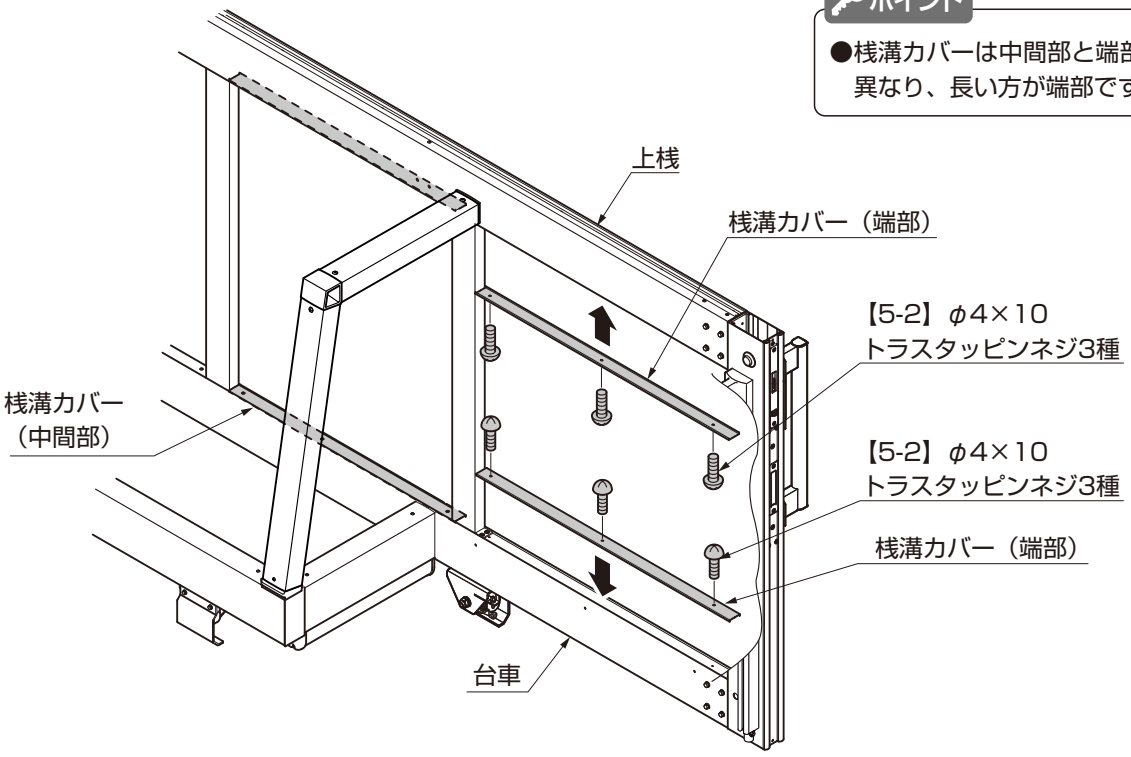
5.（つづき）

5-5 桟溝カバーの取付け

（1）上桟、台車への取付け

ポイント

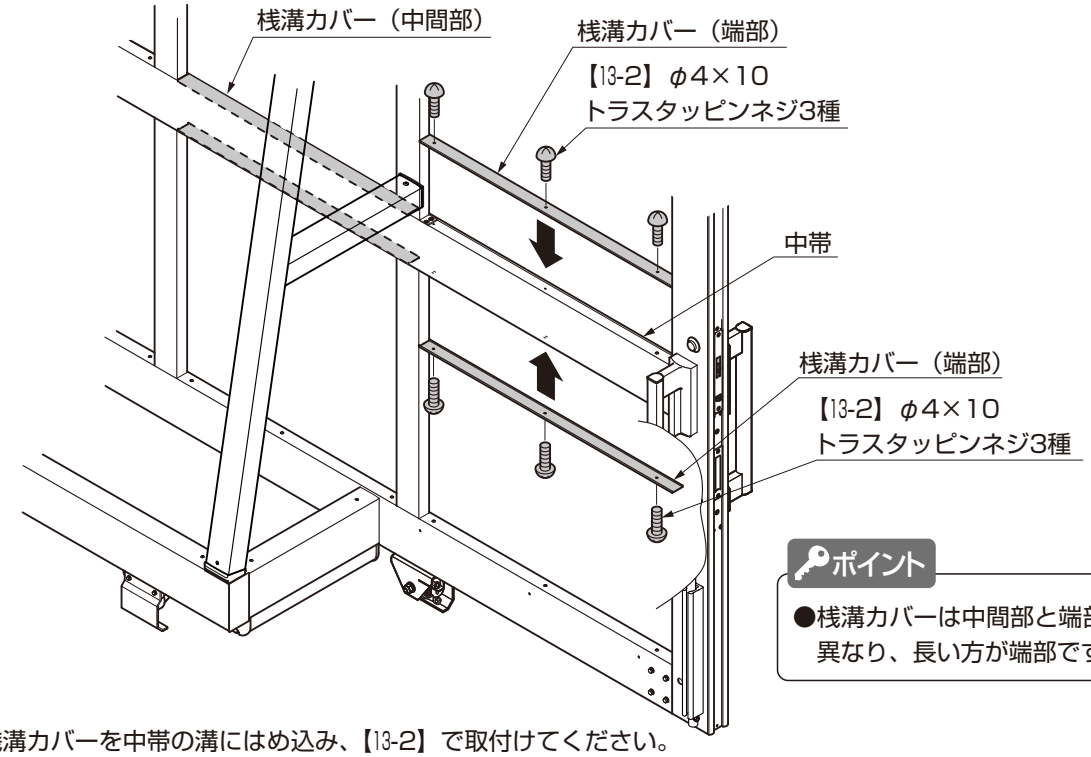
●桟溝カバーは中間部と端部で長さが異なり、長い方が端部です。



①桟溝カバーを上桟・台車の溝にはめ込み、【5-2】で取付けてください。

（2）中帯への取付け

※レール幅1000の場合の作業です。



ポイント

●桟溝カバーは中間部と端部で長さが異なり、長い方が端部です。

①桟溝カバーを中帯の溝にはめ込み、【13-2】で取付けてください。

D626_201805C

6. ブレーキの接続

6-1 ブレーキワイヤーの接続

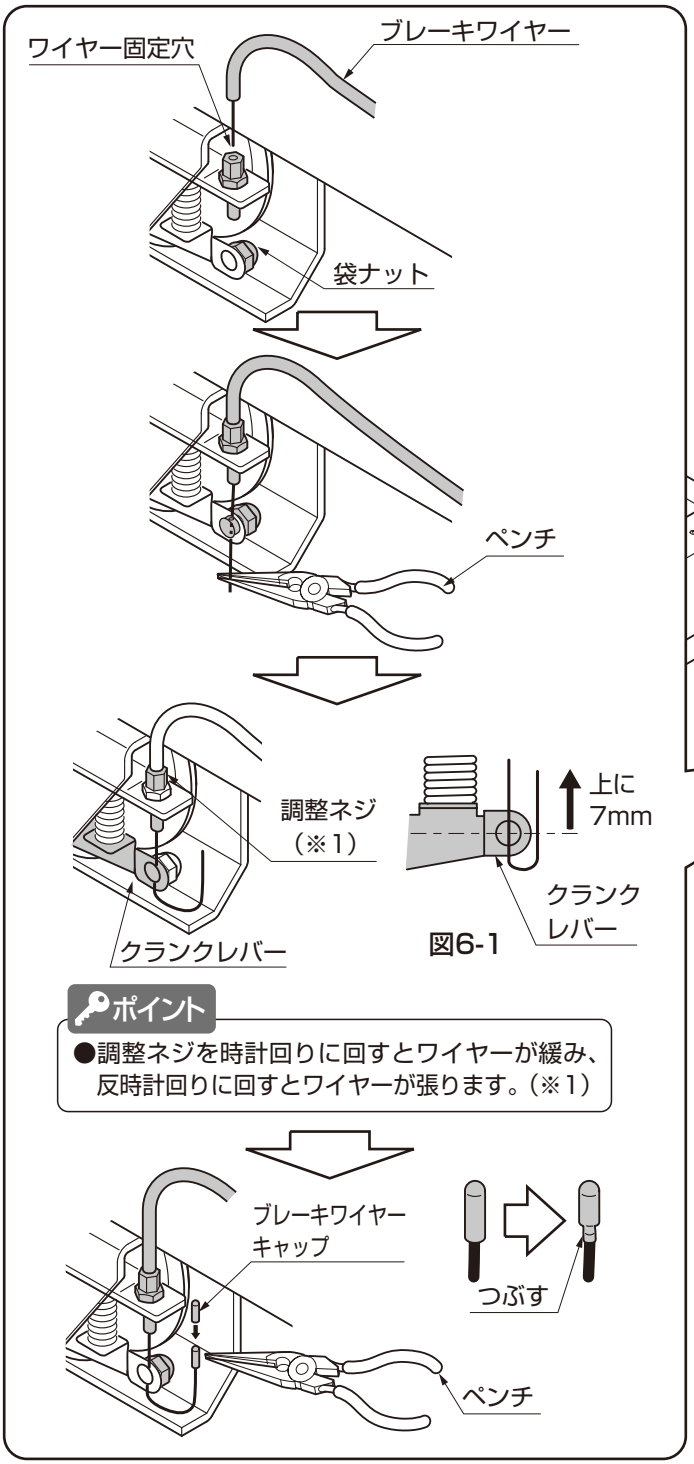
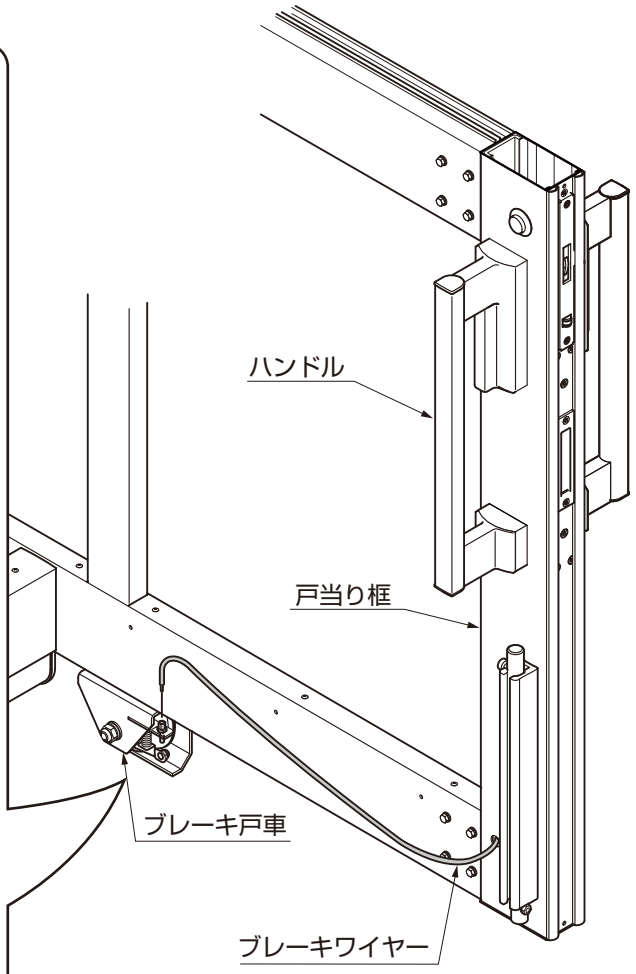


図6-1



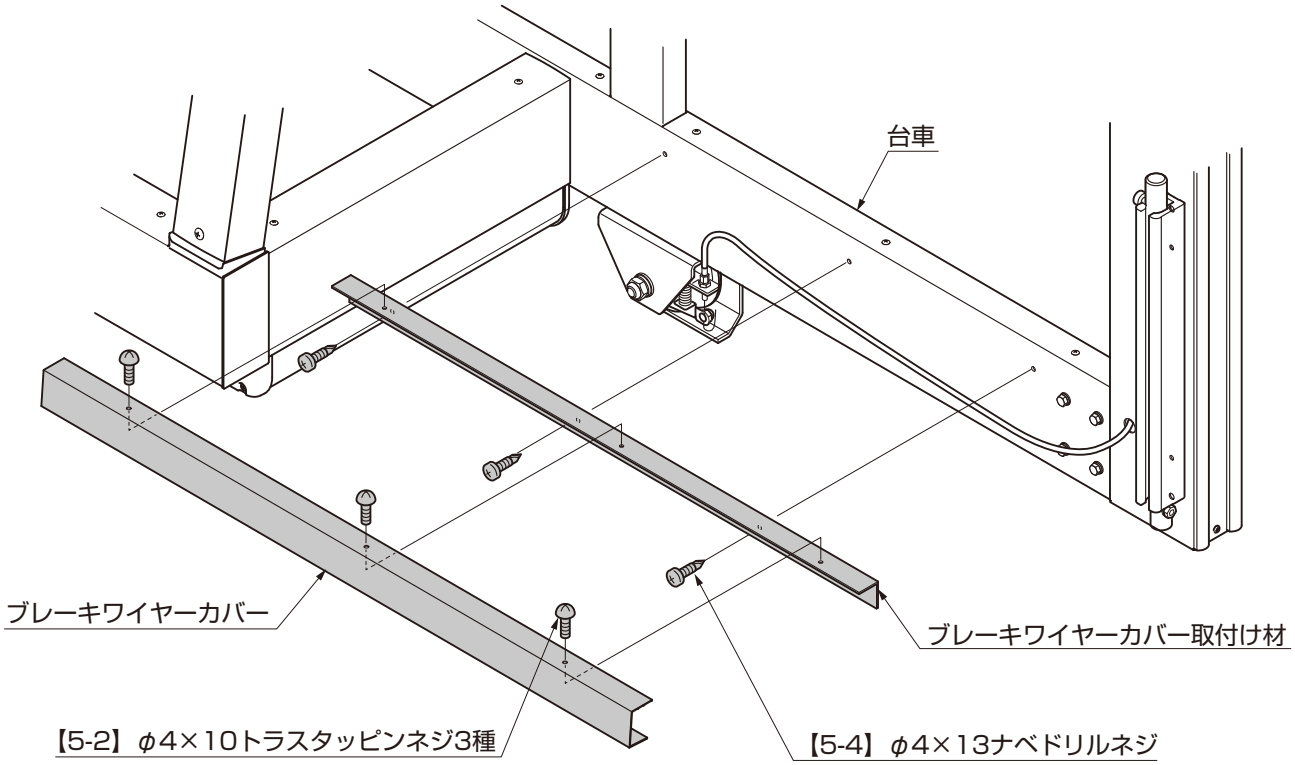
ポイント

●調整ネジを時計回りに回すとワイヤーが緩み、反時計回りに回すとワイヤーが張ります。（※1）

①戸当り框下部からでているブレーキワイヤーをブレーキ戸車のワイヤー固定穴に差込んでください。
②ブレーキ戸車の袋ナットを緩め、ブレーキワイヤー先端部を通してください。
③ハンドルを真っすぐにした状態でワイヤーをペンチなどで引っぱり、ハンドルがガタつかないのを確認したら、袋ナットを締めつけてください。
④ハンドルを動かし、ブレーキが解除され、引戸が動くことを確認してください。その際、クランクレバーが上に7mm動くのを目安に調整してください。（図6-1参照）
⑤ブレーキワイヤーを袋ナット部から上方に折り曲げ、先端にブレーキワイヤーキャップをかぶせ、抜けないようにペンチでつぶしてください。

6.（つづき）

6-2　ブレーキワイヤーカバーの取付け



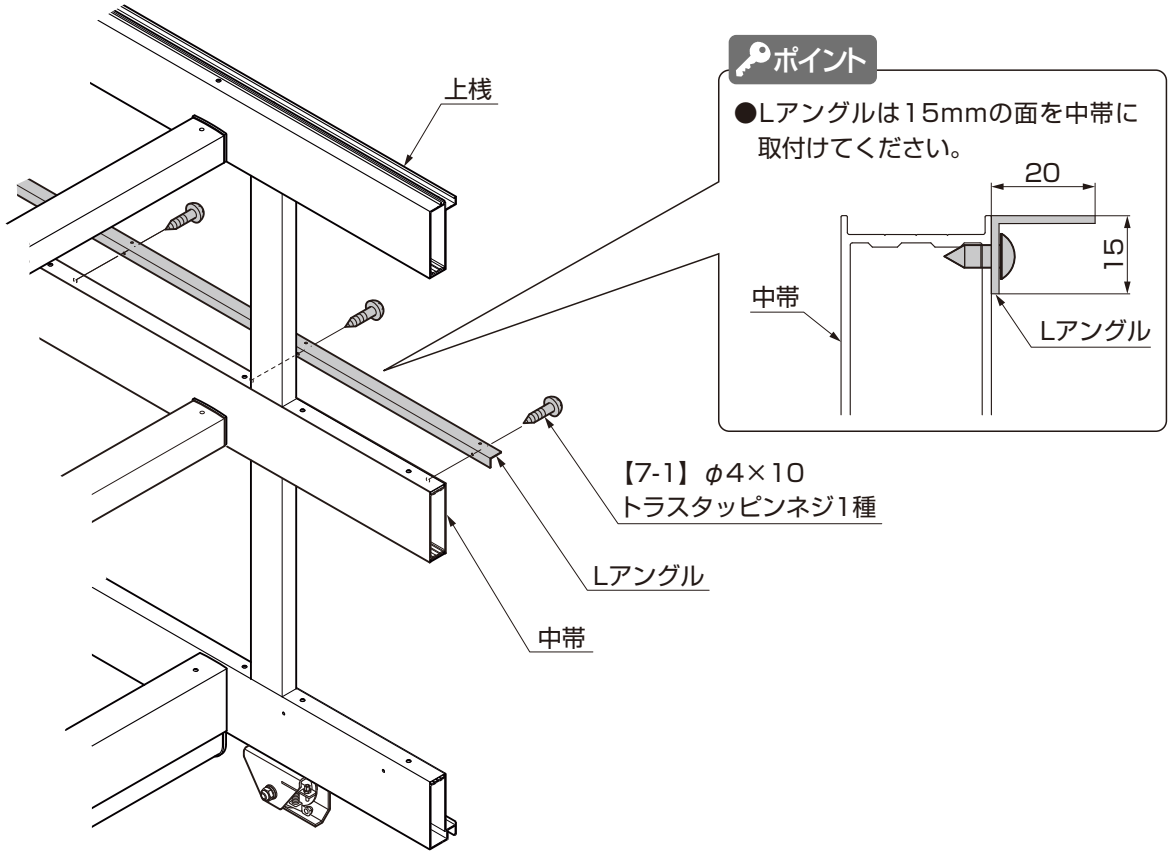
①ブレーキワイヤーカバー取付け材を台車に【5-4】で取付けてください。
②ブレーキワイヤーカバーをブレーキワイヤーカバー取付け材に【5-2】で取付けてください。

メモページ

4　パネルの施工

1. E1・E2・E3パネルの場合

1-1　Lアングルの取付け　※レール幅1000の場合の作業です。



①Lアングルを中帯に【7-1】で取付けてください。

メモページ

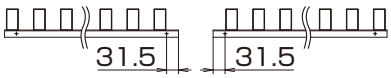
1.（つづき）

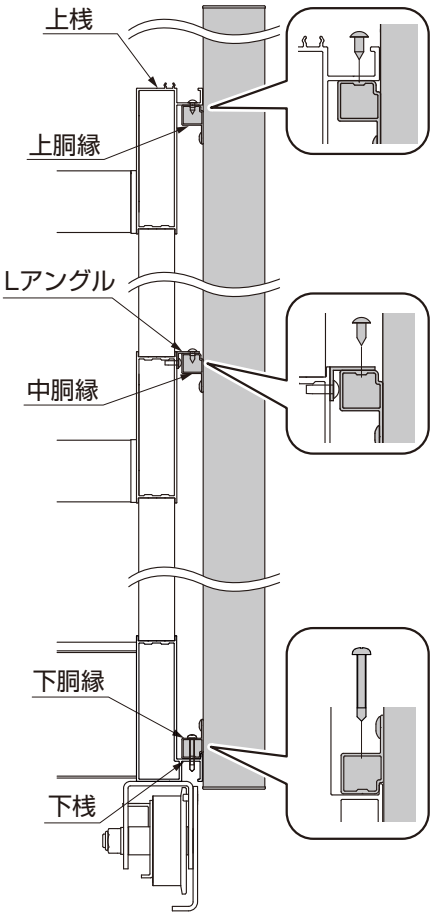
1-2　パネルの取付け

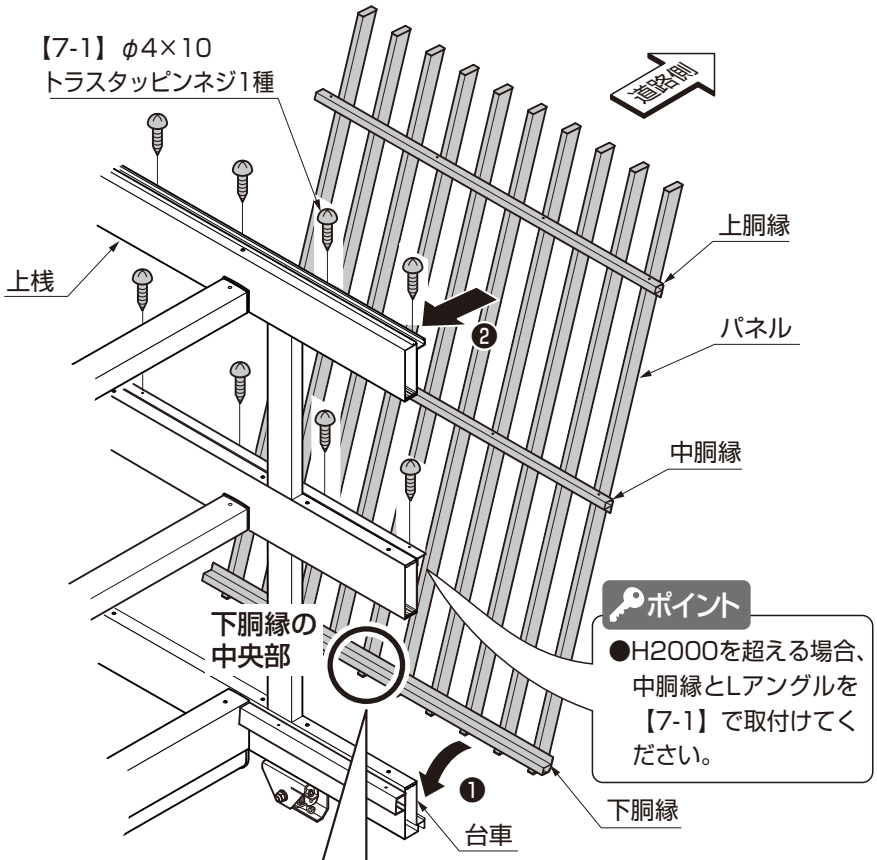
ポイント

●E2タイプの場合、パネルに左右があります。

右用　　左用

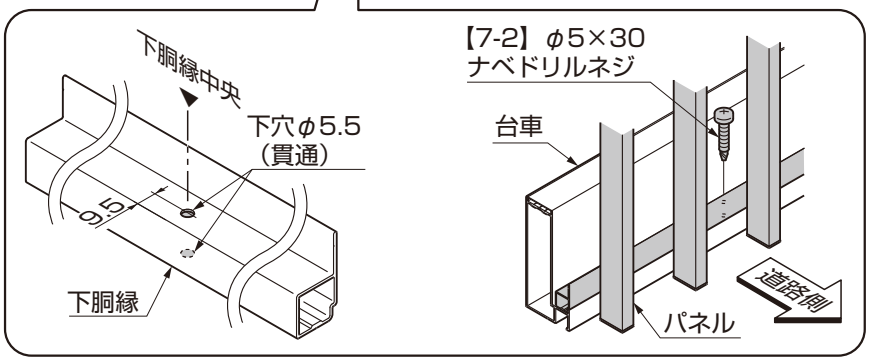






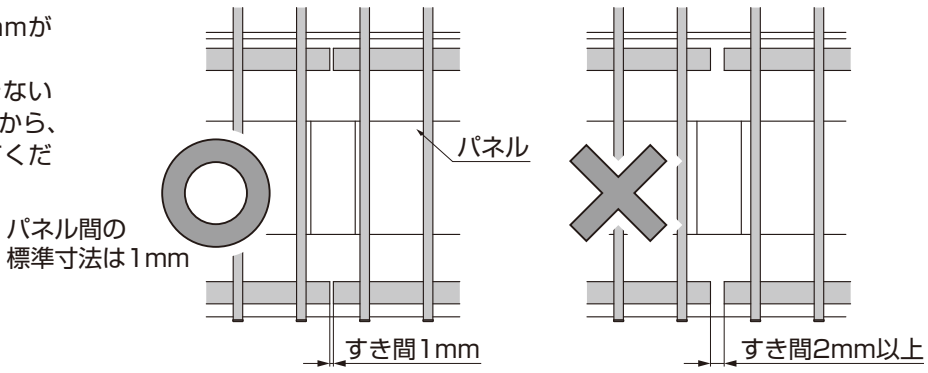
ポイント

●H2000を超える場合、中胴縁とLアングルを【7-1】で取付けてください。



ポイント

●パネル間のすき間は1mmが標準寸法です。
2mm以上すき間ができないようにパネルを調整してから、パネルを台車に取付けてください。

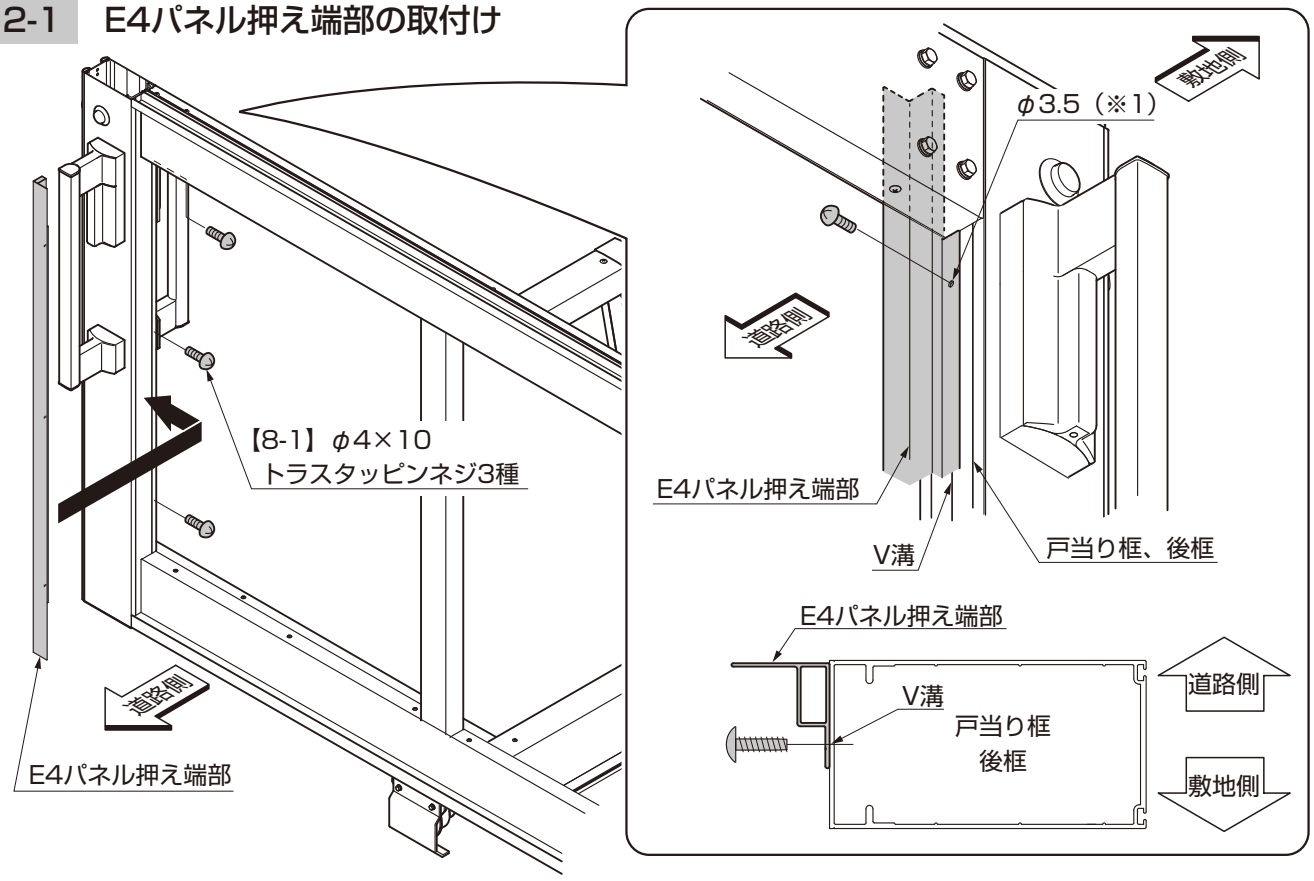


①パネルの下胴縁の中央にφ5.5の貫通穴をあけてください。
②下胴縁を台車にのせてから、パネルを上桟に【7-1】で取付けてください。
③①であけた穴に【7-2】でパネルを台車に取付けてください。

D626_201805C

2. E4パネルの場合

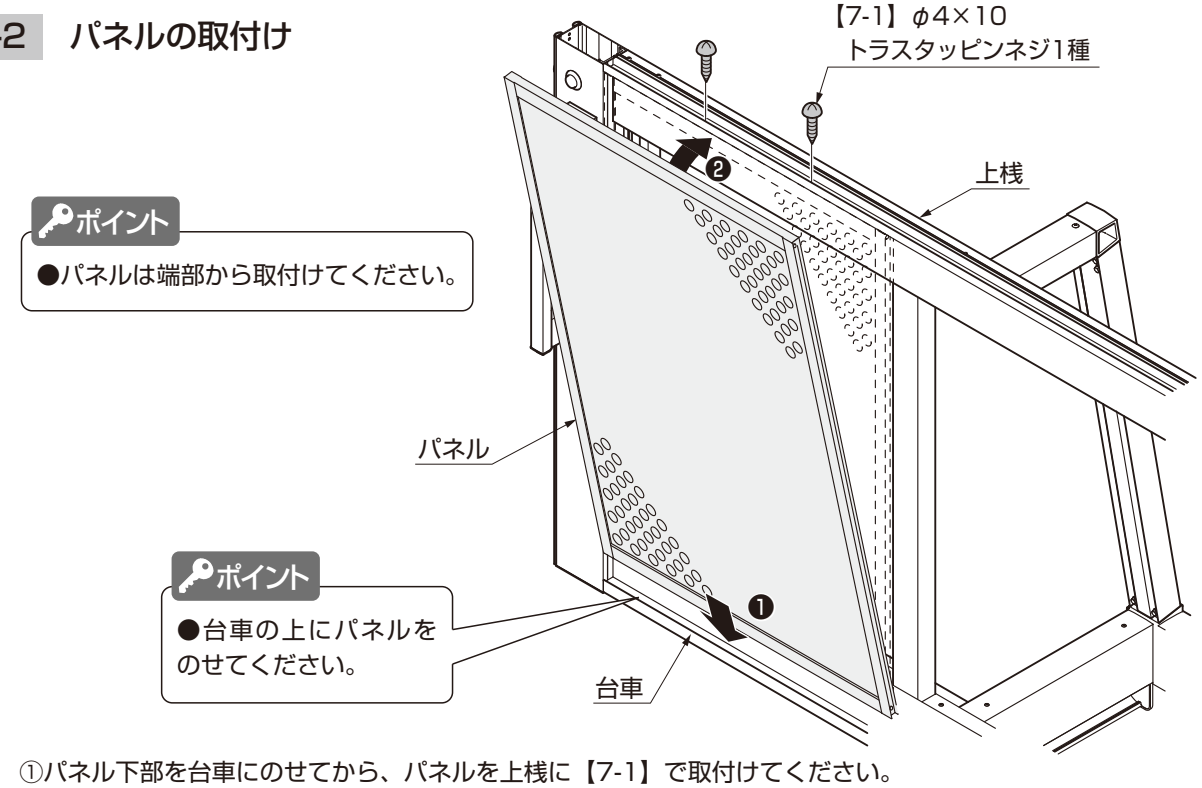
2-1 E4パネル押え端部の取付け



①E4パネル押え端部を框と上桟に押しあてて、E4パネル押え端部の穴をガイドにして、戸当り框、後框にφ3.5の穴をあけてください。（※1）

②E4パネル押え端部を戸当り框、後框に【8-1】で取付けてください。

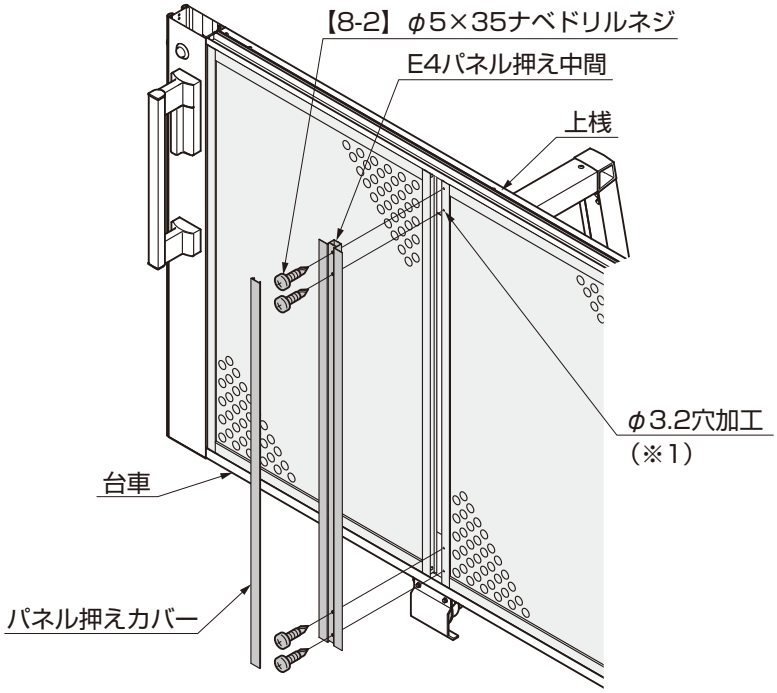
2-2 パネルの取付け



①パネル下部を台車にのせてから、パネルを上桟に【7-1】で取付けてください。

2.（つづき）

2-3　E4パネル押え中間の取付け



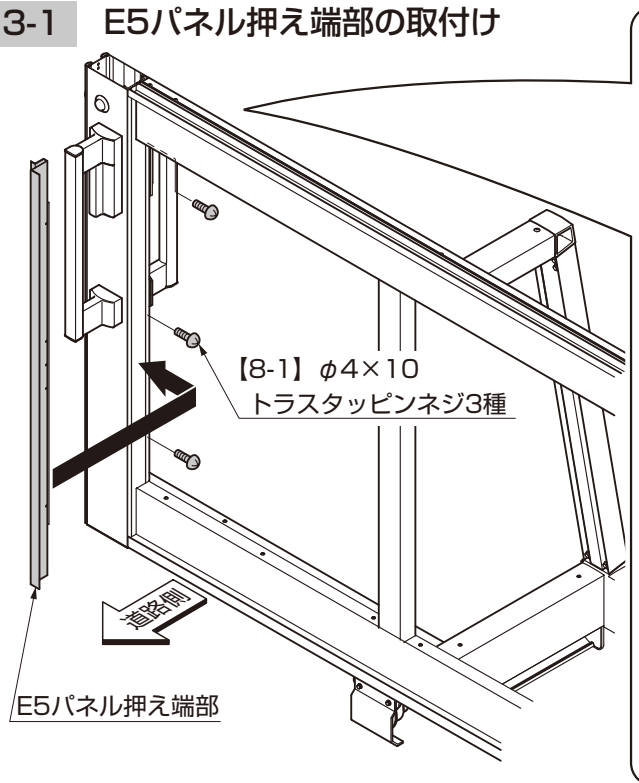
ポイント

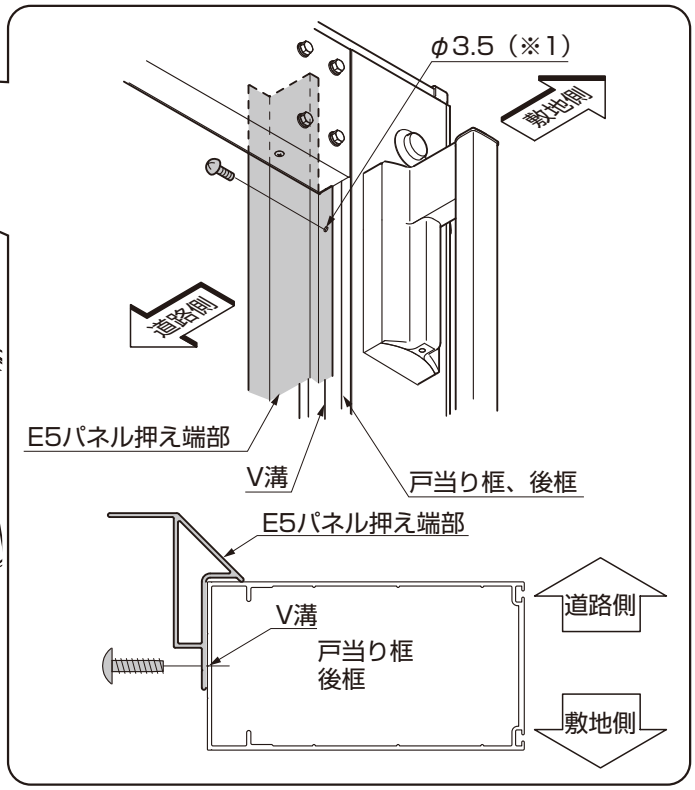
●中帯がある場合、中帯にもE4パネル押え中間を【8-2】で取付けてください。

①上桟と台車にE4パネル押え中間をあてがい、E4パネル押え中間の穴をガイドにして、上桟と台車にφ3.2（※1）の穴をあけてください。
②上桟と台車にE4パネル押え中間を【8-2】で取付けてください。
③パネル押えカバーをE4パネル押え中間にはめ込んでください。

3. E5パネルの場合

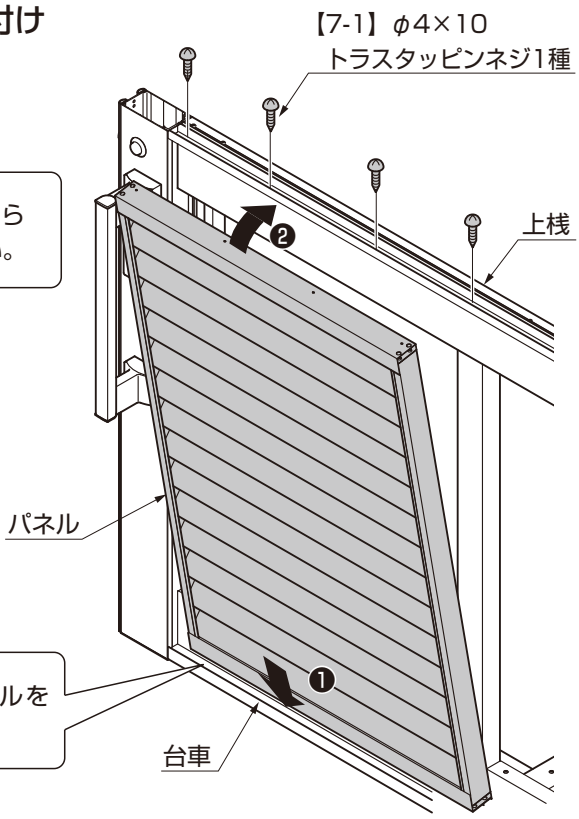
3-1　E5パネル押え端部の取付け





①E5パネル押え端部を框と上桟に押しあてて、E5パネル押え端部の穴をガイドにして、戸当り框、後框にφ3.5の穴をあけてください。（※1）
②E5パネル押え端部を戸当り框、後框に【8-1】で取付けてください。

3-2　パネルの取付け



ポイント

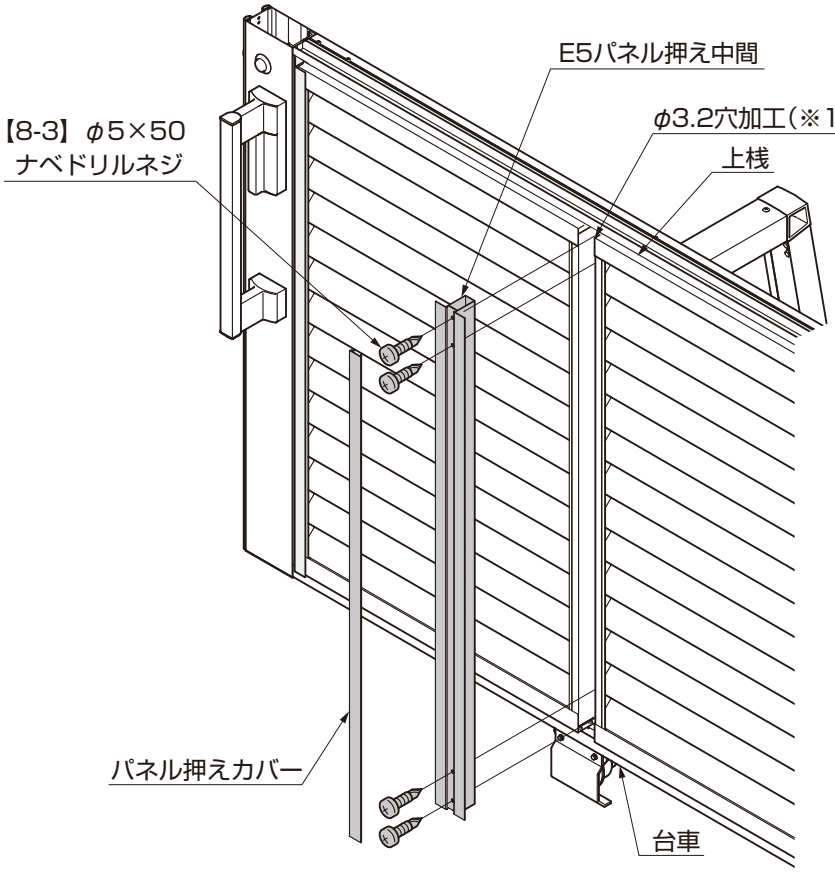
●パネルは端部から取付けてください。

ポイント

●台車の上にパネルをのせてください。

①パネル下部を台車にのせてから、パネルを上桟に【7-1】で取付けてください。

3-3　E5パネル押え中間の取付け



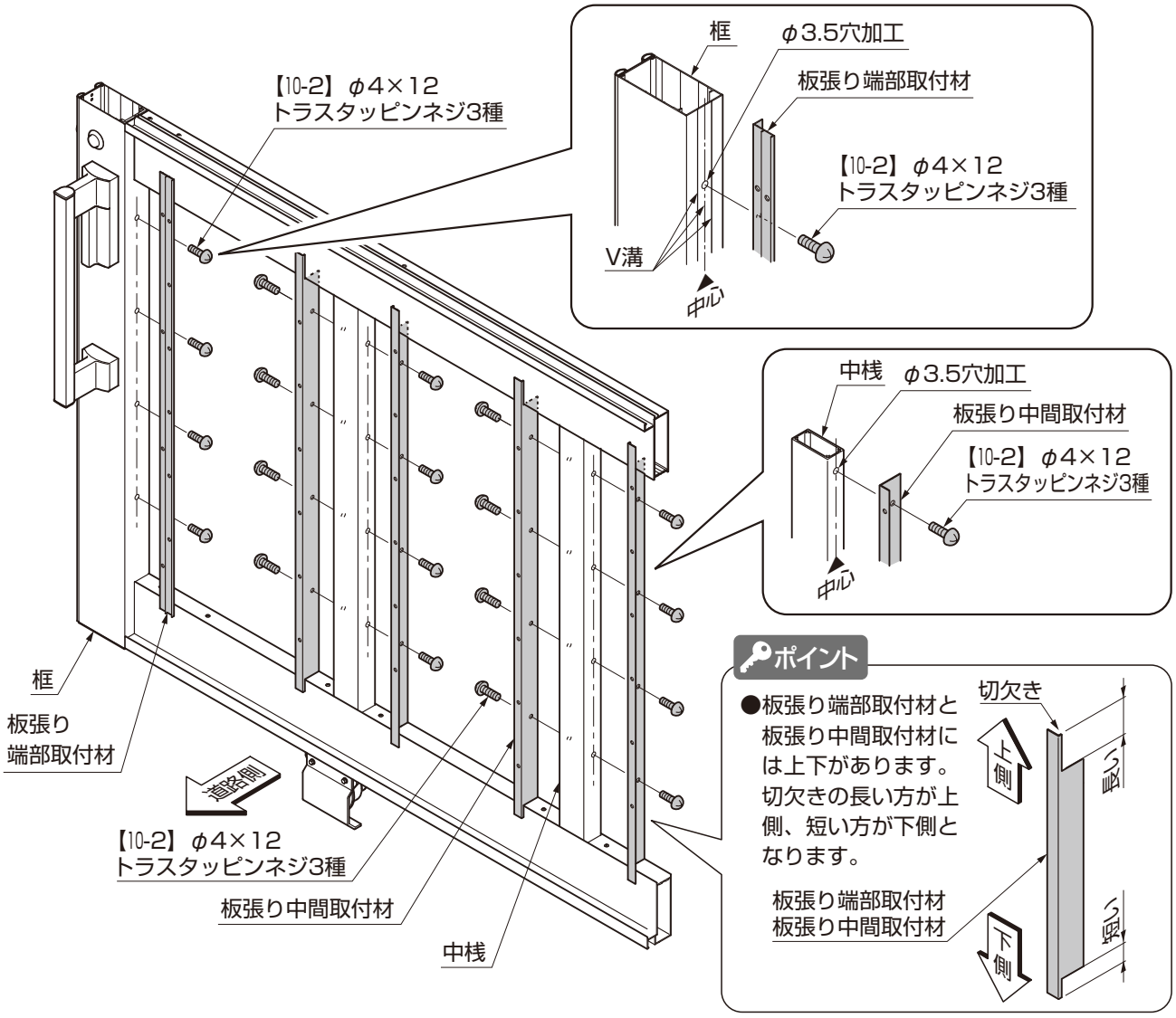
ポイント

●中帯がある場合、中帯にもE5パネル押え中間を【8-3】で取付けてください。

①上桟と台車にE5パネル押え中間をあてがい、E5パネル押え中間の穴をガイドにして、上桟と台車にφ3.2の穴をあけてください。（※1）
②上桟と台車にE5パネル押え中間を【8-3】で取付けてください。
③パネル押えカバーをE5パネル押え中間にはめ込んでください。

4. E6パネルの場合

4-1 板張り端部取付材、板張り中間取付材の取付け



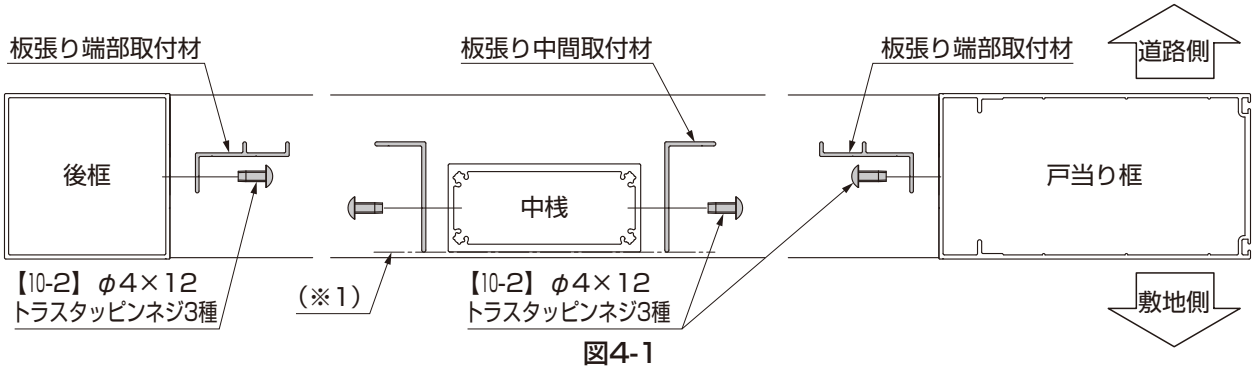


図4-1

①板張り中間取付材を中桟にあてがい、中桟の中心にφ3.5の穴加工をしてください。

補足

●板張り中間取付材の位置は中桟の敷地側にそろいます。（※1）

②板張り中間取付材を①の加工穴に【10-2】で取付けてください。
③板張り端部取付材を框にあてがい、框の中央のV溝にφ3.5の穴加工をしてください。
④板張り端部取付材を③の加工穴に【10-2】で取付けてください。

4-2　意匠板の加工（敷地側から見た図）

ポイント

●意匠板は部位により加工が異なります。

意匠板(最上部)
意匠板(中間部)
⋮
意匠板(中間部)
意匠板(最下部)

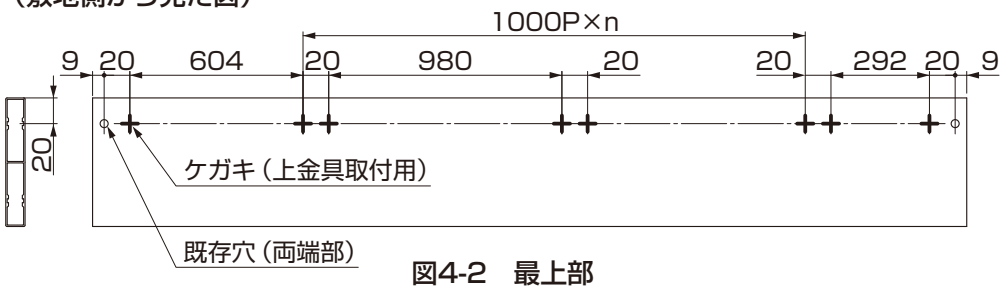


図4-2　最上部

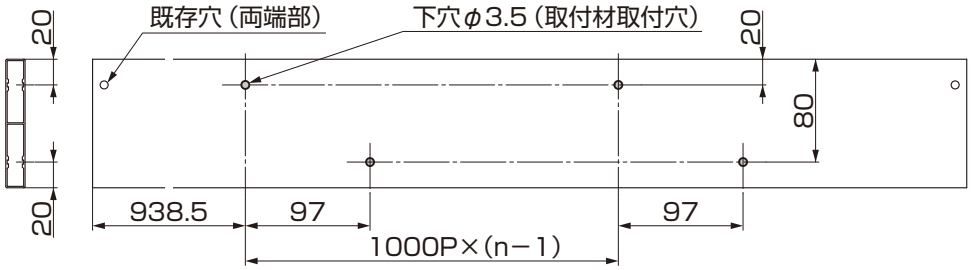


図4-3　中間部

表4-1

サイズ	n
W30	2
W40	3
W50	4
W60	5

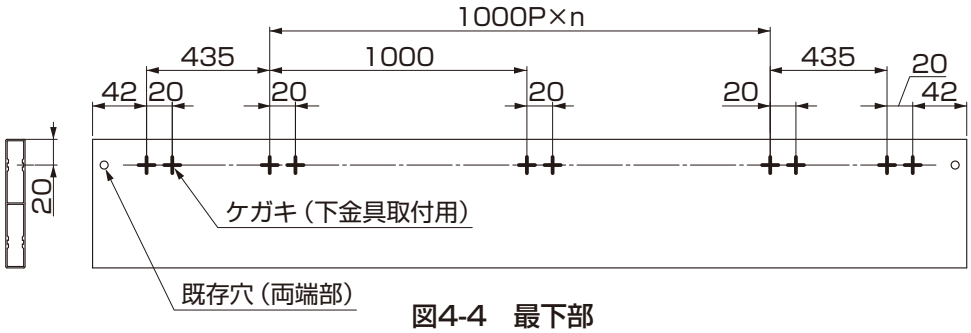


図4-4　最下部

①最上部、中間部、最下部の意匠板を加工してください。（図4-2、図4-3、図4-4参照）

4-3　意匠板の組立て

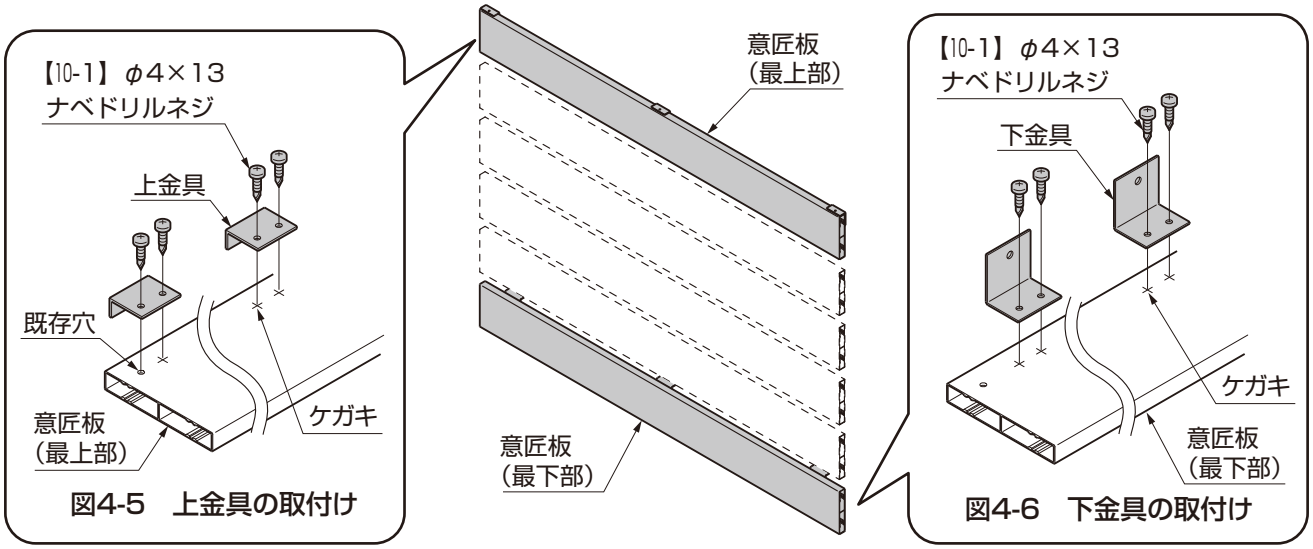


図4-5　上金具の取付け

図4-6　下金具の取付け

①上金具を最上部の意匠板に【10-1】で取付けてください。（図4-5参照）
②下金具を最下部の意匠板に【10-1】で取付けてください。（図4-6参照）

4.（つづき）

4-4　意匠板（最上部、最下部）の取付け

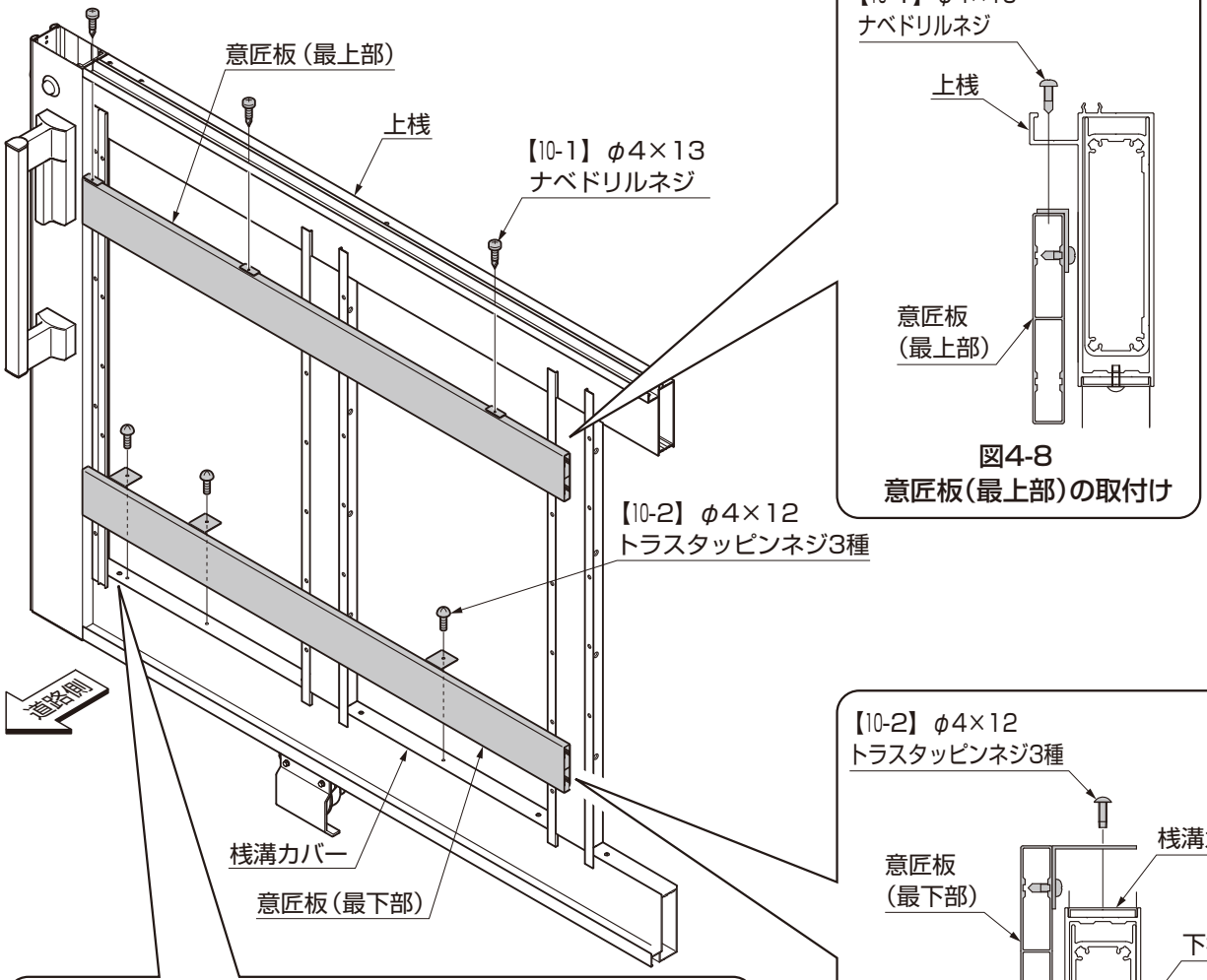


図4-8
意匠板（最上部）の取付け

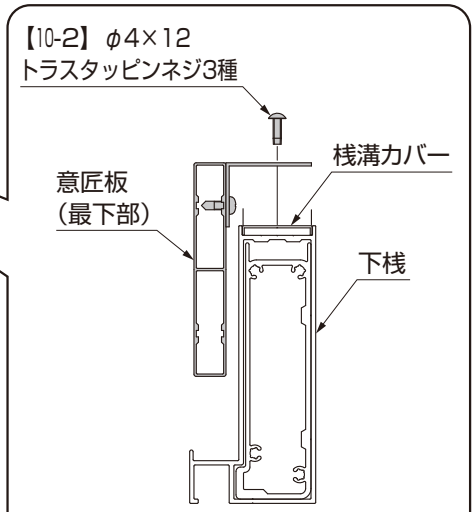


図4-9
意匠板（最下部）の取付け

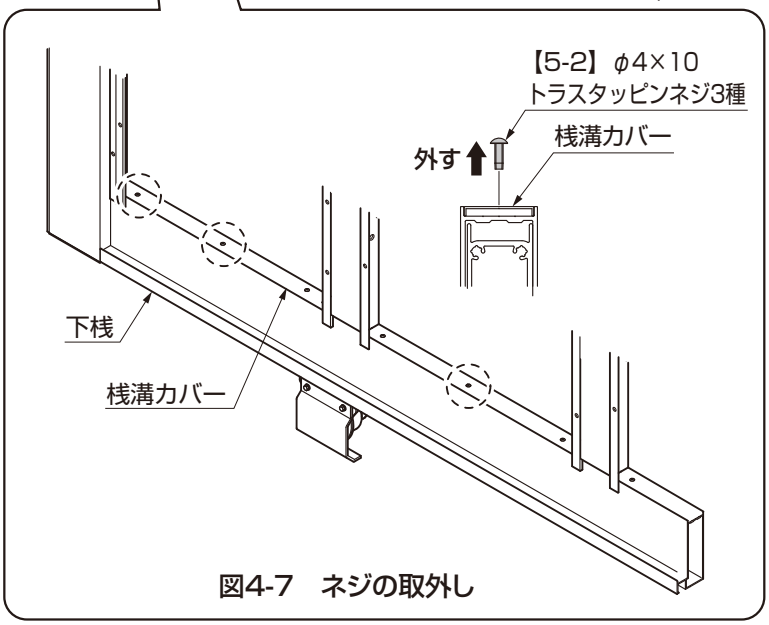
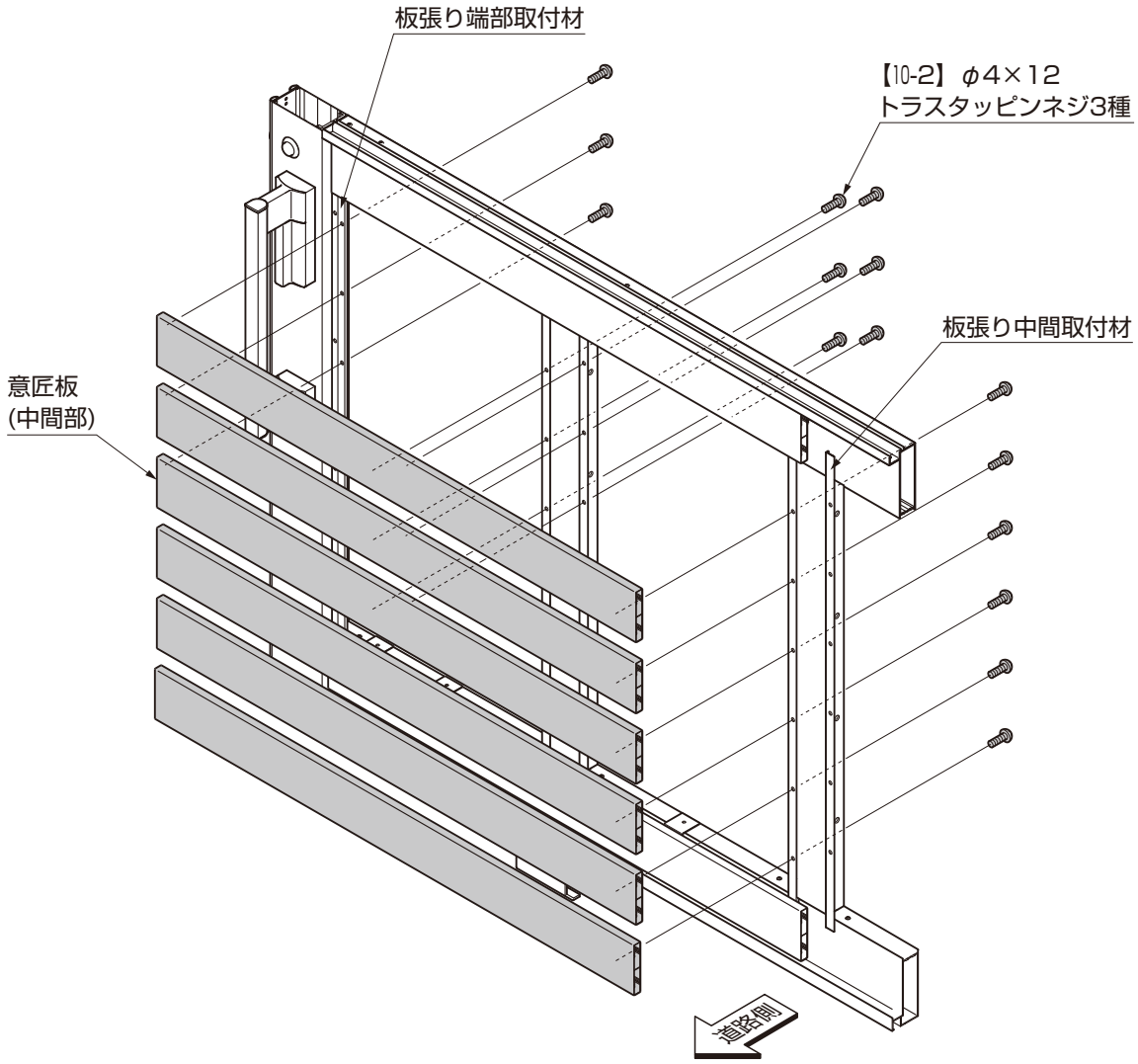


図4-7　ネジの取外し

①下桟の溝桟カバー両端部及び中央に付いている【5-2】を外してください。（図4-7参照）
②最上部の意匠板を上桟に【10-1】で取付けてください。（図4-8参照）
③最下部の意匠板を桟溝カバーに【10-2】で取付けてください。（図4-9参照）

4-5　意匠板（中間部）の取付け



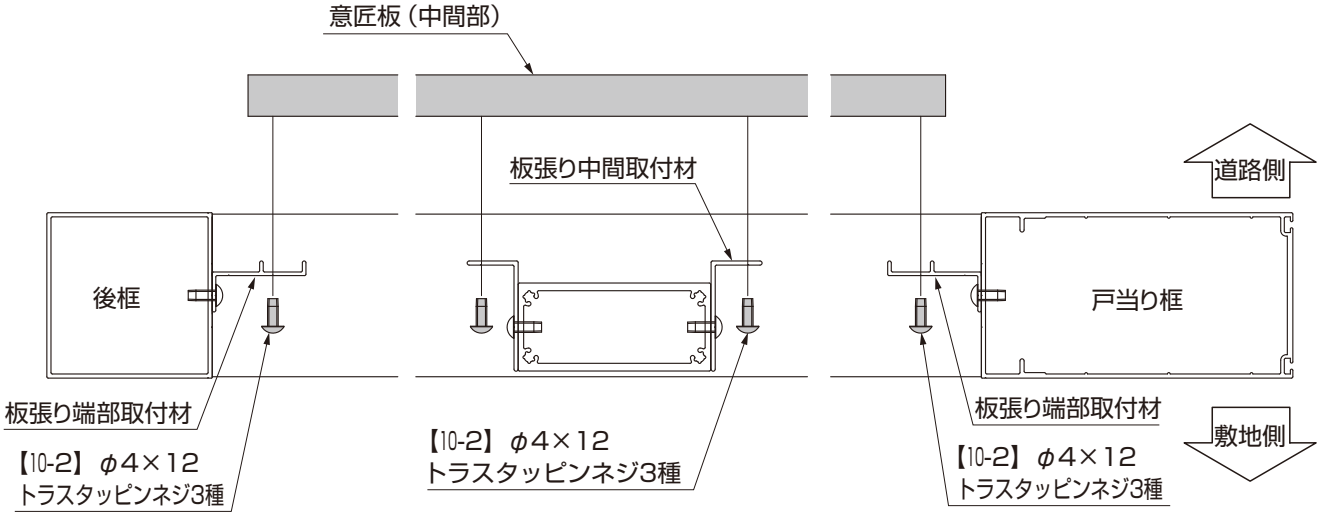
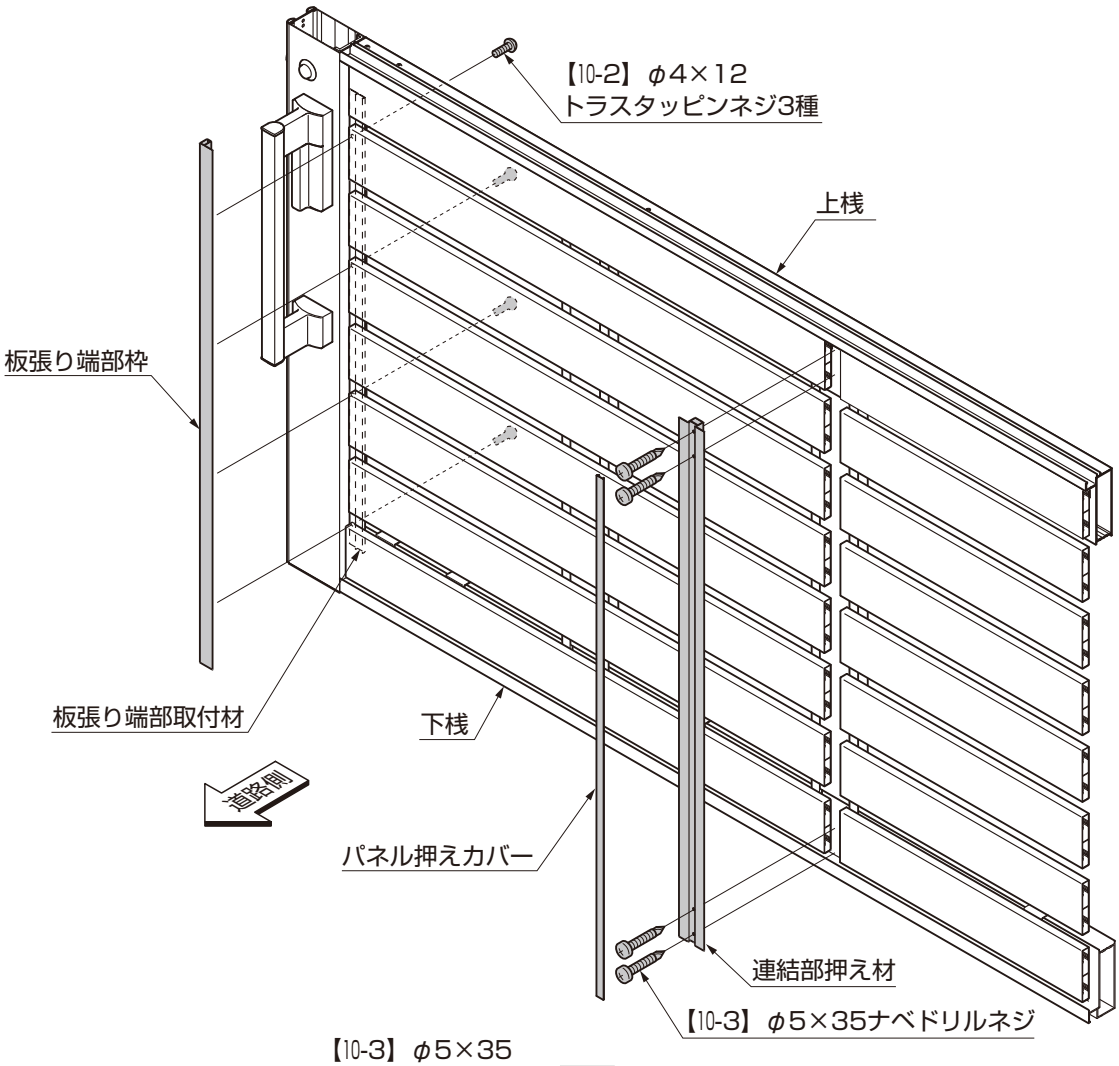


図4-10

①中間部の意匠板を板張り端部取付材と板張り中間取付材に【10-2】で取付けてください。

4.（つづき）

4-6　板張り端部枠、連結部押え材の取付け　※連結部はW70以上の場合の作業です。



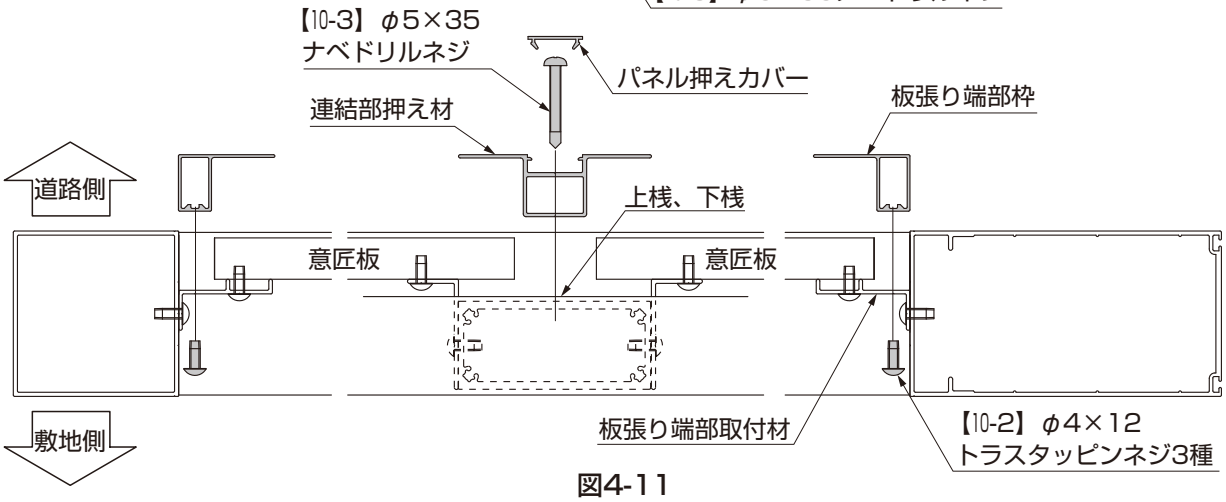


図4-11

①板張り端部枠を板張り端部取付材に【10-2】で取付けてください。
②意匠板と意匠板のつなぎ目に連結部押え材を差込み【10-3】で取付けてください。
③連結部押え材の溝にパネル押えカバーをはめ込んでください。

補 足

●板張り端部枠、連結部押え材がはまらない場合は意匠板の固定ねじをゆるめて調整してください。

5. 笠木の取付け

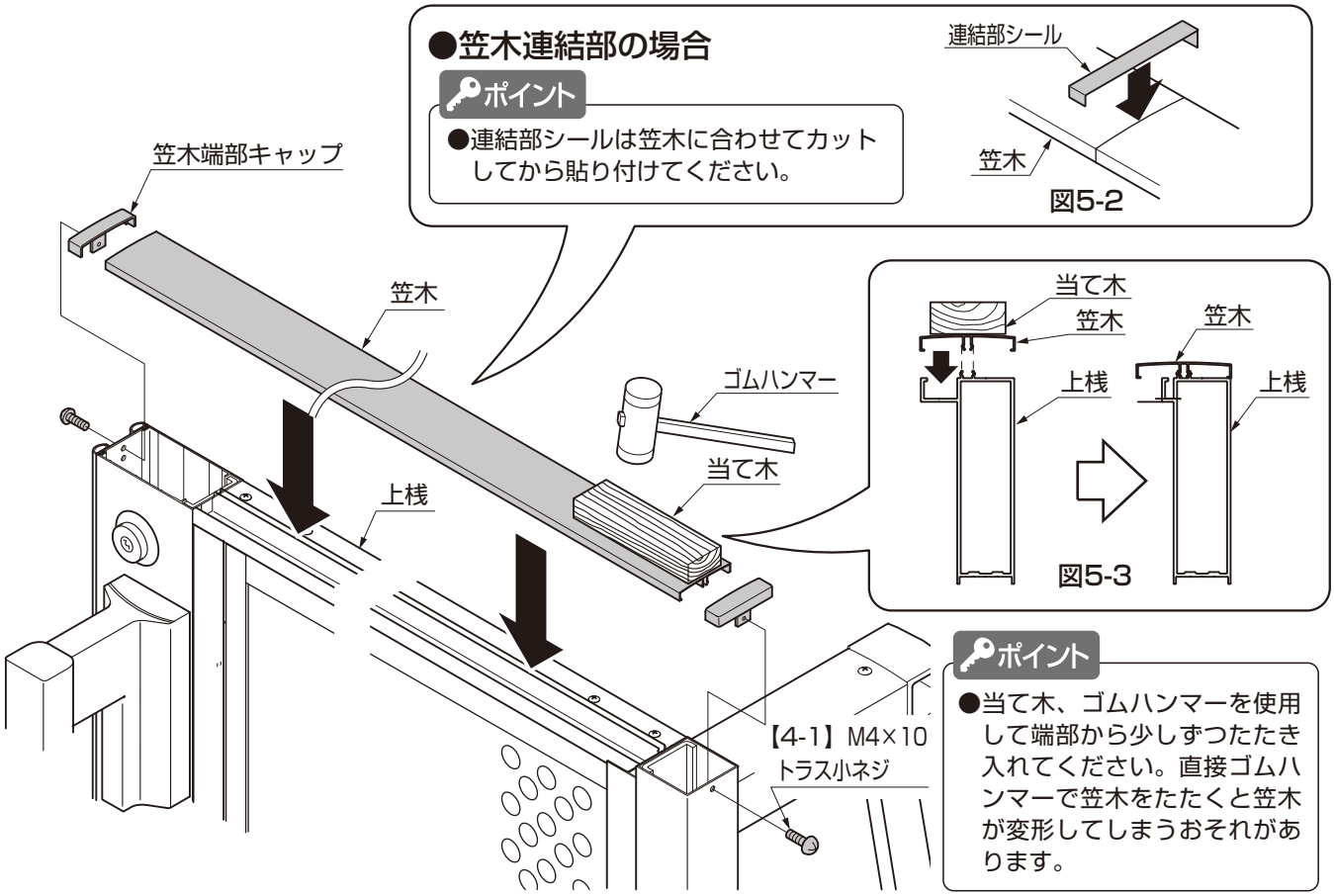


図5-1　E1、E3、E4、E6の場合

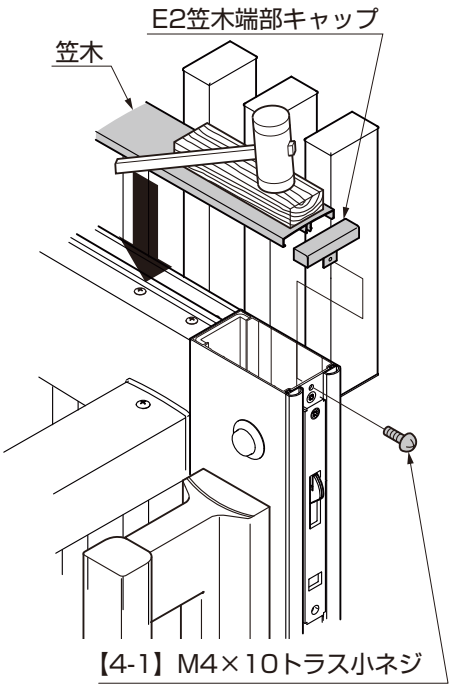


図5-4　E2の場合

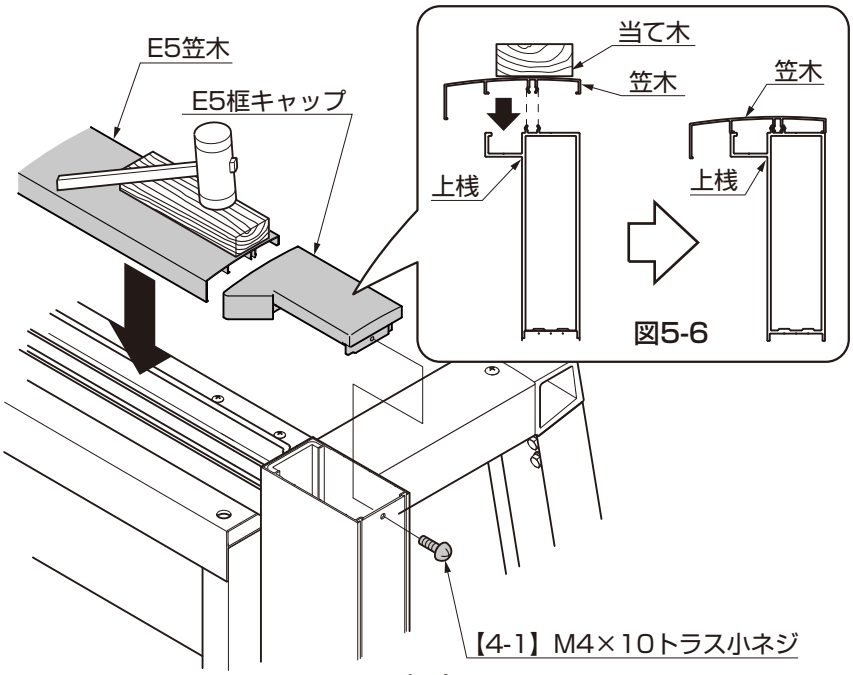


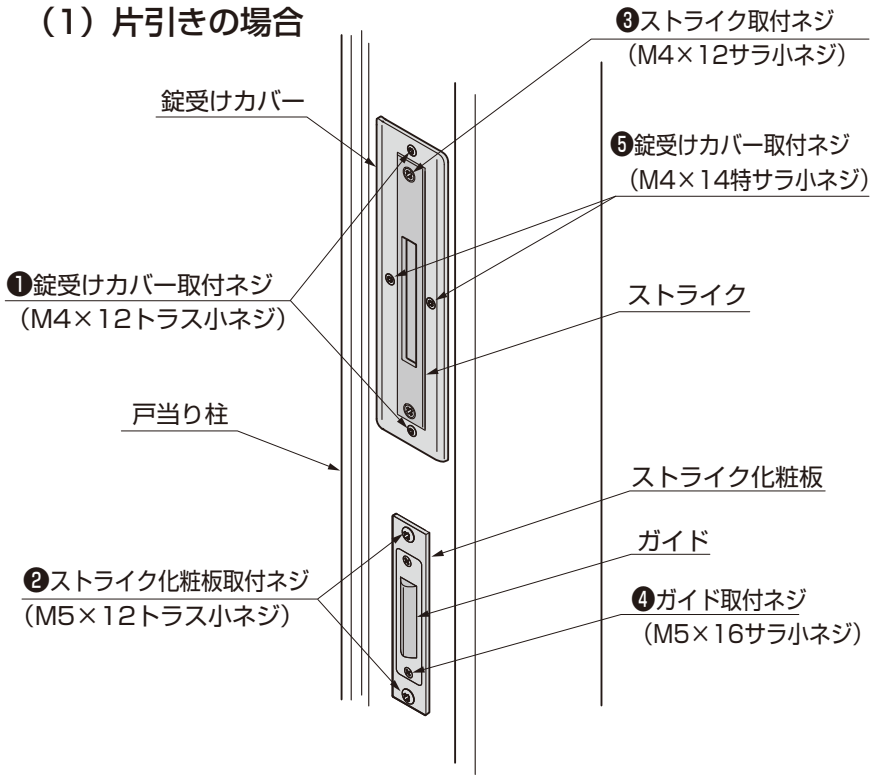
図5-5　E5の場合

①笠木を上桟にはめ込んでください。
②笠木端部キャップ（E5の場合は框キャップ）を【4-1】で取付けてください。

5　部品の取付けと調整

1-1　ストライク（錠受け）の調整

（1）片引きの場合

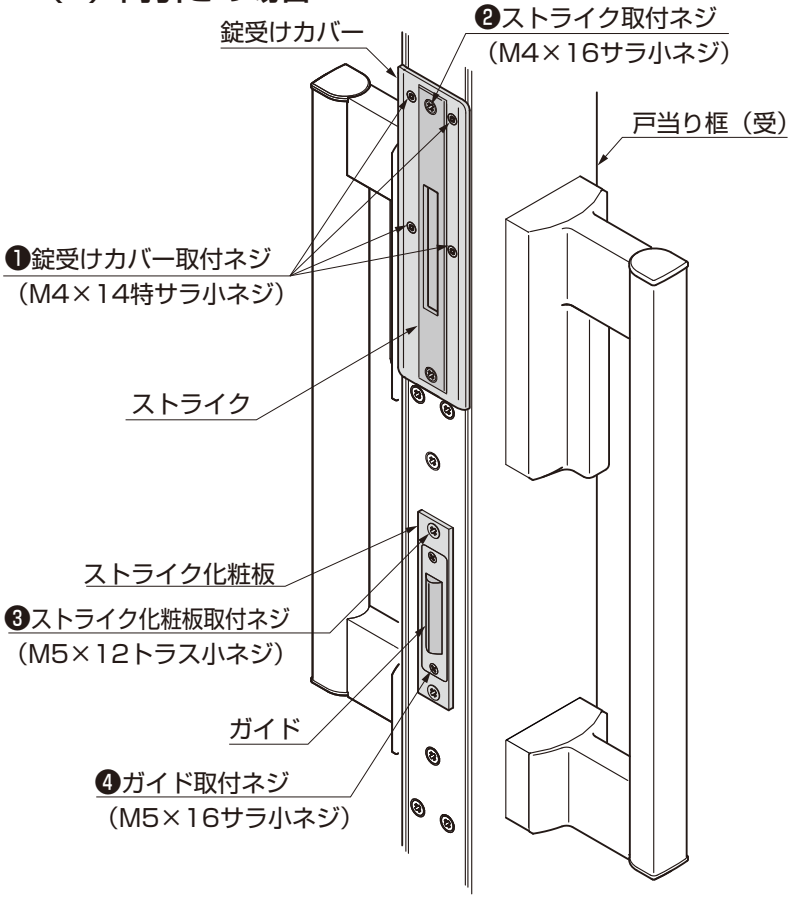


①施工終了後、
「❶錠受けカバー取付ネジ」
（M4×12トラス小ネジ）2個と
「❷ストライク化粧板取付ネジ」
（M5×12トラス小ネジ）2個と
「❸ストライク取付ネジ」
（M4×12サラ小ネジ）2個と
「❹ガイド取付ネジ」
（M5×16サラ小ネジ）2個
「❺錠受けカバー取付ネジ」
（M4×14特サラ小ネジ）2個
を緩めてください。
②ストライク、ガイドを引戸本体側の錠本体、引戸本体側のガイド受けの位置と合うように調整してください。
③調整が終わったら、各ネジを締めて固定してください。

ポイント

●ネジを外してしまうと裏板が外れ落ちてしまい、ふたたび組付けられなくなりますので絶対に外さないようにしてください。

（2）両引きの場合



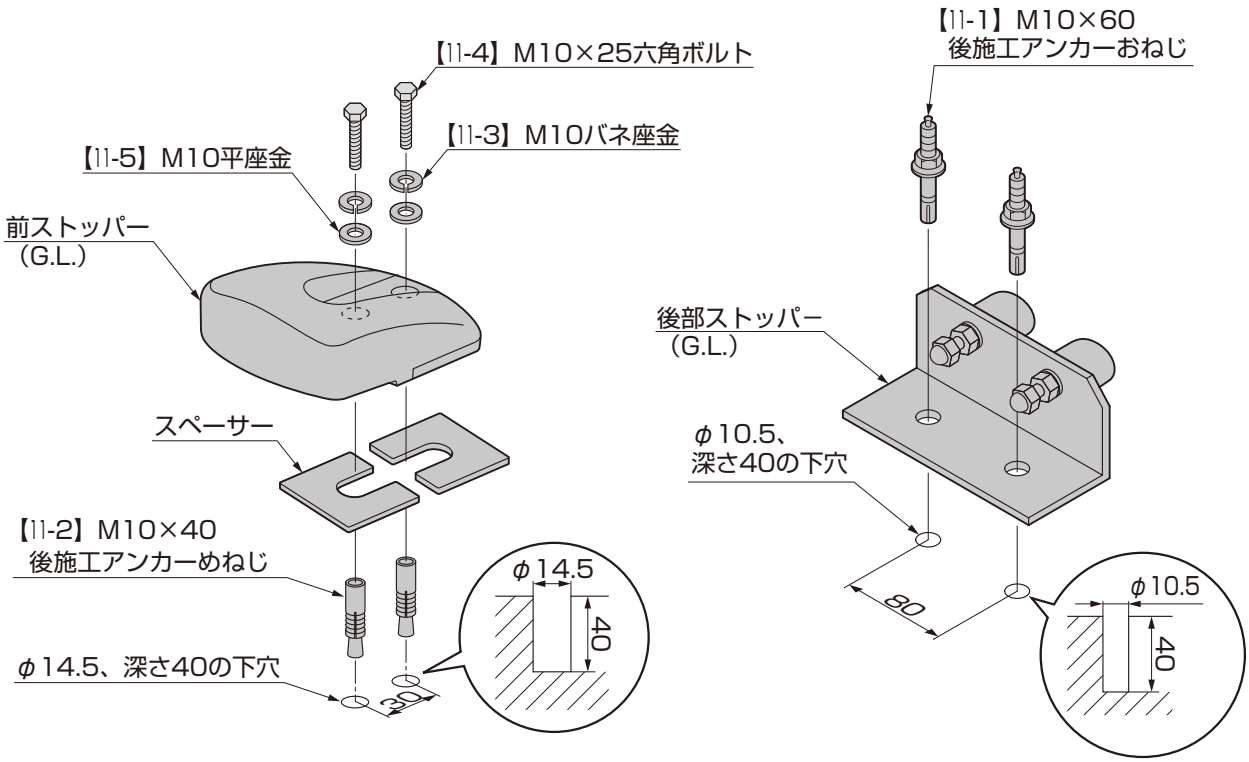
①施工終了後、
「❶錠受けカバー取付ネジ」
（M4×14特サラ小ネジ）4個
「❷ストライク取付ネジ」
（M4×16サラ小ネジ）2個
「❸ストライク化粧板取付ネジ」
（M5×12トラス小ネジ）2個
「❹ガイド取付ネジ」
（M5×16サラ小ネジ）2個
を緩めてください。
②ストライク、ガイドを引戸本体掛側の錠本体、ガイド受けと位置が合うように調整してください。
③調整が終わったら、各ネジを締めて固定してください。

ポイント

●ネジを外してしまうと裏板が外れ落ちてしまい、ふたたび組付けられなくなりますので絶対に外さないようにしてください。

D626_201507B

1-2　前後ストッパーの取付け



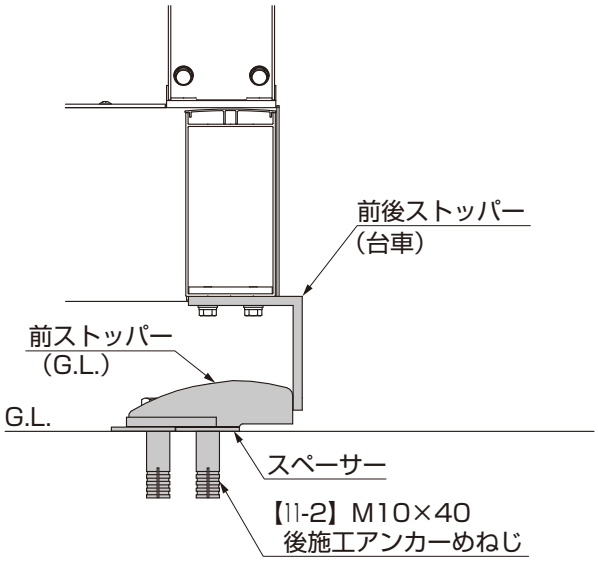


図1-1　全閉時

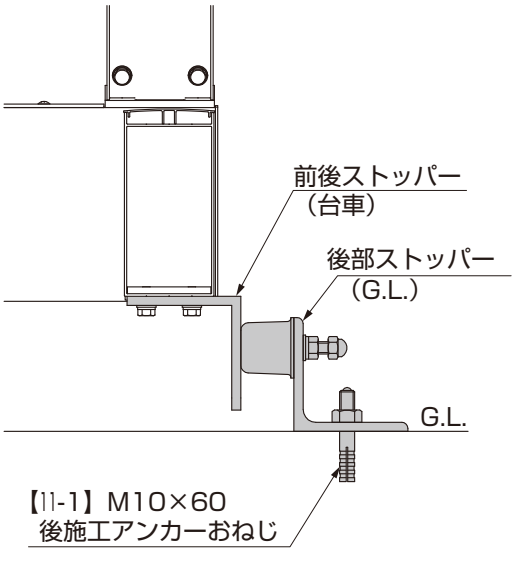


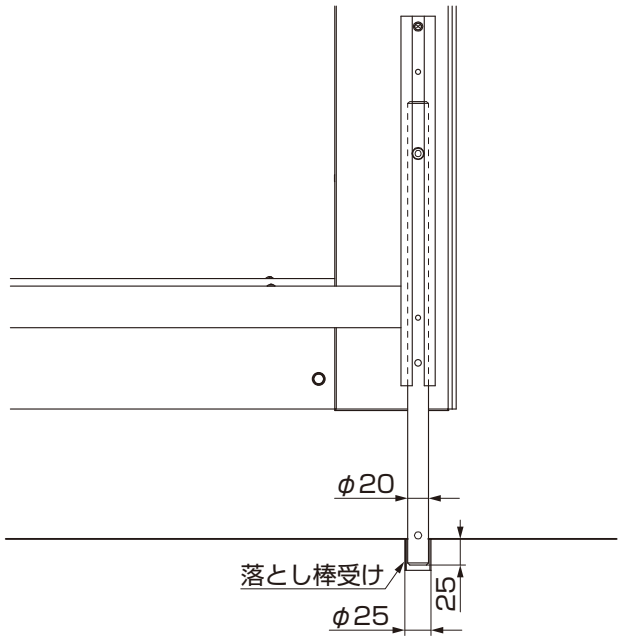
図1-2　全開時

①前ストッパー、後部ストッパーは本体が組上がった後、現場の納まりに合わせて固定してください。

ポイント

●前後ストッパーと前ストッパー、後部ストッパーがそれぞれきちんと当たる位置に施工してください。
●ボルト、ネジ類は、ガタつきのないよう確実に締付けてください。

1-3 落し棒受けの取付け



①落し棒受けは、引戸を全閉状態と全開状態で、落し棒が落し棒受けに入る位置に各々埋込んでください。